



Ver21

工程管理

マウス操作での実績入力、達成数量自動入力、資機材連動による工程計画の操作手順が習得できます。

※解説がオプションプログラムの内容である場合があります。ご了承ください。

目次

1. 入力専用ライセンス	1
1-1 入力専用ライセンスの使用方法	1
1-2 入力専用ライセンスでEX-TREND武蔵を起動する	3
1-3 入力専用ライセンスの終了	4
2. インデックス	5
2-1 インデックスを起動する	5
2-2 自社情報の入力	6
2-3 インデックスの画面構成	7
2-4 新規に工事を作成する	8
2-5 工事データを開く/閉じる	10
2-6 工事データのバックアップ/リストア	11
2-7 各種設定のバックアップ/リストア	15
2-8 資機材・組織・人材マスタの登録	18
2-9 積算データの取込み	20
3. 新規データ作成	24
3-1 工程管理の起動	24
3-2 工期・金額の設定	25
3-3 休日の設定	26
3-4 イベントの設定	28
4. 作業の登録・編集	31
4-1 作業の登録	31
4-2 作業ツリーの編集	34
4-3 資機材の日当たり数量設定	37

5. 工程表の入力	39
5-1 作業日程の変更・工数計算	39
5-2 前後関係の設定・工程の分割	44
5-3 クリティカルパスの計算	49
5-4 実績の入力	51
5-5 出来高グラフ・山積みグラフの確認	54
5-6 設計変更	58
6. 帳票出力	63
6-1 帳票選択	65
6-2 出力設定	65
6-3 帳票出力	66
7. インデックスとの連携	69
7-1 イベントの確認	69
7-2 日報作成	71
7-3 連携データの確認	78

1

入力専用ライセンス

EX-TREND武蔵を起動するには、プロテクトキー（ネット認証ライセンスやUSBプロテクト）が必要になります。

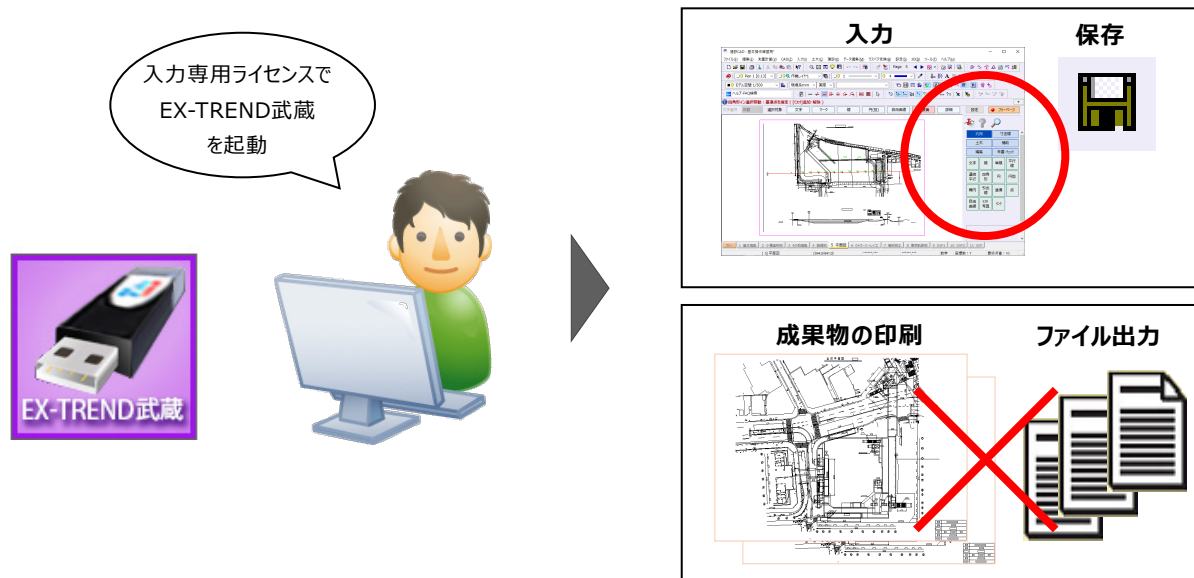
ネット認証ライセンス

USBプロテクト



ほかの方がプロテクトキーを使用中で空きがないときでも「入力専用ライセンス」を利用することで、EX-TREND武蔵を起動して作業することができます。

ただし、「入力専用ライセンス」で起動しているときには、データの入力や保存は可能ですが、成果物の印刷やファイルの出力ができませんのでご注意ください。



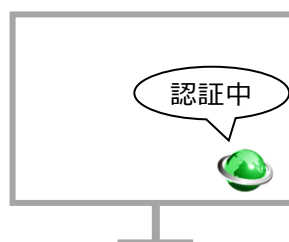
ここでは、「入力専用ライセンス」の使用方法和、起動・終了方法について説明します。

1-1 入力専用ライセンスの使用方法

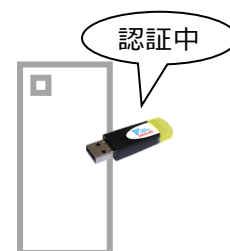
入力専用ライセンスを使用するために、親となるネット認証ライセンスやUSBプロテクトからライセンス情報を取得します。ライセンス情報の取得をおこなうには、ネット認証ライセンスを認証する必要があります。（USBプロテクトの場合はパソコンに装着する必要があります。）

- 1 ネット認証ライセンスの認証、または USB プロテクトの装着をおこないます。

1 ネット認証ライセンスの場合



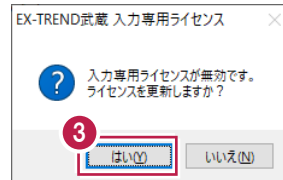
USBプロテクトの場合



② [入力専用ライセンス] をダブルクリックします。

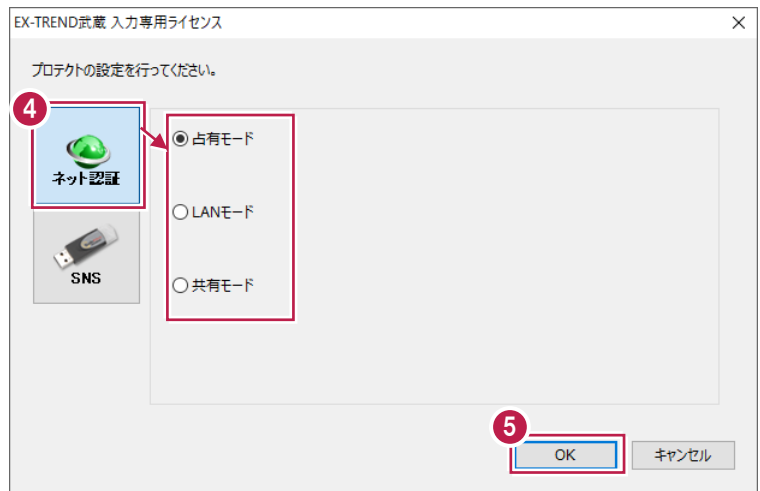


③ [はい] をクリックします。

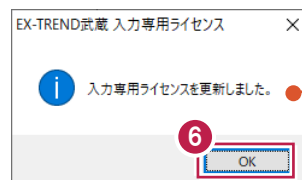


④ 取得するライセンスの種類を選択します。
(右の例は、ネット認証ライセンスの占有モード
を利用している場合です。)

⑤ [OK] をクリックします。

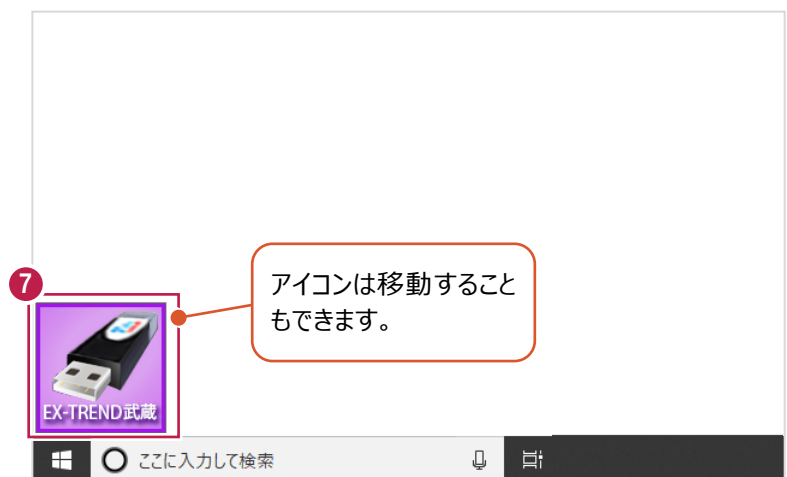


⑥ [OK] をクリックします。



ライセンス情報の取得が完了したら、
ネット認証ライセンスの解除や
USBプロテクトの取り外しをおこ
なっても構いません。

⑦ デスクトップ左下に、入力専用ライセンス
起動中のアイコンが表示されたことを確認しま
す。



1-2 入力専用ライセンスでEX-TREND武蔵を起動する

入力専用ライセンスを起動し、[EX-TREND武蔵 インデックス] を起動します。

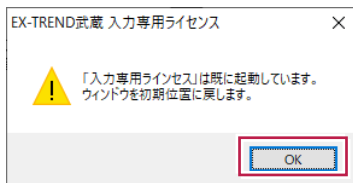
※はじめて入力専用ライセンスを使用する場合は、「1-1 入力専用ライセンスの使用方法」を確認してください。

- ① [入力専用ライセンス] をダブルクリックします。

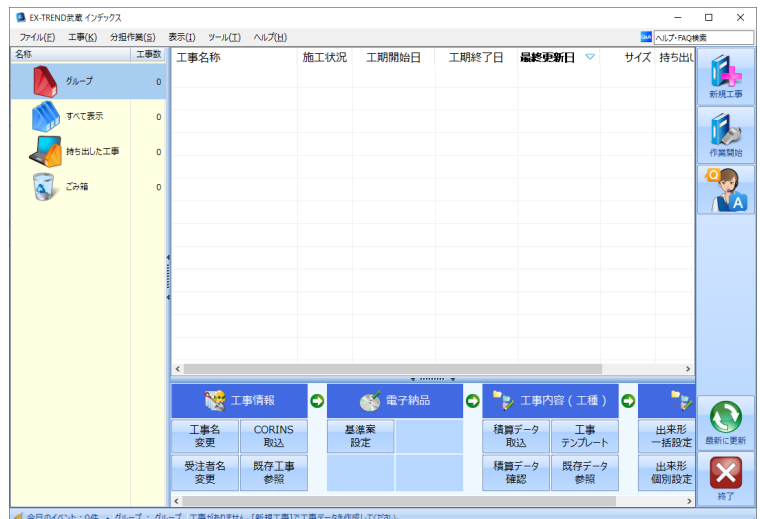


- ② デスクトップ左下に、入力専用ライセンス起動中のアイコンが表示されたことを確認します。

すでに入力専用ライセンスが起動中の場合は、以下のメッセージが表示されますので [OK] をクリックしてください。



- ③ [EX-TREND 武蔵 インデックス] をダブルクリックします。



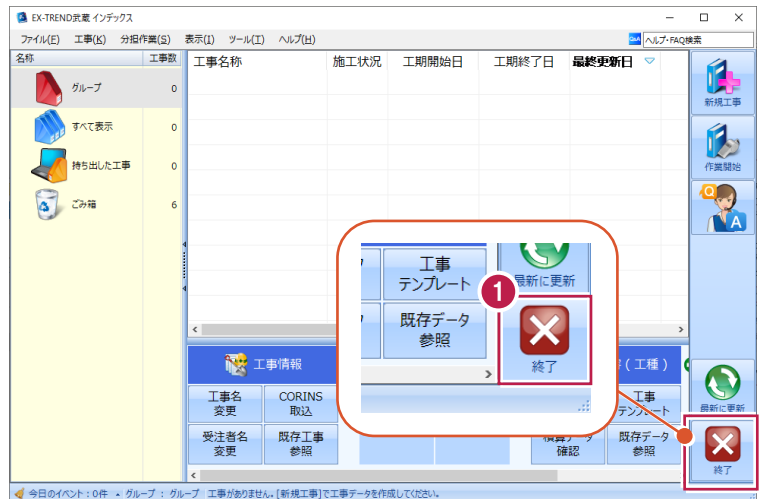
1-3 入力専用ライセンスの終了

入力専用ライセンスは、ネット認証ライセンスおよびUSBプロテクトとの同時利用ができません。

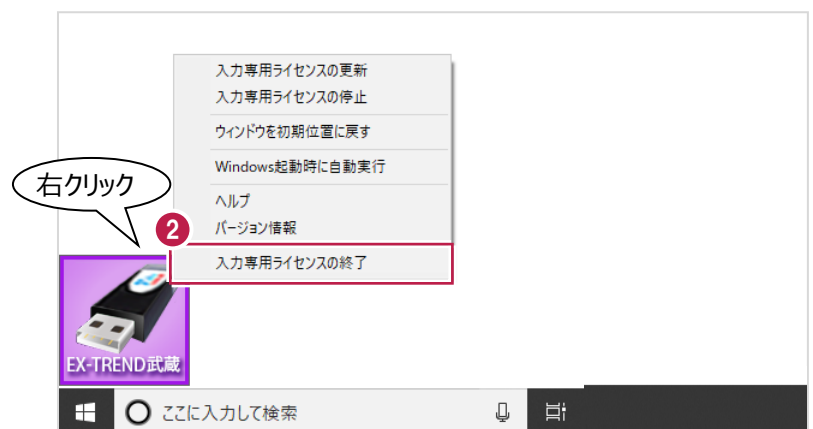
例えば、「ネット認証ライセンス」を認証している状態でも「入力専用ライセンス」を起動している場合は、「入力専用ライセンス」が優先され、印刷や出力などができなくなります。

ここでは、入力専用ライセンスの終了方法を説明します。

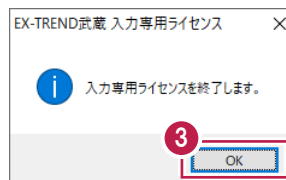
- 1 EX-TREND 武蔵を起動している場合は、
[終了] をクリックします。



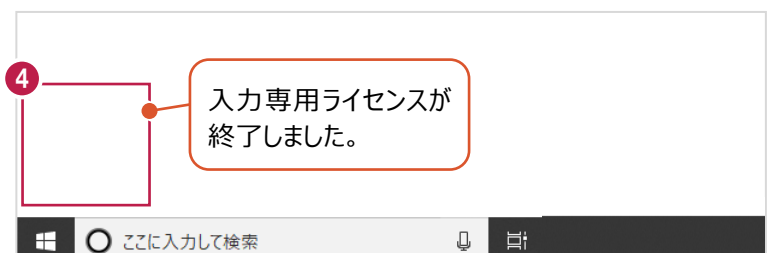
- 2 入力専用ライセンス起動中のアイコンを
右クリックし、[入力専用ライセンスの終了] を
クリックします。



- 3 [OK] をクリックします。



- 4 入力専用ライセンス起動中のアイコンがなくなっ
たことを確認します。



2

インデックス

EX-TREND武蔵のデータは、[EX-TREND武蔵 インデックス] で工事ごとに管理します。
ここでは、インデックスを起動し、自社情報の入力、工事データの新規作成、バックアップの方法などについて説明します。

2-1 インデックスを起動する

[EX-TREND武蔵 インデックス] を起動します。

- 1 [EX-TREND 武蔵 インデックス] をダブルクリックします。



2-2 自社情報の入力

インデックス起動時に表示される自社情報を入力します。

- 1 名称（会社名）や住所、電話番号、地域などを入力します。

自社情報で入力した内容は、各プログラムの共通の情報として連動します。

例えば、[地域] は電子納品の要領・基準案などの初期設定として反映されます。

- 2 [OK] をクリックします。

自社情報

1

名称 福井コンピュータ建設株式会社

フリガナ

郵便番号

住所

組織区分

業種区分

URL

地域 福井県

建設許可番号

代表者

備考

電話番号

FAX番号

メール

表彰

2

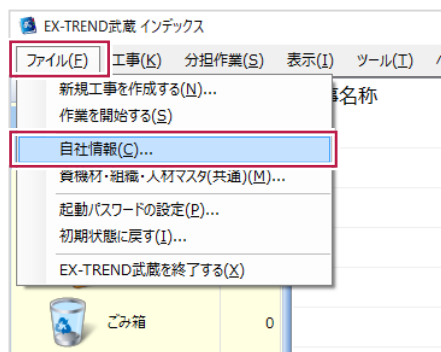
工事実績

OK

キャンセル

[キャンセル] で閉じた場合は、次回インデックス起動時に、自社情報ダイアログが表示されます。

自社情報を編集する場合は、メニューバーの [ファイル] をクリックし、[自社情報] からおこなってください。



2-3 インデックスの画面構成

インデックスの画面回りを説明します。



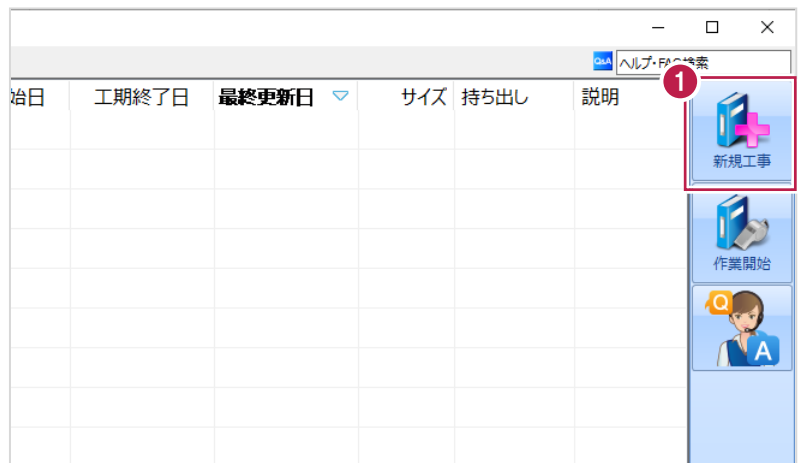
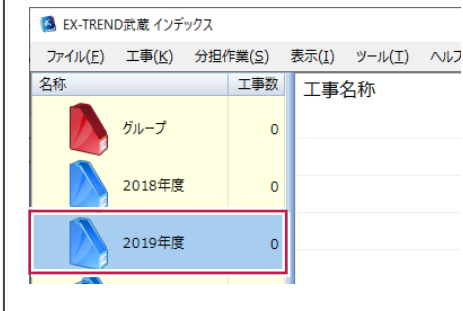
<p>1 グループ一覧</p>	<p>工事をグループごとに管理します。グループは 5 階層まで作成可能です。右クリックして表示されるポップアップメニューで、追加・編集・削除できます。グループを選択すると、所属する工事が【工事一覧】に表示されます。</p>
<p>2 工事一覧</p>	<p>【グループ一覧】で選択中のグループ内の工事を一覧表示します。【表示】 - 【工事の表示方法】で、表示方法の切り替えができます。</p>
<p>3 アイコンバー</p>	<p>【新規工事】【作業開始】【QA】【最新に更新】【終了】のアイコンを表示します。【QA】では、お困りごとを検索することができます。</p>
<p>4 工事の編集パネル</p>	<p>【工事情報】【電子納品】【工事内容（工種）】【管理基準】を編集するコマンドが用意されています。</p>
<p>5 ステータスバー</p>	<p>スケジュールに入力したイベントや、工事データの保存先などを表示します。</p>

2-4 新規に工事を作成する

【新規工事】の【新しく工事を作成する】で、新規に工事を作成します。

① 【新規工事】をクリックします。

グループを分けて管理する場合は、今から作成するデータを保管するグループを選択した状態で【新規工事】をクリックしてください。（作成したあとにグループを移動することもできます。）



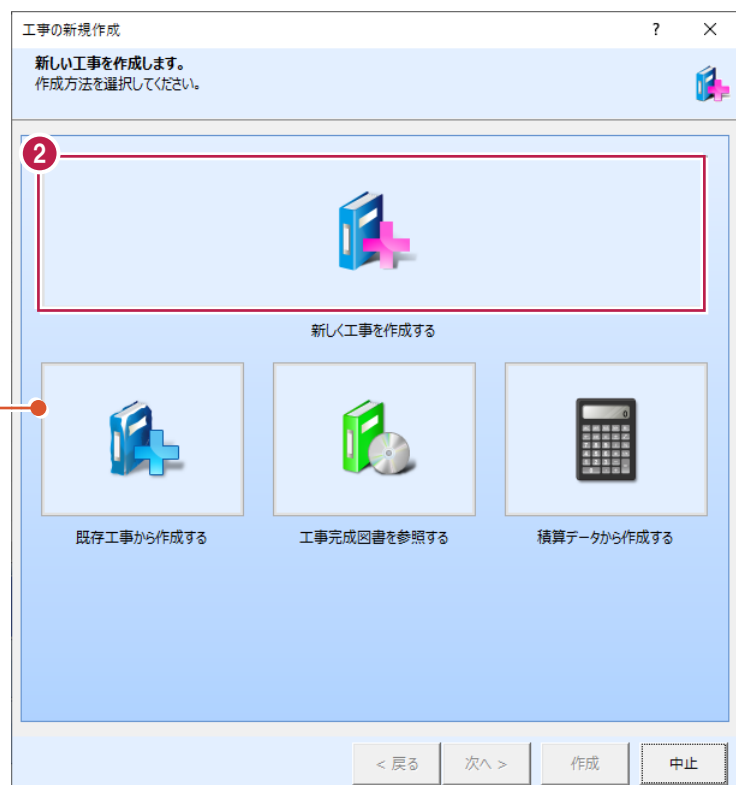
② 【新しく工事を作成する】をクリックします。

その他の作成方法は以下です。

【既存工事から作成する】：
毎年同じような工事がある場合などは、前年の既存工事を選択して作成してください。

【工事完成図書を参照する】：
発注者からのデータや、以前の納品データなどがある場合に選択します。

【積算データから作成する】：
積算データをお持ちの場合に選択します。（工事作成後に、積算データを読み込むことも可能です。）



- ③ [工事名称] を入力します。
(必要に応じて、他の項目も入力します。)

ここでは、「サンプル工事」と入力します。

- ④ [作成] をクリックします。

電子納品をおこなわない場合は、[電子納品を行う] をオフにしてください。

工事の新規作成

工事の基本情報を入力します。
工事名称を入力してください。それ以外は後からでも変更できます。

③ 工事名称 サンプル工事

発注年度 (西暦) 2019

工事番号

工事箇所

河川路線名等

工期開始・終了日 2019年 9月13日 ~ 2019年 9月13日

請負金額 0 円

工事内容

電子納品を行う

要領・基準案の選択...

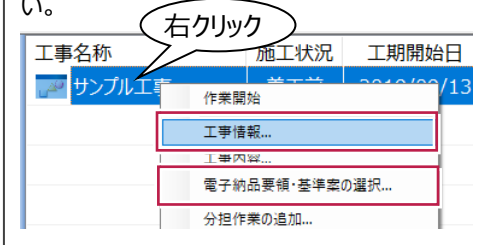
出荷時設定 武蔵

CORINS読み込み...

工事カラー
ここをクリックします

④ 作成

工事名称や電子納品要領などの情報を変更する場合は、工事データで右クリックし、[工事情報] あるいは [電子納品要領・基準案の選択] をクリックしてください。



工事が作成されます。

EX-TREND武蔵 インデックス

ファイル(E) 工事(K) 分担作業(S) 表示(I) ツール(I) ヘルプ(H)

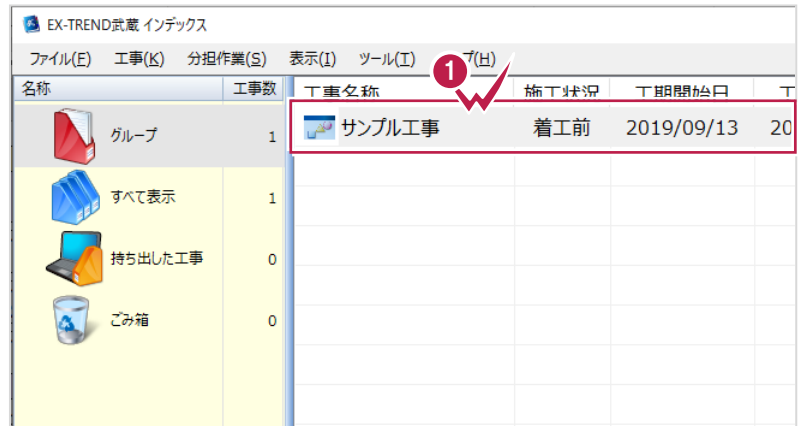
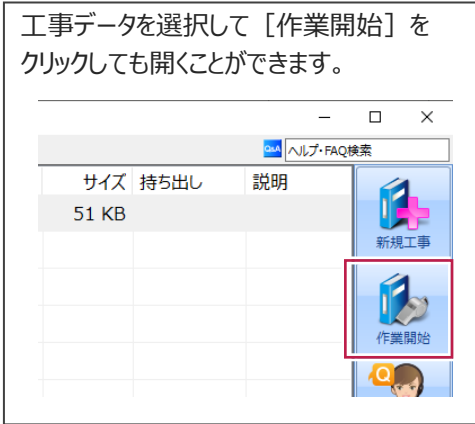
名称	工事数	工事名称	施工状況	工期開始日
グループ	1	サンプル工事	着工前	2019/09/13
すべて表示	1			
持ち出した工事	0			
ごみ箱	0			

2-5 工事データを開く/閉じる


工事データを開いて、武蔵データ画面を表示します。
また、工事データを閉じ、工事一覧画面へ戻る操作を説明します。

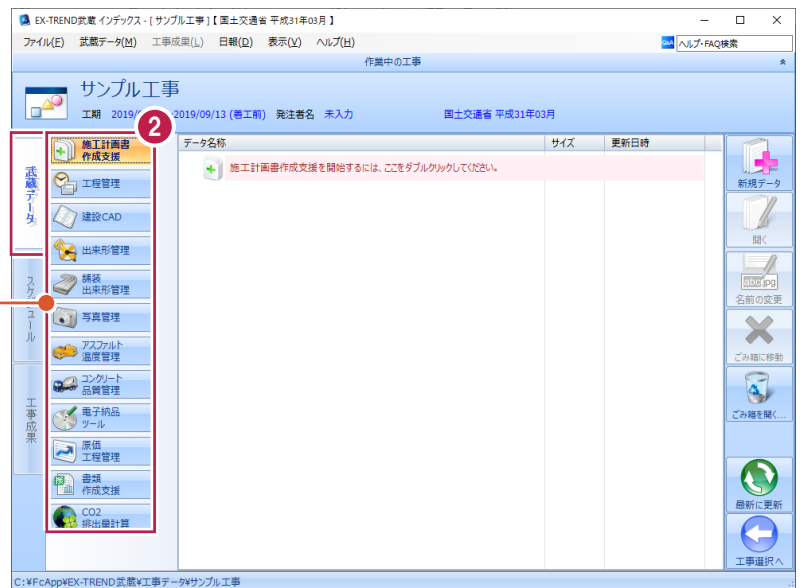
- 1 工事データをダブルクリックします。

工事データを選択して [作業開始] を
クリックしても開くことができます。

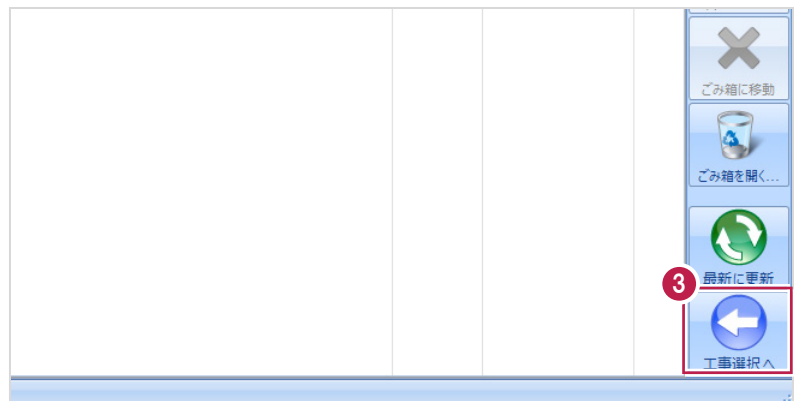


- 2 画面左側に、武蔵データの一覧が表示
されます。

未購入のプログラムについては、
進入禁止マーク  が表示されます。



- 3 画面右下の [工事選択へ] をクリックし、
工事一覧画面へ戻ります。



2-6 工事データのバックアップ/リストア

コンピュータも他の電化製品と同じように故障する場合があります。

また、ちょっとしたミスでデータを削除してしまうこともあるかもしれません。

バックアップとは、保存されている工事データ、および設定ファイルを別のメディア（HDD、CD、DVDなど）に保存することを言います。ご使用中のコンピュータ内のHDDなどにバックアップをおこなっても、それは本来の意味のバックアップとは言えません。

（CDやDVDには直接バックアップできませんので、いったんHDDの別の領域にバックアップしてから、ライティングソフトなどでコピーする必要があります。）

お客様が作られたデータは、お客様にとって大切な財産です。

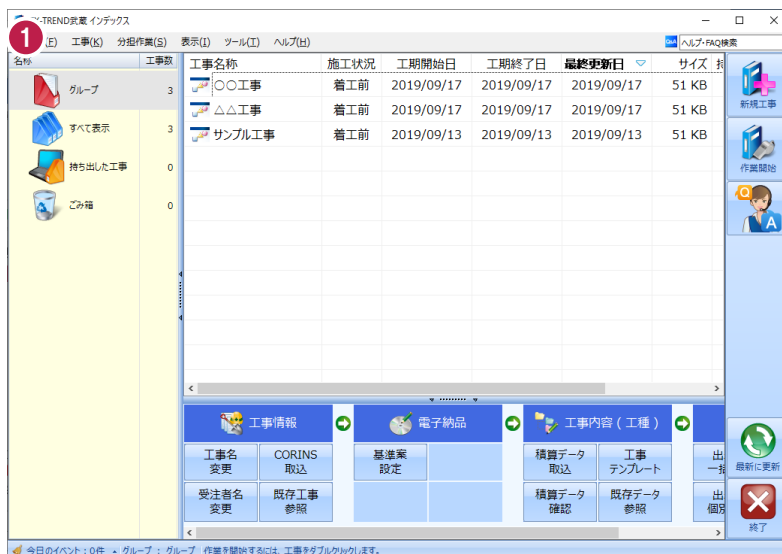
万が一の不慮の事故による被害を最小限にとどめるために、お客様ご自身の管理・責任において、データは必ず2か所以上の別のメディア（HDD、CD、DVDなど）に定期的にバックアップとして保存してください。

（※いかなる事由においても、データの破損などによるお客様の損害は、弊社では補償いたしかねますのでご了承ください。）

ここでは、インデックスで管理している工事データが複数ある場合に一括でバックアップをおこなう操作と、バックアップしたデータを戻す（リストア）操作を説明します。

■ 工事データをバックアップする

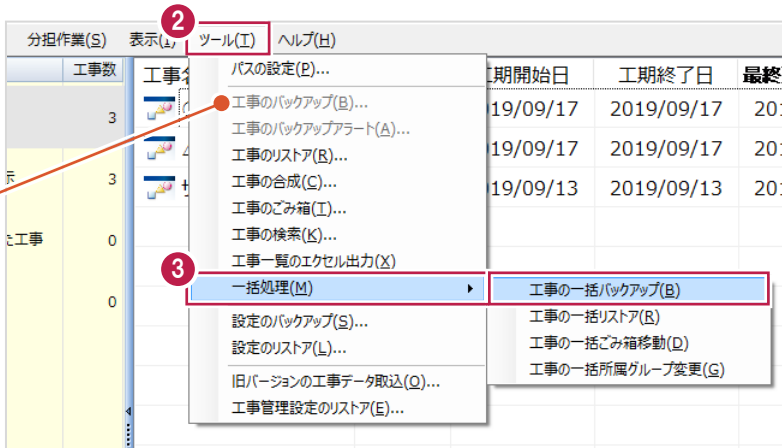
- 1 EX-TREND 武蔵の関連プログラムをすべて終了し、インデックスのみ起動します。



- 2 メニューバーの [ツール] をクリックします。

- 3 [一括処理] - [工事の一括バックアップ] をクリックします。

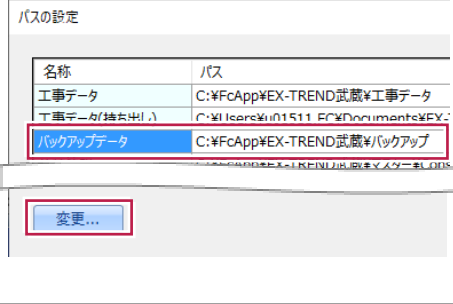
個別にバックアップする場合は、工事一覧で該当の工事を選択し、[ツール] - [工事のバックアップ] を選択します。



4 [バックアップデータの保存先]を確認します。

保存先の変更

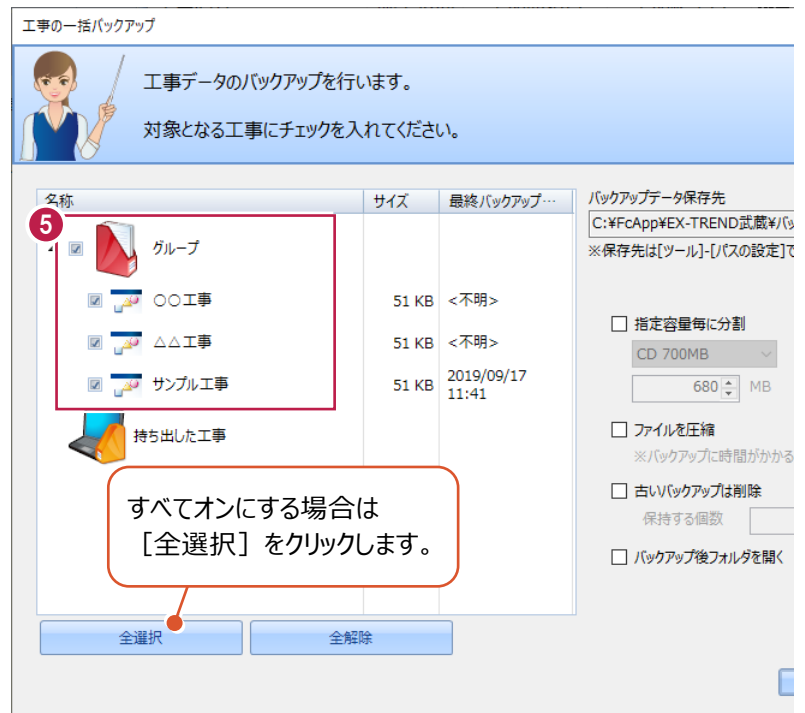
保存先を外付けのHDDなどにする場合は、工事の一括バックアップダイアログを [キャンセル] で閉じ、 [ツール] - [パスの設定] で [バックアップデータ] のパスを選択して [変更] をクリックしてください。



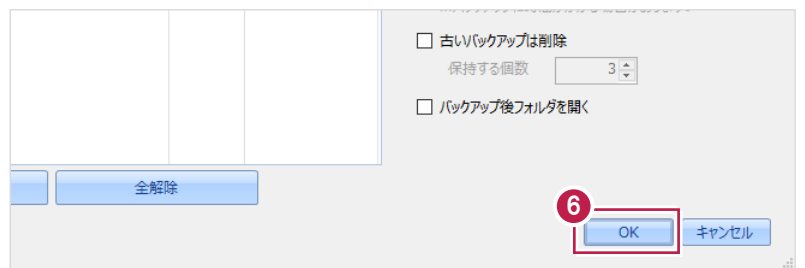
5 バックアップする工事データをオンにします。

バックアップ時の設定について

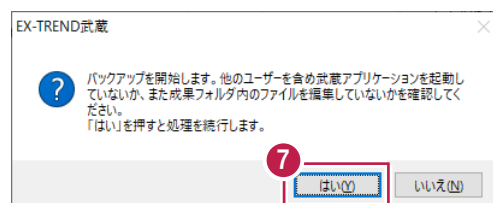
- [指定容量毎に分割] : CDなどのメディアの容量に合わせて、フォルダー分けしてバックアップデータを作成する場合に使用します。
- [ファイルを圧縮] : バックアップデータ量を圧縮して小さくする場合に使用します。(※写真データが多い場合は圧縮してもデータのサイズはあまり変わりません。)
- [古いバックアップは削除] : 同一フォルダー内に保管しておくバックアップ数を指定します。
- [バックアップ後フォルダを開く] : バックアップ完了後に保存先のフォルダーを自動的に開く場合はオンにします。



6 [OK] をクリックします。



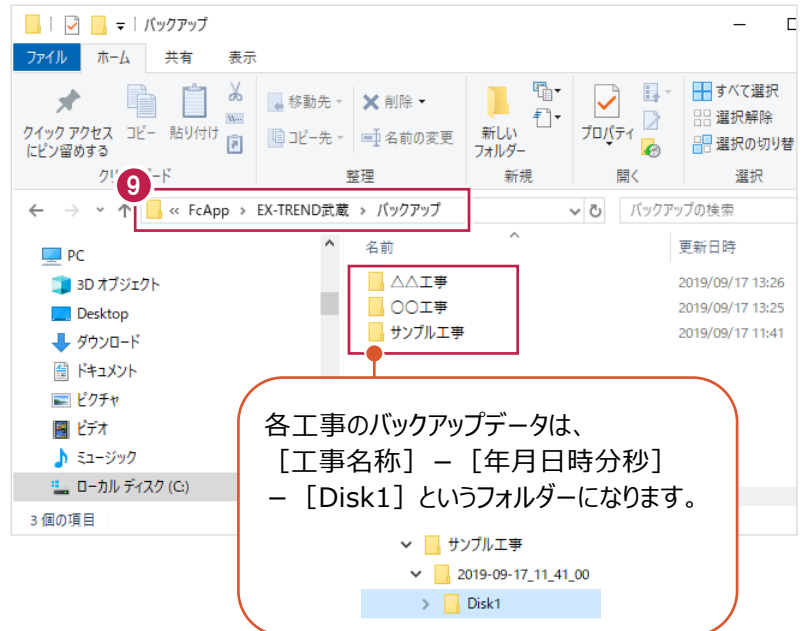
7 [はい] をクリックします。



8 [OK] をクリックします。



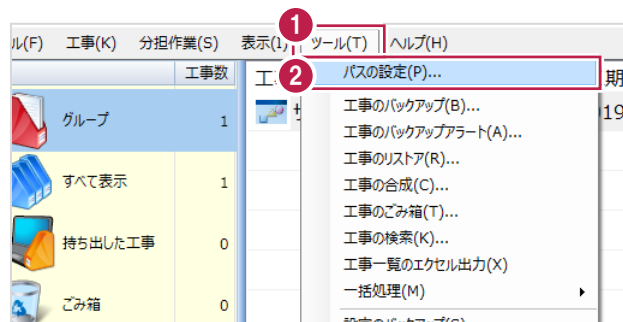
9 バックアップデータ保存先に、工事データが保存されます。



■ 工事データをリストア（復元）する

1 メニューバーの [ツール] をクリックします。

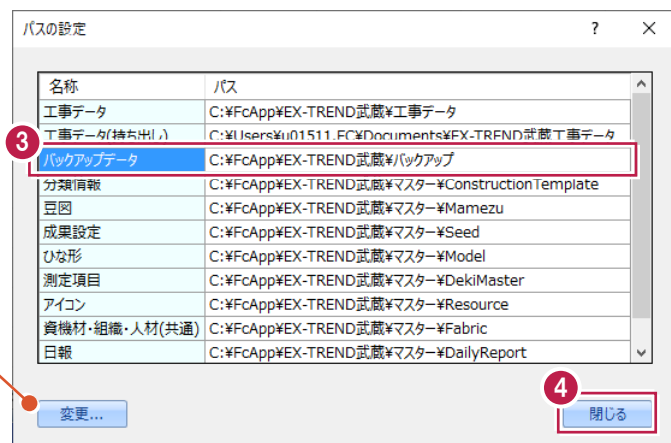
2 [パスの設定] をクリックします。



3 [バックアップデータ] のパスを確認します。
この場所に、リストアしたいバックアップデータを格納してください。

バックアップデータが、外付けHDDなどに保存されている場合は、
[バックアップデータ] を選択した状態で [変更] をクリックして、パスを変更してください。

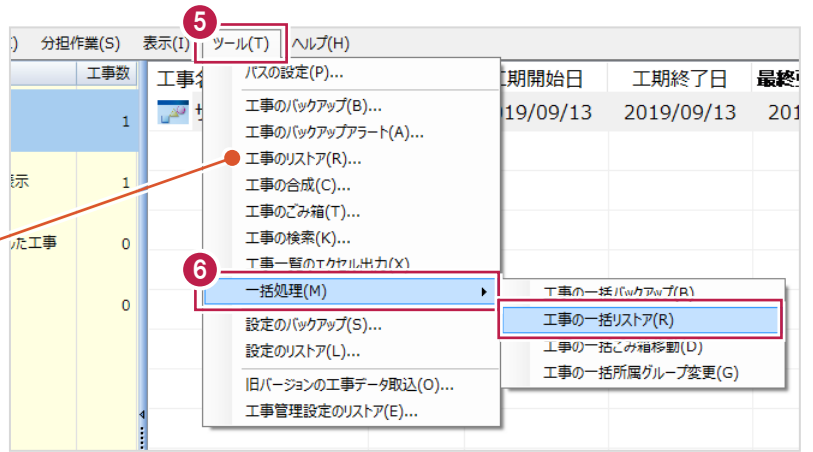
4 確認後、[閉じる] をクリックします。



5 メニューバーの [ツール] をクリックします。

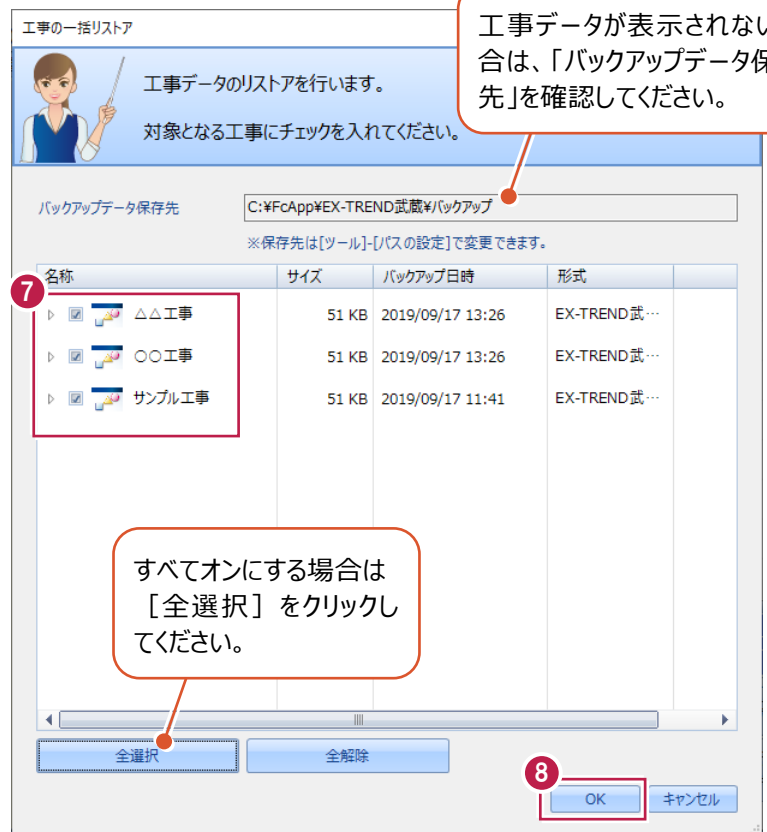
6 [一括処理] - [工事の一括リストア] をクリックします。

個別にリストアする場合は、工事一覧で該当の工事を選択し、[ツール] - [工事のリストア] を選択します。(「Disk1」フォルダーを指定してください。)



7 取り込む工事データをオンにします。

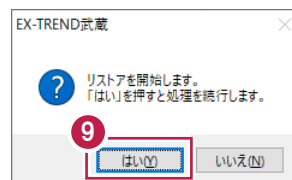
8 [OK] をクリックします。



工事データが表示されない場合は、「バックアップデータ保存先」を確認してください。

すべてオンにする場合は「全選択」をクリックしてください。

9 [はい] をクリックします。



10 [OK] をクリックします。



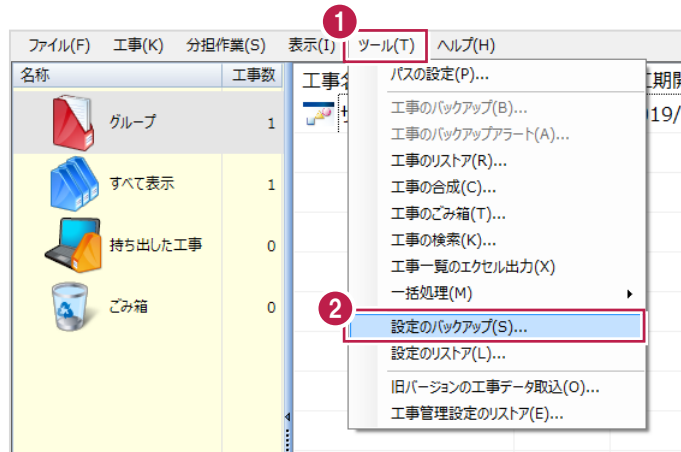
2-7 各種設定のバックアップ/リストア

ここでは、EX-TREND武蔵関連プログラムで使用する共通設定、辞書などをバックアップする操作、バックアップしたデータを戻す（リストア）操作を説明します。

■ 各種設定をバックアップする

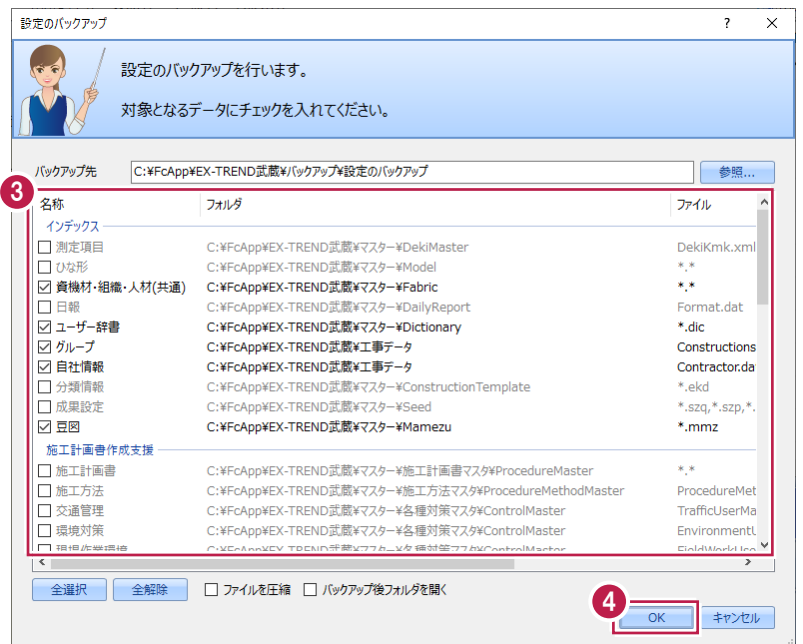
① メニューバーの「ツール」をクリックします。

② 「設定のバックアップ」をクリックします。



③ バックアップする設定をオンにします。

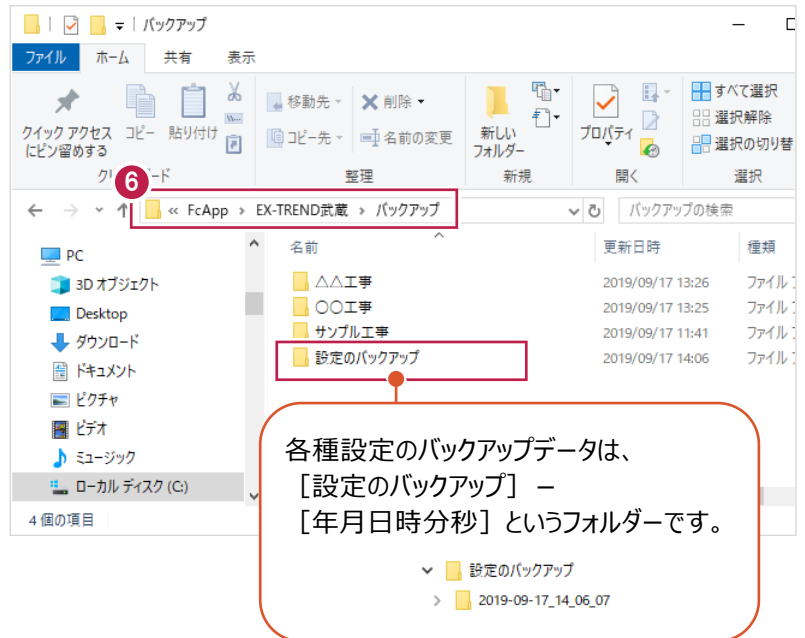
④ [OK] をクリックします。



⑤ [OK] をクリックします。

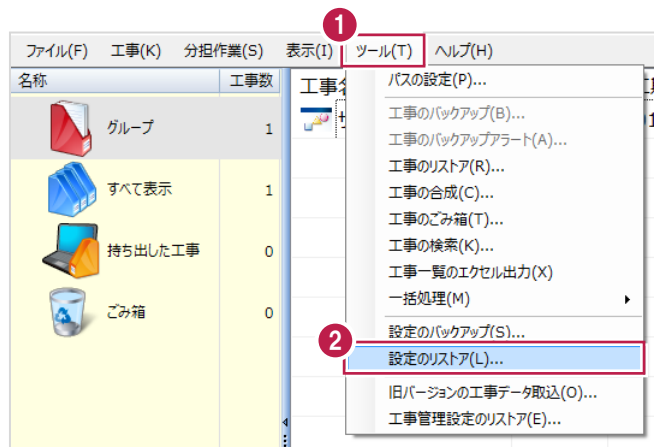


- ⑥ バックアップデータ保存先に、設定が保存されます。



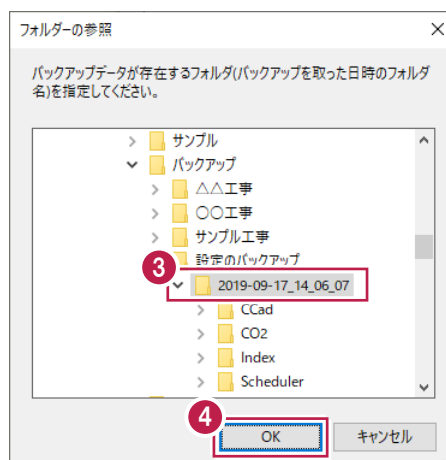
■ 各種設定をリストア（復元）する

- ① メニューバーの [ツール] をクリックします。



- ② [設定のリストア] をクリックします。

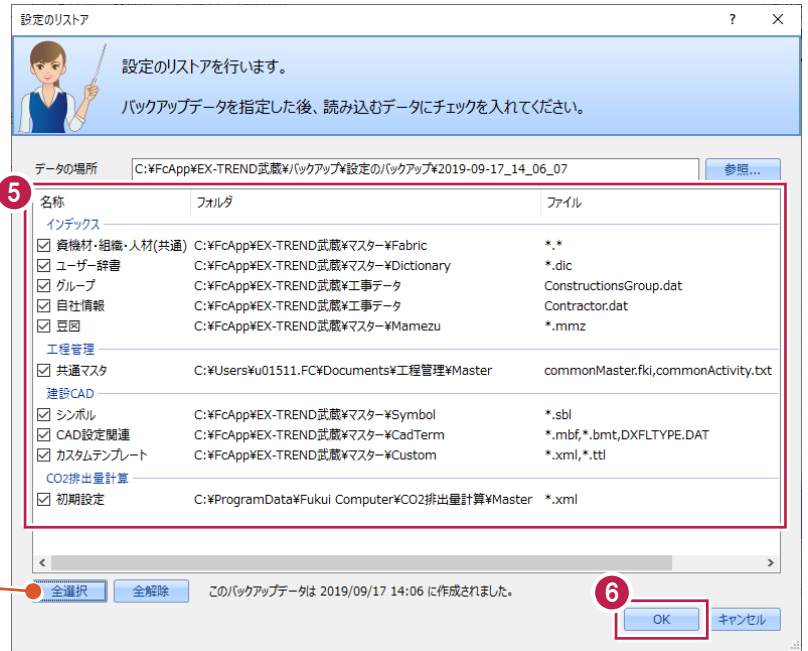
- ③ バックアップした設定があるフォルダーを指定します。



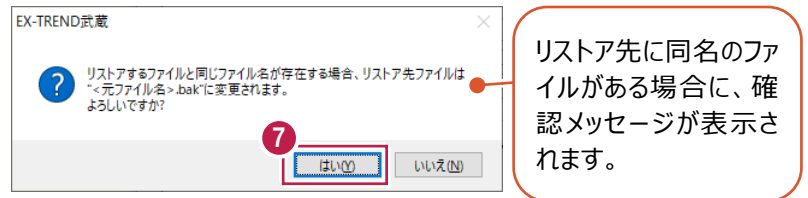
- ④ [OK] をクリックします。

5 取り込む設定をオンにします。

6 [OK] をクリックします。



7 [はい] をクリックします。



8 [OK] をクリックします。

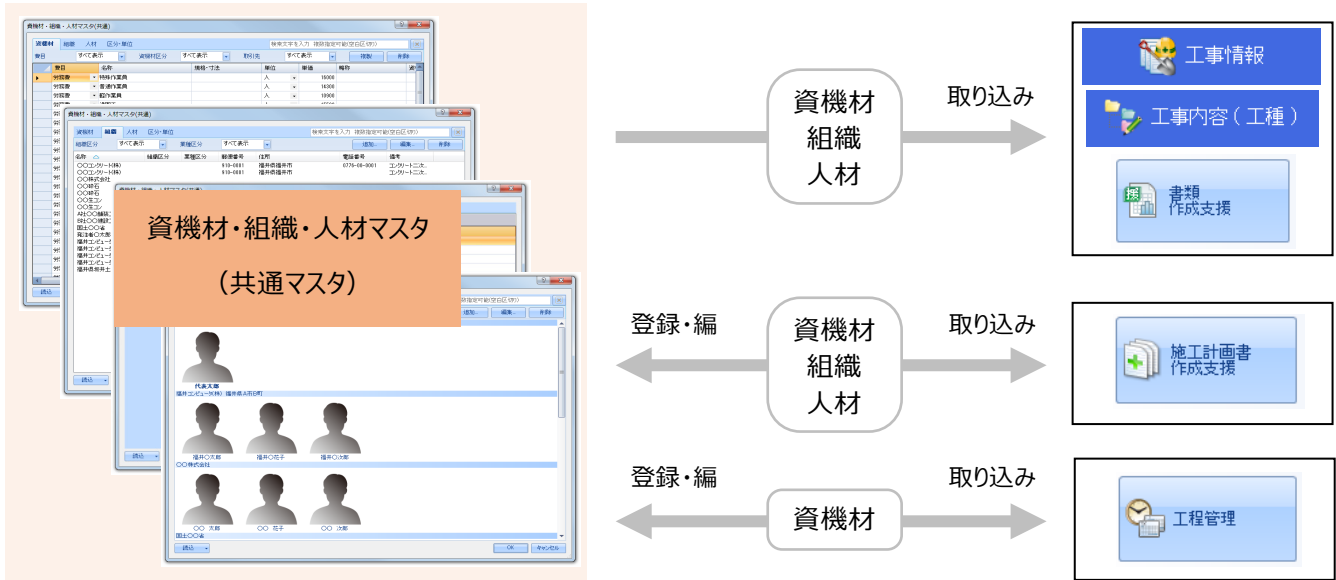


2-8 資機材・組織・人材マスタの登録

資機材・組織・人材マスタでは、入力時によく使用する情報をあらかじめ登録しておくことができ、毎回同じ情報を入力する手間を軽減することができます。（EX-TREND武蔵関連プログラムの共通の情報として保持されます。）

登録したマスタは、インデックスの工事情報や工事内容、書類作成支援、施工計画書作成支援、工程管理などで取り込むことができ、施工体制台帳や連絡先一覧、現場組織表の作成などに利用することができます。

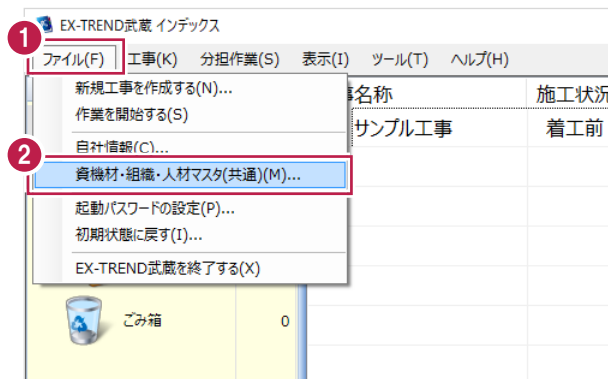
また、施工計画書作成支援や工程管理側からも、マスタの編集・登録をおこなうことができます。



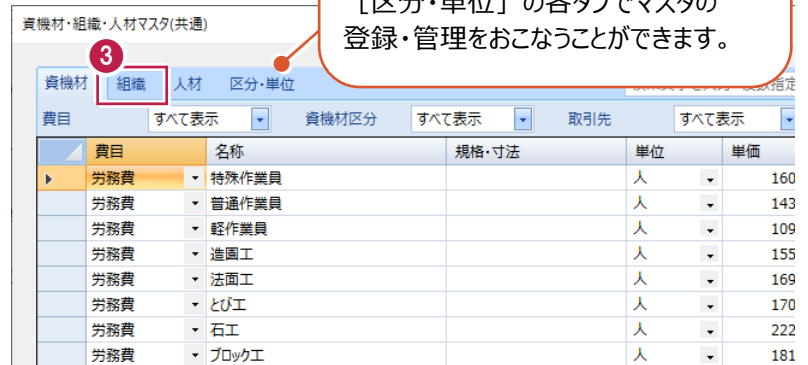
ここでは、[資機材・組織・人材マスタ (共通)] で、組織マスタを登録する操作を例に説明します。

① メニューバーの [ファイル] をクリックします。

② [資機材・組織・人材マスタ (共通)] をクリックします。



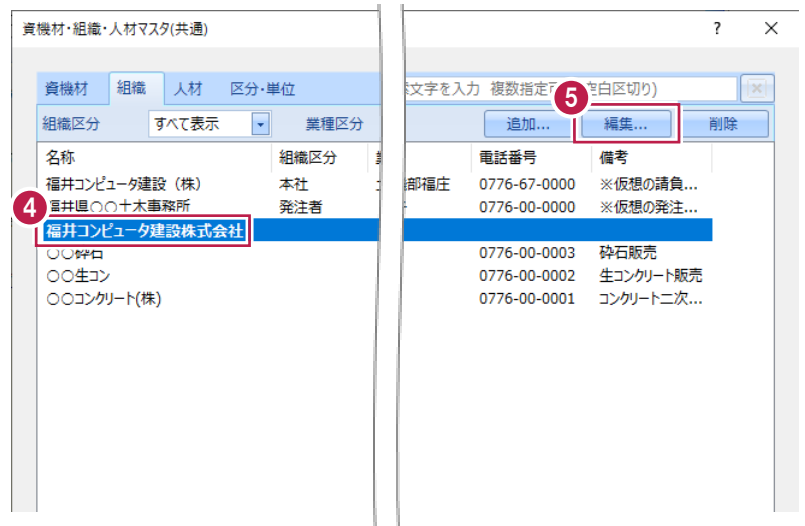
③ [組織] タブをクリックします。



- ④ 一覧より、会社名を選択します。

「ファイル」 - 「自社情報」で入力した場合は一覧に表示されます。
入力していない（一覧にない）場合は「追加」をクリックしてください。

- ⑤ 「編集」をクリックします。

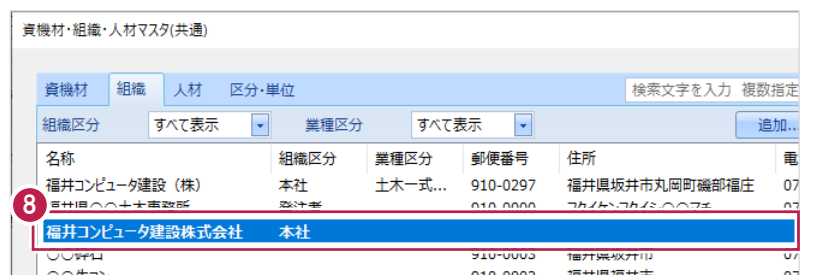


- ⑥ 「組織区分」の▼をクリックし、区分を選択します。

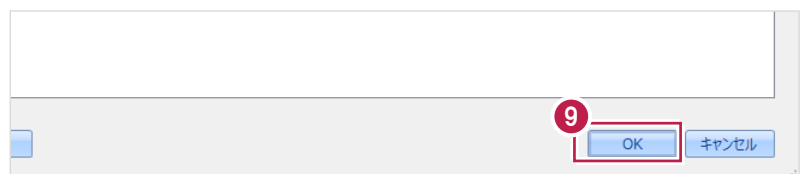
- ⑦ 「OK」をクリックします。



- ⑧ 情報が追加されたことを確認します。



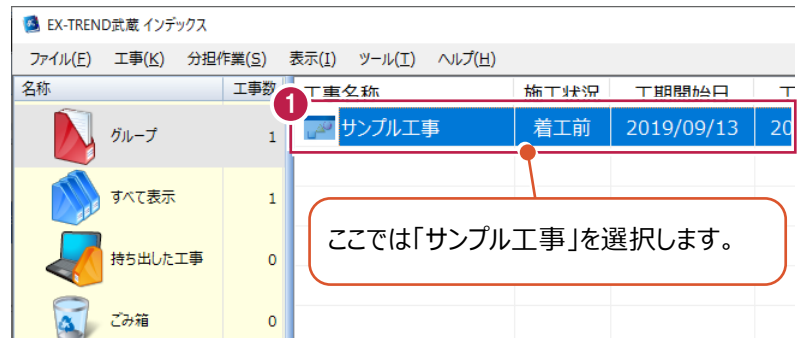
- ⑨ 「OK」をクリックして、資機材・組織・人材マスタ（共通）ダイアログを閉じます。



2-9 積算データの取込み

積算データは、インデックスで取込むことができ、各プログラムに連動します。
ここでは、既存の工事に積算データを取り込む操作を説明します。

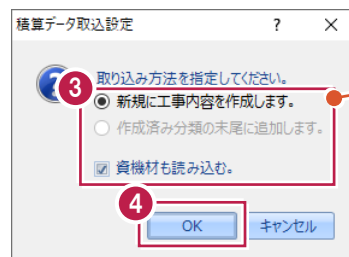
- 1 工事一覧で、積算データを取り込む工事を
選択します。



- 2 工事の編集パネルで、[積算データ取込] を
クリックします。



- 3 [新規に工事内容を作成します。] を選択し、
[資機材も読み込む。] をオンにします。



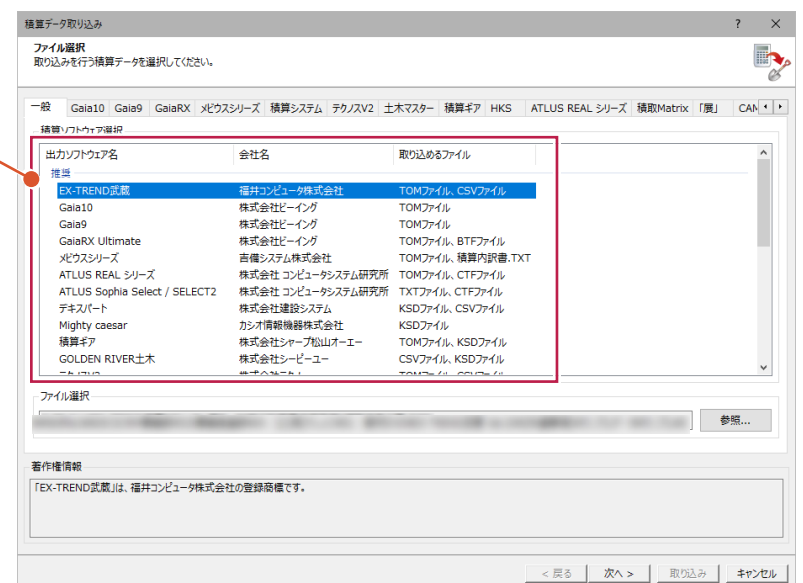
すでに作成済みの分類がある場合は、
[作成済みの分類の末尾に追加します。]
が選択可能になります。
その場合 [新規工事内容を作成します。]
を選択すると、既存の分類に上書き
されますのでご注意ください。

- 4 [OK] をクリックします。

積算データ取り込みダイアログが表示
されますので、積算ソフトウェアとデータ
ファイル指定して取り込みます。

EX-TREND武蔵では、「積算ソフトウ
ェア選択」の一覧に表示されているソフト
ウェアのデータの取込みが可能です。

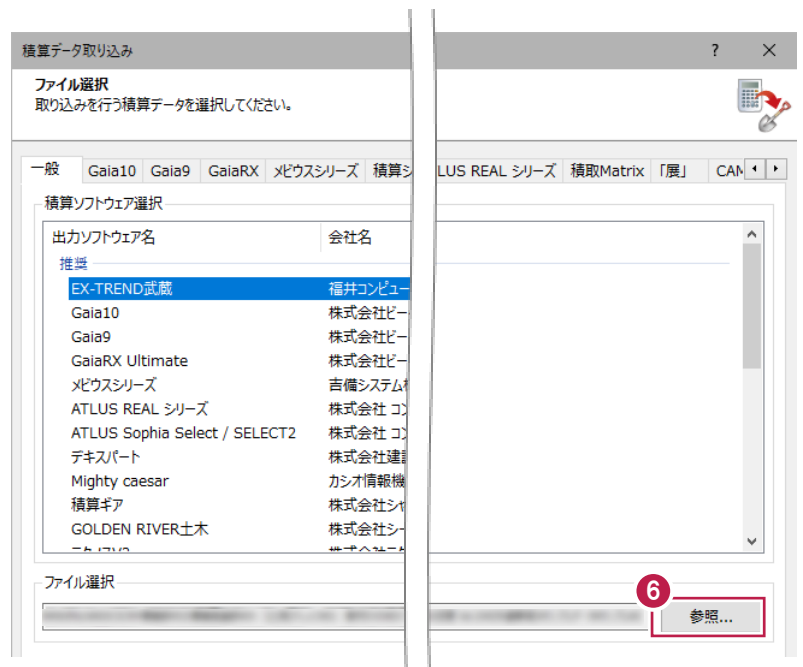
※ソフトウェアごとに、対応しているファ
イル形式が異なりますので、詳細は「ヘル
プ」をご確認ください。



5 「出カソフトウェア名」を選択します。



6 「ファイル選択」の [参照] をクリックします。

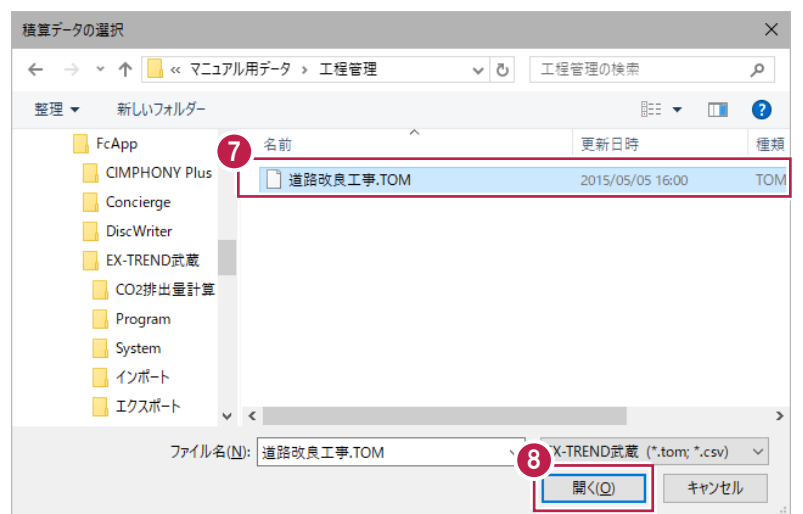


7 サンプルデータ「道路改良工事.TOM」を選択します。

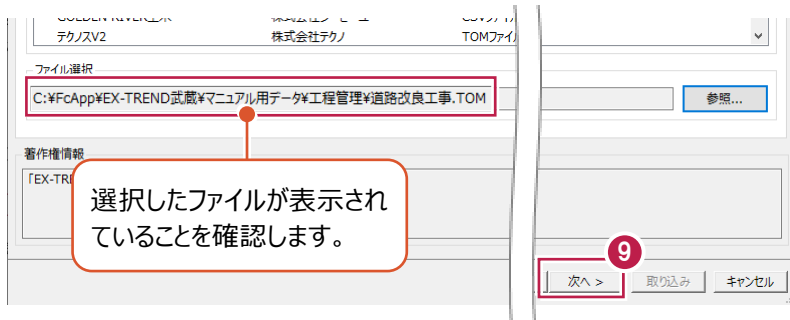
サンプルデータは以下のフォルダーに格納されています。

C:\¥FcApp¥EX-TREND武蔵¥
マニュアル用データ¥工程管理

8 [開く] をクリックします。



9 [次へ] をクリックします。



積算データから読み込んだ分類・資機材が表示されます。

10 取り込む分類をオンにします。
※必要に応じてツリー構成を編集し、取込む分類のみオンにします。

11 [取込み] をクリックします。



積算データ取り込み時の注意点、分類の編集について

1. EX-TREND武蔵で読み込める分類は、工程種、種別、細別、規格の4階層までです。

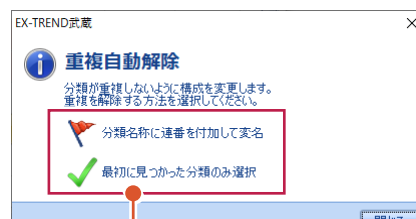
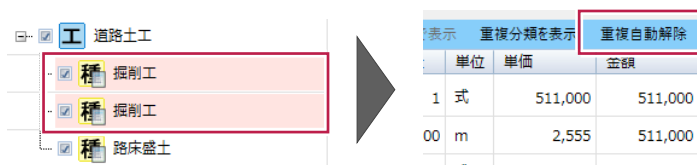
上位層に、工事名や費目など、不要な階層が含まれている場合は削除する階層を選択し、[削除+繰り上げ] をクリックしてください。



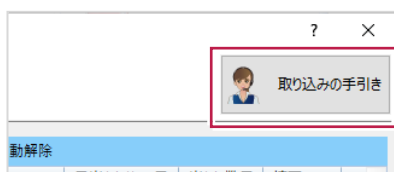
2. 同じ分類の同一階層には、同一名称の分類を取り込むことができないため名称を変更する必要があります。

重複する分類はピンクで表示されるため、編集する必要があります。

編集する方法は、分類名の変更、分類名のチェックをオフにするなどがありますが、[重複自動解除] を使用すると一括編集することが可能です。

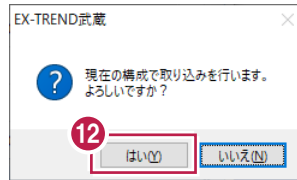


※その他、積算データの取込み時の注意点は、ダイアログ右上の[取り込みの手引き]を確認してください。



[分類名称に連番を付加して変名] : 2つ目以降の同一分類名に「-1」「-2」と連番を付加して取り込みます。
[最初に見つけた分類のみ選択] : 1つ目の分類のみ取り込みます。

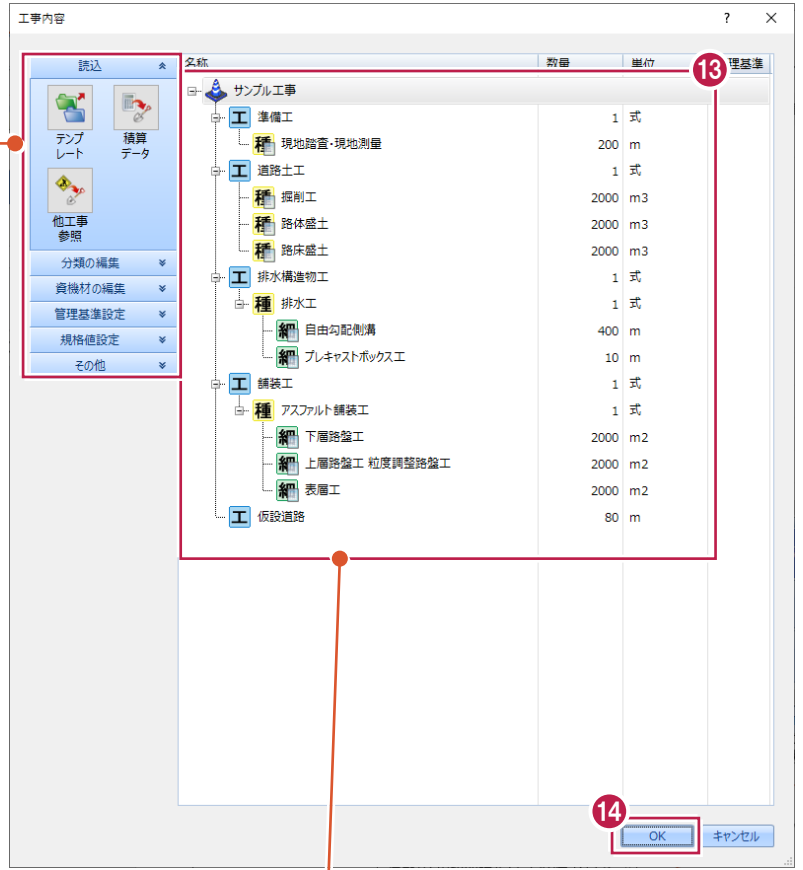
12 [はい] をクリックします。



13 積算データが取り込まれます。

【分類の編集】：
 [追加] や [削除] で、分類や数量を編集することができます。

【資機材の編集】：
 [使用材一覧] をクリックし、使用材料一覧ダイアログで [EXCELに出力] で使用材料の一覧表が作成できます。



14 [OK] をクリックします。

資機材情報のある分類を選択すると、ダイアログ下側に資機材情報が表示されます。

名称	規格・寸法	数量	単位
ダンプトラック(込)	10t	20	台
バックホウ	0.5m3	20	台
運転手(特殊)		20	人
軽油		2000	l
交通誘導員		20	人
土木一般世話役		10	人
普通作業員		30	人

3

新規データ作成

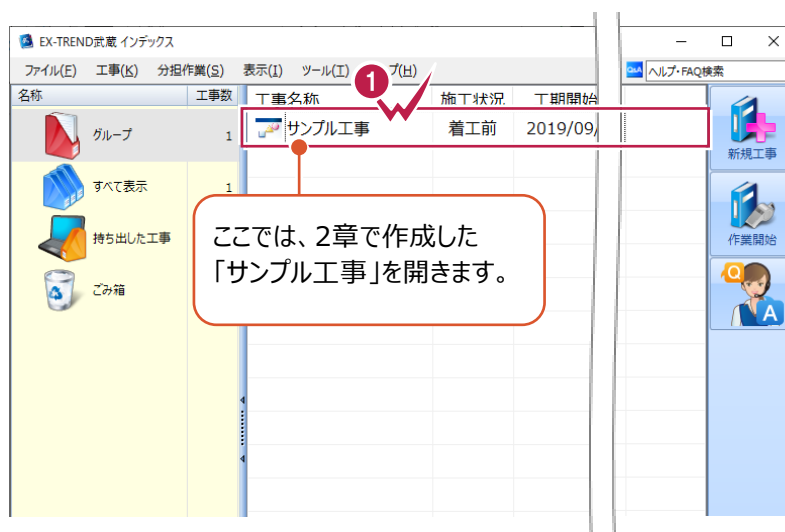
工程管理を起動後、新規でデータを作成し、工期・金額・休日などを設定する手順を説明します。

3-1 工程管理の起動

工事データを開き、工程管理を起動します。

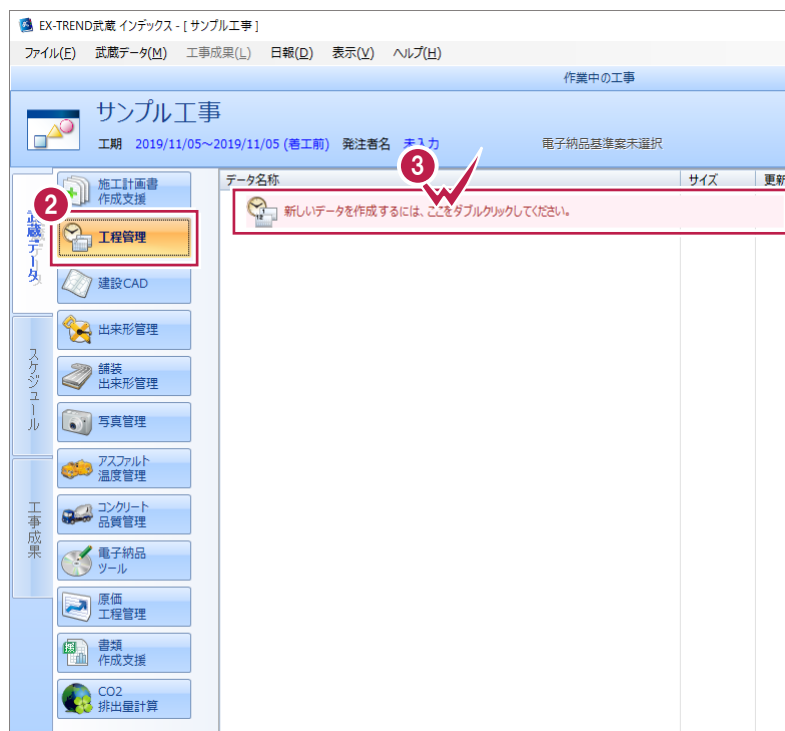
ここでは、2章で作成した積算取り込み後の工事データを使用して操作を説明します。

- 1 作業をおこなう工事データをダブルクリックします。



- 2 画面左側で「工程管理」をクリックします。

- 3 データ一覧の「新しいデータを作成するには、ここをダブルクリックしてください。」をダブルクリックします。



3-2 工期・金額の設定

データ名称や工事期間・管理期間・請負金額・工事金額などを設定します。

- ① [データ名称] を確認します。
- ② [工事期間] [管理期間] を入力します
- ③ [請負金額] [工事金額] を入力します。
- ④ [資機材を使う] をオンにします。
- ⑤ [[インデックス]の分類を取り込む] をオンにします。
- ⑥ [データ作成] をクリックします。

- ⑦ [資機材を取り込む対象にする] をオンにします。
- ⑧ 取り込む分類がオンになっていることを確認し [OK] をクリックします。

- ⑨ [いいえ] をクリックします。

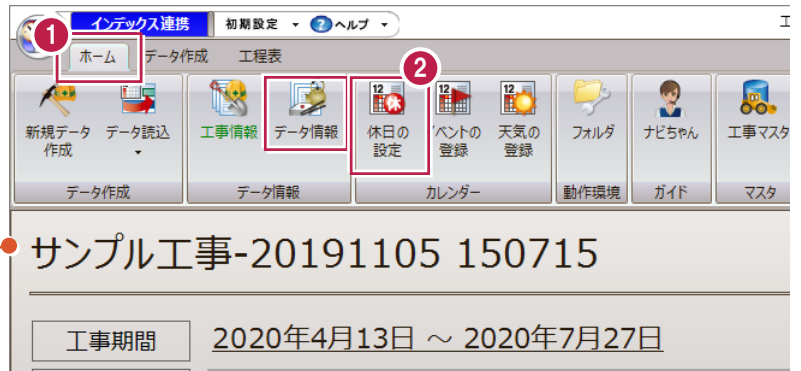
工数計算に進む場合は [[はい] をクリックします。

3-3 休日の設定

一括で休日を設定します。

- 1 [ホーム] タブをクリックします。
- 2 [カレンダー] グループ- [休日の設定] をクリックします。

先程設定したデータ名称や工事期間が表示されます。[データ情報] より編集可能です。



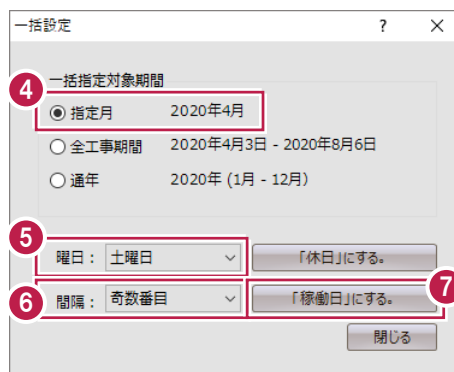
- 3 [一括設定] をクリックします。

2020年4月であることを確認します。



カレンダーのピンク色の日が休日となります。

- 4 [指定月] が「2020年4月」であることを確認してオンにします。
- 5 [曜日] は「土曜日」を選択します。
- 6 [間隔] は「奇数番目」を選択します。
- 7 [「稼働日」にする。] をクリックします。



休日設定

2020年 4月

2020年4月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

2020年3月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

2020年5月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

右クリック: 編集/削除
ダブルクリック: 編集

全て表示する
<4月分表示中>

No.	日付	名称
001	2020/4/5	日曜日
002	2020/4/11	土曜日
003	2020/4/12	日曜日
004	2020/4/19	日曜日
005	2020/4/25	土曜日
006	2020/4/26	日曜日
007	2020/4/29	昭和の日

4月の奇数番目の土曜日が稼働日に設定されます。

8 [登録] をクリックします。

一括設定 登録 閉じる

日付をダブルクリックすると登録/解除します。

8 [登録] をクリックします。

インテックス連携 初期設定 ヘルプ

工程管理 - サンプル工事-20191105 150715*

ヘルプ・FAQ検索

ホーム データ作成 工程表

新規データ作成 データ読込 工事情報 データ情報 休日の設定 イベントの登録 天気登録 フォルダ ナビちゃん 工事マスタ

データ作成 データ情報 カレンダー 動作環境 ガイド マスタ

サンプル工事-20191105 150715

工事期間 2020年4月13日 ~ 2020年7月27日

予定表

日付	曜日	行事など	作業
4/16	木		現地踏査・現地測量(40.00m)...
4/17	金		現地踏査・現地測量(40.00m)...
4/18	土		
4/19	日		
4/20	月		

工事の状況 2020年4月13日から開始予定です。着手前写真の撮影、資機材の発注

工程進度 0.00% (残日数 265日)

出来高進捗 0.00%

【サンプル工事-20191105 150715】

予定表に休日設定が反映されていることが確認できます。

3-4 イベントの設定

[打合せ] などのイベントを登録します。

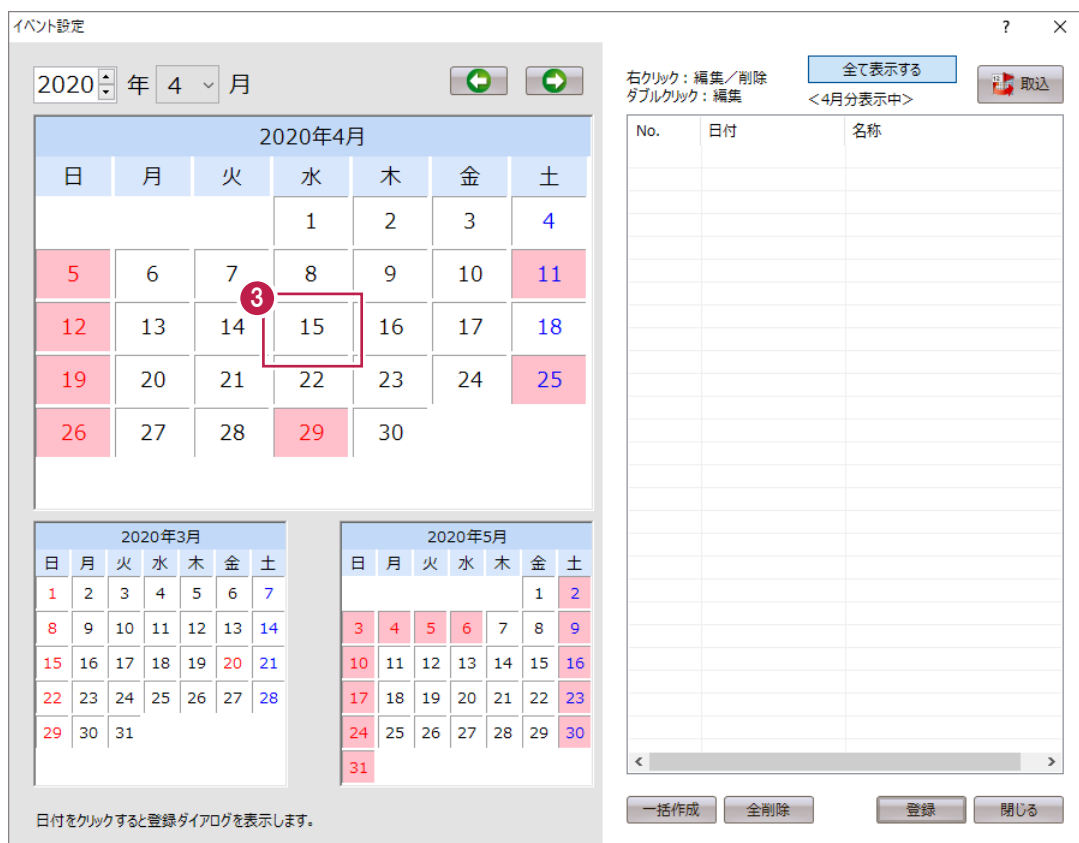
「打合せ」の登録

① [ホーム] タブをクリックします。

② [カレンダー] グループ [イベントの登録] をクリックします。



③ イベントを登録する日付、ここでは「4月15日」を選択します。



④ [名称] に「打合せ」と入力します。

⑤ [登録] をクリックします。



イベント設定

2020年 4月

右クリック：編集/削除
ダブルクリック：編集

全て表示する
<4月分表示中>

取込

No.	日付	名称
001	2020/4/15	打合せ

イベントを登録した日付が太字で表示され、右側のイベント一覧に表示されます。

インデックスのスケジュールで登録したイベントを取り込む場合は、[取込]をクリックしてください。

また工程管理プログラムで登録したイベントをインデックスのスケジュールへ登録することも可能です。

6 [登録]

一括作成 全削除 登録 閉じる

日付をクリックすると登録ダイアログを表示します。

6 [登録] をクリックします。

《参照》7-1 イベントの確認

登録したイベントが表示されます。

サンプル工事-20191105 150715

工事期間 2020年4月13日 ~ 2020年7月27日

予定表

日付	曜日	行事など
4/13	月	
4/14	火	
4/15	水	打合せ
4/16	木	

予定表に確認したい日が表示されていない場合は、画面右側のボタンで表示する日を変更します。

1つ三角ボタンは前後1日ずつ、2つ三角ボタンは前後1週間ずつ移動し表示します。

作業

現地踏査・現地測量(40.00m)、掘削工(400.00...)

現地踏査・現地測量(40.00m)、掘削工(400.00...)

現地踏査・現地測量(40.00m)、掘削工(400.00...)

現地踏査・現地測量(40.00m)、掘削工(400.00...)

今日

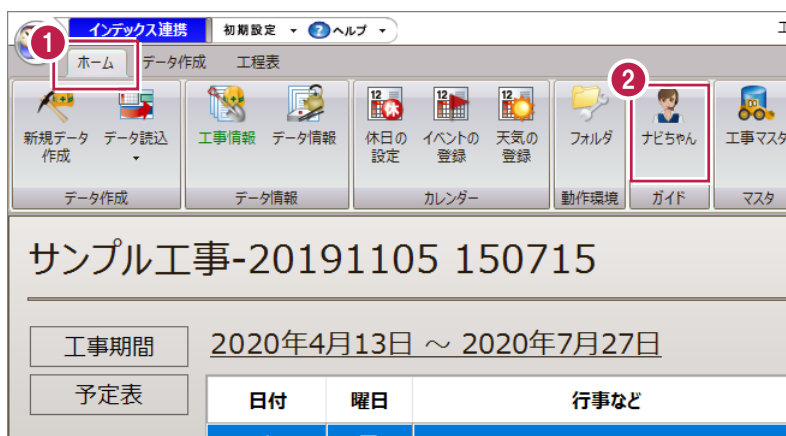
▲ ▲

▼ ▼

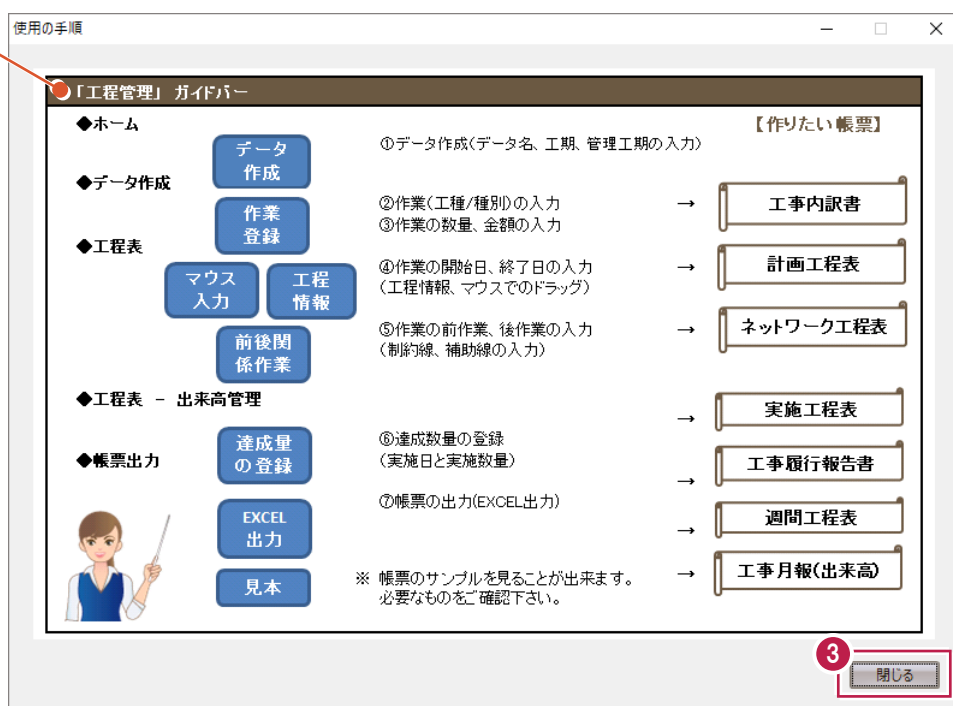
(残日数 66日)

■ 工程表作成手順の確認

- 1 [ホーム] タブをクリックします。
- 2 [ガイド] グループ- [ナビちゃん] をクリックします。



ガイドバーが表示されます。



- 3 手順を確認後 [閉じる] をクリックします。

4

作業の登録・編集

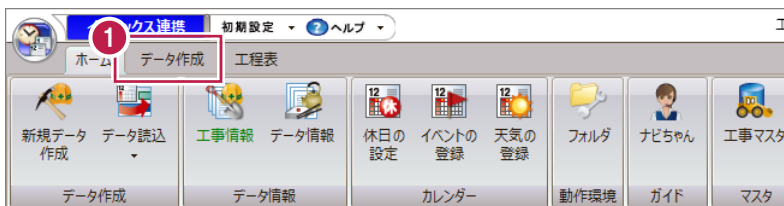
作業の登録、作業ツリーの編集、そしてインデックスから取り込んだ資機材に日当たり数量を設定する手順を説明します。

4-1 作業の登録

行間や列幅を調整し、作業を登録します。

■ 行間・列幅の調整

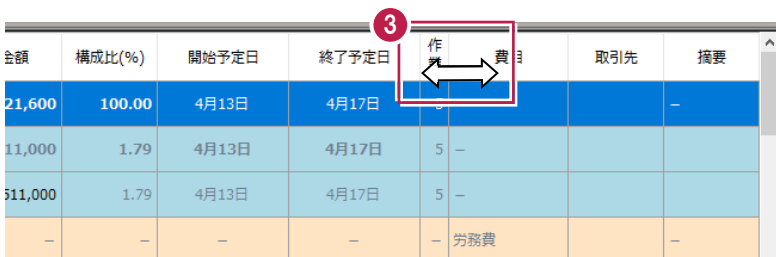
① [データ作成] タブをクリックします。



② 画面左側に表示される両矢印をドラッグし行間を調整します。



③ 項目セルの右側にマウスを移動し表示される両矢印をドラッグし幅を調整します。



作業日数は初期設定をもとに5日間で登録されます。



- 4 [作成] グループ [資機材] のボタンをクリックし「OFF」に切り替えます。

階層	名称	単位	数量	日施工量(基準値)	工数計算	日施工量(計算値)	金額
1	サンプル工事-20191105 150715		1.00	-	-	-	28,521,6
2	準備工	式	1.00	0.00	-	0.20	511,0
3	現地踏査・現地測量	m	200.00	40.00	×	40.00	511,0
2	道路土工	式	1.00	0.00	-	0.20	10,391,0
3	掘削工	m3	2,000.00	200.00	×	400.00	3,383,0
3	路体盛土	m3	2,000.00	200.00	×	400.00	3,452,0
3	路床盛土	m3	2,000.00	200.00	×	400.00	3,556,0

作業の登録

- 1 階層 1 の [サンプル工事-20191105 150715] を選択します。
- 2 [データ作成] タブ [作成] グループ [作業] - [作業の登録] をクリックします。

階層	名称	単位	数量	日施工量(基準値)	工数計算	日施工量(計算値)	金額
1	サンプル工事-20191105 150715		1.00	-	-	-	28,521,6
2	準備工	式	1.00	0.00	-	0.20	511,0
3	現地踏査・現地測量	m	200.00	40.00	×	40.00	511,0
2	道路土工	式	1.00	0.00	-	0.20	10,391,0
3	掘削工	m3	2,000.00	200.00	×	400.00	3,383,0
3	路体盛土	m3	2,000.00	200.00	×	400.00	3,452,0
3	路床盛土	m3	2,000.00	200.00	×	400.00	3,556,0

[作業名称] をオンにし、作業リストから選択することもできます。

作業登録	サンプル工事-20191105 150715	2020/04/13	2020/04/17
<input checked="" type="checkbox"/> 作業名称	(作業名)	新	
規格・寸法	(作業名)		
数量	掘削 (土砂)		
日当たり数量	盛土		
	床盛り		

- 3 [作業名称] をオフにします。
- 4 「後片付け」と入力します。
- 5 [数量] に「1」と入力します。
- 6 [稼働日数] が「5日間」であることを確認します。
- 7 [登録] をクリックします。

作業登録

サンプル工事-20191105 150715 2020/04/13 2020/04/17 上位優先

作業名称

規格・寸法

数量 式

日当たり数量 式

稼働日数 日間

開始日 2020年 4月13日

終了日 2020年 4月17日

工数計算の対象にする

登録

編集

閉じる

2020年3月 2020年4月

日 月 火 水 木 金 土 日 月 火 水 木 金 土

23 24 25 26 27 28 29 1 2 3 4

2	排水構造物工	式	1.00	0.00	-	0.20	4,732,6
		式	1.00	0.00	-	0.20	4,732,6
		m	400.00	20.00	×	80.00	4,305,0
		m	10.00	2.00	×	2.00	427,6
2	舗装工	式	1.00				887,0
3	アスファルト舗装工	式	1.00				887,0
4	下層路盤工	m2	2,000.00	20			600,0
4	上層路盤工 粒度調整路盤工	m2	2,000.00	20			197,0
4	表層工	m2	2,000.00	40			090,0
2	仮設道路	m	80.00	20.00	×	16.00	4,000,0
2	後片付け	式	1.00	0.00	×	0.20	

作業の登録は、右クリックで表示されるポップアップメニューからも可能です。

階層1「サンプル工事-20191105 150715」が親作業、階層2「後片付け」が子作業として登録されます。

- コピー
- 上書き貼り付け
- 挿入して貼り付け
- 作業登録
- 資機材登録
- 情報編集
- 削除
- 作業(単体)複製

【サンプル工事-20191105 150715】 工事データを作成します。



8 [閉じる] をクリックします。

作業登録 ? X

サンプル工事-20191105 150715 2020/04/13 2020/04/17 上位優先

作業名称 後片付け [複製]

規格・寸法 [複製]

数量 1.00 式 [日数計算]

日当たり数量 0.00 式

工程作成 継続

稼働日数 5 日間

● 開始日 2020年 4月18日

○ 終了日 2020年 4月23日

工数計算の対象にする ▲カレンダー▲

◀ 2020年3月 2020年4月 ▶

日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
23	24	25	26	27	28	29		1	2	3	4		
1	2	3	4	5	6	7	5	6	7	8	9	10	11
8	9	10	11	12	13	14	12	13	14	15	16	17	18
15	16	17	18	19	20	21	19	20	21	22	23	24	25
22	23	24	25	26	27	28	26	27	28	29	30	1	2
29	30	31					3	4	5	6	7	8	9

今日: 2019/11/07

登録 編集 **8** 閉じる

4-2 作業ツリーの編集

階層の移動や作業の削除などを説明します。

■ 階層について

[データ作成] タブー [情報] グループー [詳細情報] より作業情報の編集がおこなえます。

作業ツリーの [階層1] はデータ名称固定となります。

ツリーが長くなり見づらくなる場合は、作業名称の前にあるマイナス (-) をクリックしプラス (+) にすることで、下層が非表示となりツリーを縮めることができます。

帳票に正確に出力する為、[階層2] は工種、[階層3] は種別、[階層4] は細別といったように設計書に基づいて作成します。
帳票により4階層以下は出力されないため、ご注意ください。

階層	名称	単位	数量	日施工量(基準値)	工数計算	日施工量(計算値)	金額	構成比(%)
1	サンプル工事-20191105 150715		1.00	-	-	-	28,521,600	100.00
2	準備工	式	1.00	0.00	-	0.20	511,000	1.79
3	現地踏査・現地測量	m	200.00	40.00	×	40.00	511,000	1.79
2	道路土工	式	1.00	0.00	-	0.20	10,391,000	36.43
2	排水構造物工	式	1.00	0.00	-	0.20	4,732,600	16.59
3	排水工	式	1.00	0.00	-	0.20	4,732,600	16.59
4	自由勾配側溝	m	400.00	20.00	×	80.00	4,305,000	15.09
4	プレキャストボックス工	m	10.00	2.00	×	2.00	427,600	1.50
2	舗装工	式	1.00	0.00	-	0.20	8,887,000	31.16
3	アスファルト舗装工	式	1.00	0.00	-	0.20	8,887,000	31.16
4	下層路盤工	m2	2,000.00	200.00	×	400.00	2,600,000	9.12
4	上層路盤工 粒度調整路盤工	m2	2,000.00	200.00	×	400.00	2,197,000	7.70

直接編集ができない箇所はグレーで表示され、例えば「排水工」の金額を編集する場合は、下層作業の金額を変更することで更新されます。

スクロールしています。

名称や規格・寸法、数量、金額などの情報は、セルでの直接編集が可能です。

■ 階層の移動

① 「排水工」を選択します。

② [編集] グループー [左矢印] をクリックします。

作業名称の前にあるマイナス (-) をクリックし、プラス (+) にしています。

階層	名称	単位	数量	日施工量(基準値)	工数計算	日施工量(計算値)	金額
1	サンプル工事-20191105 150715		1.00	-	-	-	28,521,600
2	準備工	式	1.00	0.00	-	0.20	511,000
3	現地踏査・現地測量	m	200.00	40.00	×	40.00	511,000
2	道路土工	式	1.00	0.00	-	0.20	10,391,000
2	排水構造物工	式	1.00	0.00	-	0.20	4,732,600
3	排水工	式	1.00	0.00	-	0.20	4,732,600
4	自由勾配側溝	m	400.00	20.00	×	80.00	4,305,000
4	プレキャストボックス工	m	10.00	2.00	×	2.00	427,600
2	舗装工	式	1.00	0.00	-	0.20	8,887,000

インデックス連携 初期設定 ヘルプ

ホーム テータ作成 工程表

詳細情報 作業 構成比 資機材 設計変更 削除 作業の複製 ツリーの複製 テータ連携 テータ取

情報 作成 履歴 編集 取込

階層	名称	単位	数量	日施工量(基準値)	工数計算	日施工量(計算値)	金額
1	サンプル工事-20191105 150715		1.00	-	-	-	33,254,7
2	準備工	式	1.00	0.00	-	0.20	511,0
3	現地踏査・現地測量	m	200.00	40.00	×	40.00	511,
2	道路土工	式	1.00	0.00	-	0.20	10,391,0
2	排水構造物工	式	1.00	0.00	×	0.20	4,732,
2	排水工	式	1.00	0.00	-	0.20	4,732,0
3	自由勾配側溝	m	400.00	20.00	×	80.00	4,305,
3	プレキャストボックス工	m	10.00	2.00	×	2.00	427,
2	舗装工	式	1.00	0.00	-	0.20	8,887,0

下層の作業や資機材も同時に1つ上の階層に移動します。

階層を移動した場合、上下層の作業との関係性に影響があるため注意してください。

作業の削除

- 「排水構造物工」を選択します。
- [編集] グループ - [削除] をクリックします。

インデックス連携 初期設定 ヘルプ

ホーム テータ作成 工程表

詳細情報 作業 構成比 資機材 設計変更 削除 作業の複製 ツリーの複製 テータ連携 テータ取

情報 作成 履歴 編集 取込

階層	名称	単位	数量	日施工量(基準値)	工数計算	日施工量(計算値)	金額
1	サンプル工事-20191105 150715		1.00	-	-	-	33,254,7
2	準備工	式	1.00	0.00	-	0.20	511,0
3	現地踏査・現地測量	m	200.00	40.00	×	40.00	511,
2	道路土工	式	1.00	0.00	-	0.20	10,391,0
2	排水構造物工	式	1.00	0.00	×	0.20	4,732,
2	排水工	式	1.00	0.00	-	0.20	4,732,0
3	自由勾配側溝	m	400.00	20.00	×	80.00	4,305,

作業名称の前にあるマイナス (-) をクリックし、プラス (+) にしています。

下層に作業や資機材、関連するイベントが登録されている場合には、同時に削除されます。

- [はい] をクリックします。

工程管理

選択した行を削除します
 ・下に「作業」「資機材」があれば共に削除します。
 ・「作業」に関連したイベントがあれば削除します。

はい いいえ

階層	名称	単位	数量	日施工量(基準値)	工数計算	日施工量(計算値)	金額
1	サンプル工事-20191105 150715		1.00	-	-	-	28,521,0
2	準備工	式	1.00	0.00	-	0.20	511,0
3	現地踏査・現地測量	m	200.00	40.00	×	40.00	511,
2	道路土工	式	1.00	0.00	-	0.20	10,391,0
2	排水工	式	1.00	0.00	-	0.20	4,732,0
3	自由勾配側溝	m	400.00	20.00	×	80.00	4,305,

■ 作業の順序変更

① 「仮設道路」を選択します。

② [編集] グループ [上矢印] をクリックします。

階層	名称	工事費区分	規格・寸法	単位	数量	日施工量(基準値)
1	サンプル工事 20191105 150715	-	-		1.00	-
2	準備工	直接工事費		式	1.00	0.00
3	現地踏査・現地測量	直接工事費	巾20m	m	200.00	40.00
2	道路土工	直接工事費		式	1.00	0.00
2	排水工	直接工事費	路側(左右)	式	1.00	0.00
3	自由勾配側溝	直接工事費	300×400~500	m	400.00	20.00
3	プレキャストボックス工	直接工事費	1000×1000	m	10.00	2.00
2	舗装工	直接工事費		式	1.00	0.00
3	アスファルト舗装工	直接工事費	巾10m	式	1.00	0.00
4	下層路盤工	直接工事費	RC-40 t=30cm	m2	2,000.00	200.00
4	上層路盤工 粒度調整路盤工	直接工事費	M-40 t=20cm	m2	2,000.00	200.00
4	表層工	直接工事費	密粒度As t=5cm	m2	2,000.00	400.00
2	仮設道路	直接工事費		m	80.00	20.00
2	後片付け	直接工事費		式	1.00	0.00

下層の作業や資機材も同時に移動するため、2階層目の舗装工の上に移動します。

階層	名称	工事費区分	規格・寸法	単位	数量
1	サンプル工事 20191105 150715	-	-		1.00
2	準備工	直接工事費		式	1.00
3	現地踏査・現地測量	直接工事費	巾20m	m	200.00
2	道路土工	直接工事費		式	1.00
2	排水工	直接工事費	路側(左右)	式	1.00
3	自由勾配側溝	直接工事費	300×400~500	m	400.00
3	プレキャストボックス工	直接工事費	1000×1000	m	10.00
2	仮設道路	直接工事費		m	80.00
2	舗装工	直接工事費		式	1.00
3	アスファルト舗装工	直接工事費	巾10m	式	1.00
4	下層路盤工	直接工事費	RC-40 t=30cm	m2	2,000.00
4	上層路盤工 粒度調整路盤工	直接工事費	M-40 t=20cm	m2	2,000.00
4	表層工	直接工事費	密粒度As t=5cm	m2	2,000.00
2	後片付け	直接工事費		式	1.00

③ [編集] グループ [上矢印] を繰り返してクリックし、「仮設道路」を「道路土工」の上まで移動します。

階層	名称	工事費区分	規格・寸法	単位	数量
1	サンプル工事 20191105 150715	-	-		1.00
2	準備工	直接工事費		式	1.00
3	現地踏査・現地測量	直接工事費	巾20m	m	200.00
2	仮設道路	直接工事費		m	80.00
2	道路土工	直接工事費		式	1.00
3	掘削工	直接工事費	機械掘削	m3	2,000.00

4-3 資機材の日当たり数量設定

インデックスから取り込んだ資機材に、日当たり数量を設定します。

① [作成] グループ - [資機材] のボタンをクリックし「ON」にします。

② 「普通作業員」を選択します。

[ON] に切り替わらない場合には、[ホーム] タブ - [データ情報] を選択し、[資機材を使う] のチェックをONにしてください。

データ編集

データ名称: サンプル工事-20191105 150715

データファイル名: サンプル工事-20191105 150715.shm

工事期間: 2020年 4月13日 ~ 2020年 7月27日

管理期間: 2020年 4月 3日 ~ 2020年 8月 6日

請負金額: 42,000,000 円

工事金額: 42,000,000 円 資機材を使う
(構成比計算で使用)

インデックス連携 初期設定 ヘルプ

ホーム データ作成 工程表

詳細情報 作業 構成比 資機材 ON 設計変更 削除 作業の複製 ツールの複製 データ連携 データ取

順番	名称	工事費区分	規格・寸法	単位	数量
1	サンプル工事-20191105 150715	-	-		1.00
2	□準備工	直接工事費		式	1.00
3	□現地踏査・現地測量	直接工事費	巾20m	m	200.00
4	普通作業員	-		人	20.00
4	測量士	-		人	10.00
4	製図工	-		人	5.00
2	仮設道路	直接工事費		m	80.00
2	□道路土工	直接工事費		式	1.00
3	□掘削工	直接工事費	機械掘削	m3	2,000.00
4	普通作業員	-		人	30.00
4	土木一般世話役	-		人	10.00

③ [データ作成] タブ - [情報] グループ - [詳細情報] をクリックします。

インデックス連携 初期設定 ヘルプ

ホーム データ作成 工程表

詳細情報 作業 構成比 資機材 ON 設計変更 削除 作業の複製 ツールの複製 データ連携 データ取

情報 作成 履歴 編集 取込

[詳細] タブ

④ [日当たり数量] に「4」と入力します。

⑤ [下向き三角] をクリックし、選択行を移動します。

詳細情報[資機材]

詳細 工程

基本情報

名称: 普通作業員

略称:

規格・寸法:

金額

④ 日当たり数量: 4 人

総数量: 20.00 人

金額: 円

積上金額: 円

(下位層の合計)

工事費区分: 直接工事費

費目: 労務費

取引先:

データ内の同一ID資機材に同じ値を適用する

⑤ 更新する OK キャンセル

⑥ [日当たり数量] に「2」と入力します。

⑦ [下向き三角] をクリックし、選択行を移動します。

詳細情報[資機材]

基本情報

名称 測量士

略称

規格・寸法

金額

⑥ 日当たり数量 2 人

総数量 10.00 人

金額 円

積上金額 円

(下位層の合計)

工事費区分 直接工事費

費目 労務費

取引先

データ内の同一ID資機材に同じ値を適用する

更新する

OK キャンセル

⑧ [日当たり数量] に「1」と入力します。

⑨ [OK] をクリックします。

詳細情報[資機材]

基本情報

名称 製図工

略称

規格・寸法

金額

⑧ 日当たり数量 1 人

総数量 5.00 人

金額 円

積上金額 円

(下位層の合計)

工事費区分 直接工事費

費目 労務費

取引先

データ内の同一ID資機材に同じ値を適用する

更新する

OK キャンセル

⑩ [工程管理] ボタンをクリックします。

⑪ [上書き保存] をクリックします。

インデックス連携 初期設定 ヘルプ

ホーム データ作成 工程表

新規データ作成(N)

⑪ 上書き保存(S)

データ複製(W)

データ削除(D)

個別データ(E)

原価工程管理データ読込(P)

エクセル出力(R)

CSVファイル出力(C)

工事マスタ編集(M)

起動パスワード設定(B)

アプリケーションの終了(X)

設計変更 削除 作業の複製 ツリーの複製 データ連携 データ取

履歴 編集 取込

保存時インデックス更新のメッセージが表示された場合は、[はい] をクリックしてください。

ID	名称	単位	数量
1	測量	人	20.00
2	製図工	人	10.00
3	製図工	人	5.00
4	直接工事費	m	80.00
5	直接工事費	式	1.00
6	直接工事費	機械掘削	m3 2,000.00

5

工程表の入力

工程表タブに切り替えて日程の変更、前後関係の設定、実績の入力、出来高・山積みグラフで分析、その後に設計変更をおこなう流れで工程表の入力方法を説明します。

5-1 作業日程の変更・工数計算

表を見やすく調整しながら作業日数を変更し、工数を再計算します。

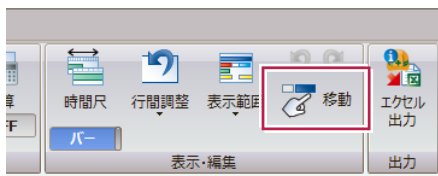
表示の調整

- 1 [工程表] タブをクリックします。

左側、工程表セルに登録した作業が表示され
チャートパネル上に工程バーが表示されます

- 2 工程表セルとチャートパネルの境目にマウスカーソルを合わせドラッグし、表示エリアを調整します。

バーが表示されていない場合は、表示する作業を選択し、[工程表] タブ - [移動] をクリックしてください。



階層	名称	単位	数量	日施工量(基準値)	工数計算
1	サンプル工事-20191105 150715		1.00	-	-
2	準備工	式	1.00	0.00	-
3	現地踏査・現地測量	m	200.00	40.00	×
4	普通作業員	人	20.00	4.00	-
4	測量士	人	10.00	2.00	-
4	製図工	人	5.00	1.00	-

行間の調整はデータ作成タブ同様、両矢印をドラッグしてください。

- 3 チャートパネルへ表示する時間尺を設定します。

[工程表] タブ - [時間尺] をクリックします。

- 4 「1 カ月・月日」を選択します。

- 5 [OK] をクリックします。

		表示範囲				
		1年	6ヵ月	3ヵ月	1ヵ月	2週
表示範囲	年					
	月					
	年					
	週					
	月					
	日					
	週					
	日					

OK キャンセル

■ 工程の編集

- ① 「準備工」の作業日数を5日から4日へ変更します。

ここでは「現地踏査・現地測量」を選択します。

工程は下層作業の積み上げで表示されるため、最下層の工程を編集します。

階層	名称	単位	数量	日施工量(基準値)	工計
1	サンプル工事-20191105 150715		1.00	-	
2	準備工	式	1.00	0.00	
3	現場踏査・現地測量	m	200.00	40.00	
4	普通作業員	人	20.00	4.00	
4	測量士	人	10.00	2.00	
4	製図工	人	5.00	1.00	

- ② 「現場踏査・現地測量」のバーの右端にマウスカーソルを合わせ、マウスの左ボタンをドラッグし、マウスカーソルに表示される予定日数を確認しながらバーの長さが4日になるように縮めます。

名称	単位	数量	日施工量(基準値)	工計
サンプル工事-20191105 150715		1.00	-	
準備工	式	1.00	0.00	
現場踏査・現地測量	m	200.00	40.00	
普通作業員	人	20.00	4.00	
測量士	人	10.00	2.00	
製図工	人	5.00	1.00	
舗路	m	80.00	20.00	
土工	式	1.00	0.00	
削工	m3	2,000.00	200.00	
普通作業員	人	30.00	0.00	
土木一般世話役	人	10.00	0.00	

- ③ 資機材を登録している場合、数量変更のメッセージが表示されます。

「はい」をクリックします。

資機材の日当たり数量が設定済みで、工程に合わせて数量を調整する場合は「はい」をクリックします。

工程を変更しました。
下記の資機材数量を工程に合わせて調整します。

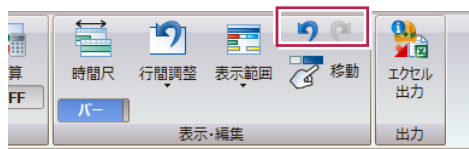
はい: 数量を調整する(※)
いいえ: 元の数量を変更しない

※数量変更の対象は、費目が「労務費」が「機械費」の資機材です。その他の資機材の数量は変わりません。また、日当たり数量が0の資機材は変わりません。

はい(Y) いいえ(N)

工程が4日になり、数量が変更されたことが確認できます。

工程表の編集はコマンドより元に戻す・やり直しが可能です。



名称	単位	数量	日施工量(基準値)	工計
サンプル工事-20191105 150715		1.00	-	
準備工	式	1.00	0.00	
現場踏査・現地測量	m	16.00	40.00	
普通作業員	人	16.00	4.00	
測量士	人	8.00	2.00	
製図工	人	4.00	1.00	
舗路	m	80.00	20.00	
土工	式	1.00	0.00	
削工	m3	2,000.00	200.00	

■ 作業日数の一括変更

① [工程表] タブー [計画] グループー [資機材] の下のボタンをクリックし「OFF」に切り替えます。

② 工数計算するには対象作業の工数計算セルにマルを付けます。

[工数計算] の項目名をクリックします。

[工数計算] の項目名をクリックすると一括で切り替わります。

工数計算セルが表示されていない場合は、工程表セル下のスクロールバーをドラッグし右に移動してください。

階層	名称	数量	日施工量(基準価)	工数計算	日施工
1	サンプル工事-20191105 150715	1.00	-	-	
2	☐準備工	1.00	0.00	-	
3	現地踏査・現地測量	200.00	40.00	×	
2	仮設道路	80.00	20.00	×	
2	☐道路土工	1.00	0.00	-	
3	掘削工	2,000.00	200.00	×	
3	路体盛土	2,000.00	200.00	×	
3	路床盛土	2,000.00	200.00	×	
2	☐排水工	1.00	0.00	-	
3	自由勾配側溝	400.00	20.00	×	
3	プレキャストボックス工	10.00	2.00	×	
2	☐舗装工	1.00	0.00	-	
3	☐アスファルト舗装工	1.00	0.00	-	
4	下層路盤工	2,000.00	200.00	×	
4	上層路盤工 粒度調整路	2,000.00	200.00	×	

【サンプル工事-20191105 150715】 予定工程を編集します。

③ ここでは「準備工」は計算対象から省きます。

「現地踏査・現地測量」の工数計算セルをクリックします。

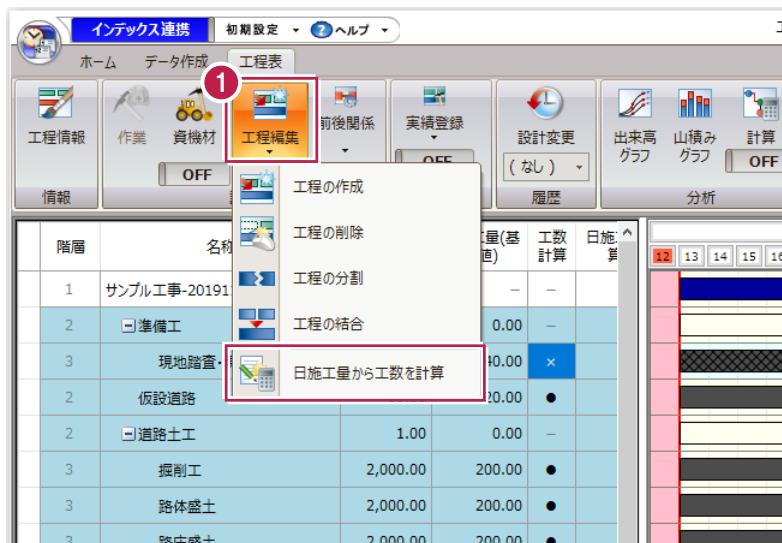
階層	名称	数量	日施工量(基準価)	工数計算	日施工
1	サンプル工事-20191105 150715	1.00	-	-	
2	☐準備工	1.00	0.00	-	
3	現地踏査・現地測量	200.00	40.00	●	
2	仮設道路	80.00	20.00	●	
2	☐道路土工	1.00	0.00	-	
3	掘削工	2,000.00	200.00	●	
3	路体盛土	2,000.00	200.00	●	
3	路床盛土	2,000.00	200.00	●	
2	☐排水工	1.00	0.00	-	
3	自由勾配側溝	400.00	20.00	●	
3	プレキャストボックス工	10.00	2.00	●	
2	☐舗装工	1.00	0.00	-	
3	☐アスファルト舗装工	1.00	0.00	-	
4	下層路盤工	2,000.00	200.00	●	
4	上層路盤工 粒度調整路	2,000.00	200.00	●	

×に切り替わります。

階層	名称	数量	日施工量(基準価)	工数計算	日施工
1	サンプル工事-20191105 150715	1.00	-	-	
2	☐準備工	1.00	0.00	-	
3	現地踏査・現地測量	200.00	40.00	×	
2	仮設道路	80.00	20.00	●	
2	☐道路土工	1.00	0.00	-	
3	掘削工	2,000.00	200.00	●	

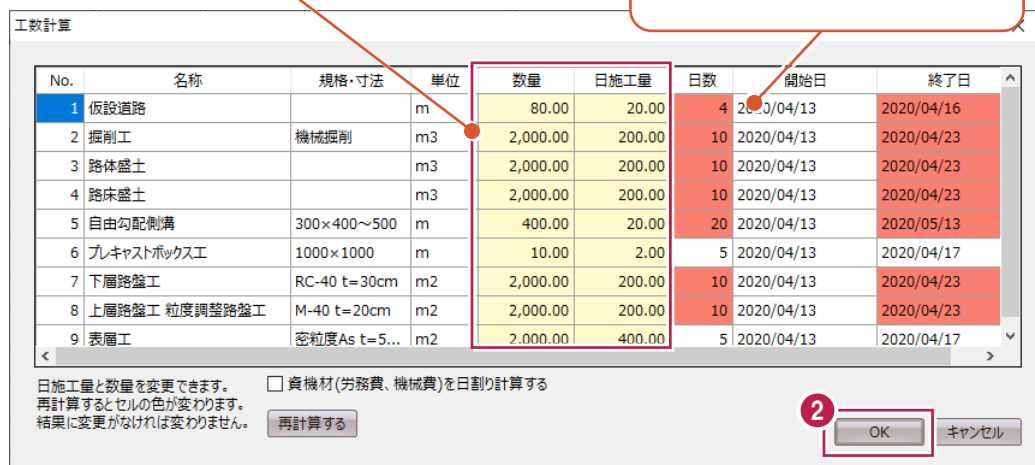
■ 工数の再計算

- 1 [工程表] タブ - [計画] グループ - [工程編集] - [日施工量から工数を計算] をクリックします。



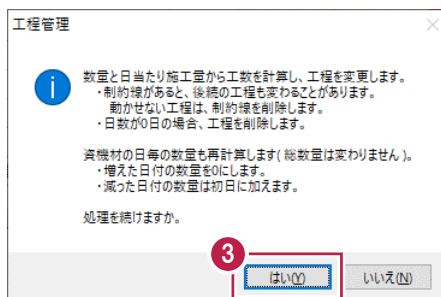
数量・日施工量を変更することも可能です。変更した場合は [再計算する] をクリックしてください。

差異がある場合はオレンジ色で表示されます。



- 2 変更内容を確認後 [OK] をクリックします。

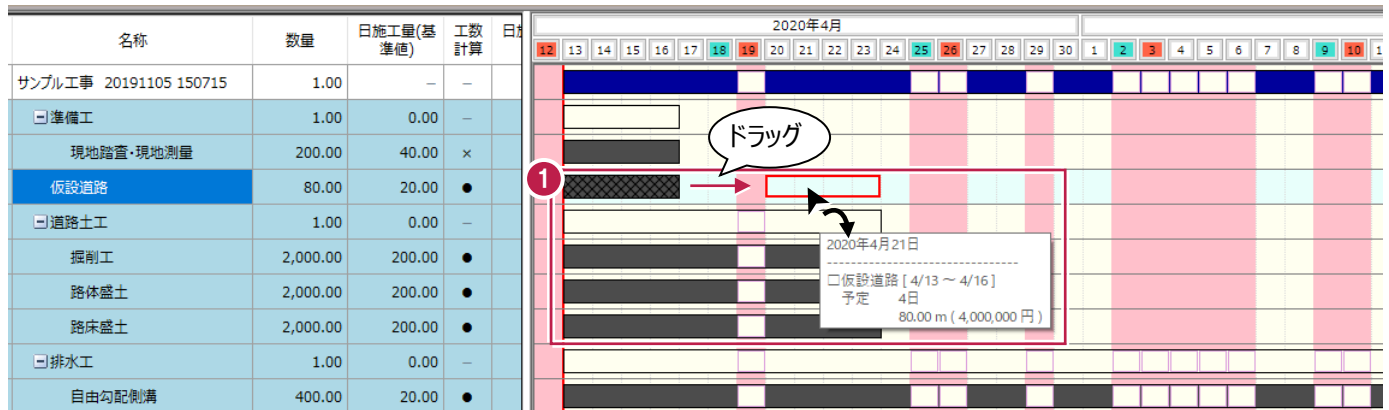
- 3 [はい] をクリックします。



■ 作業日程の移動

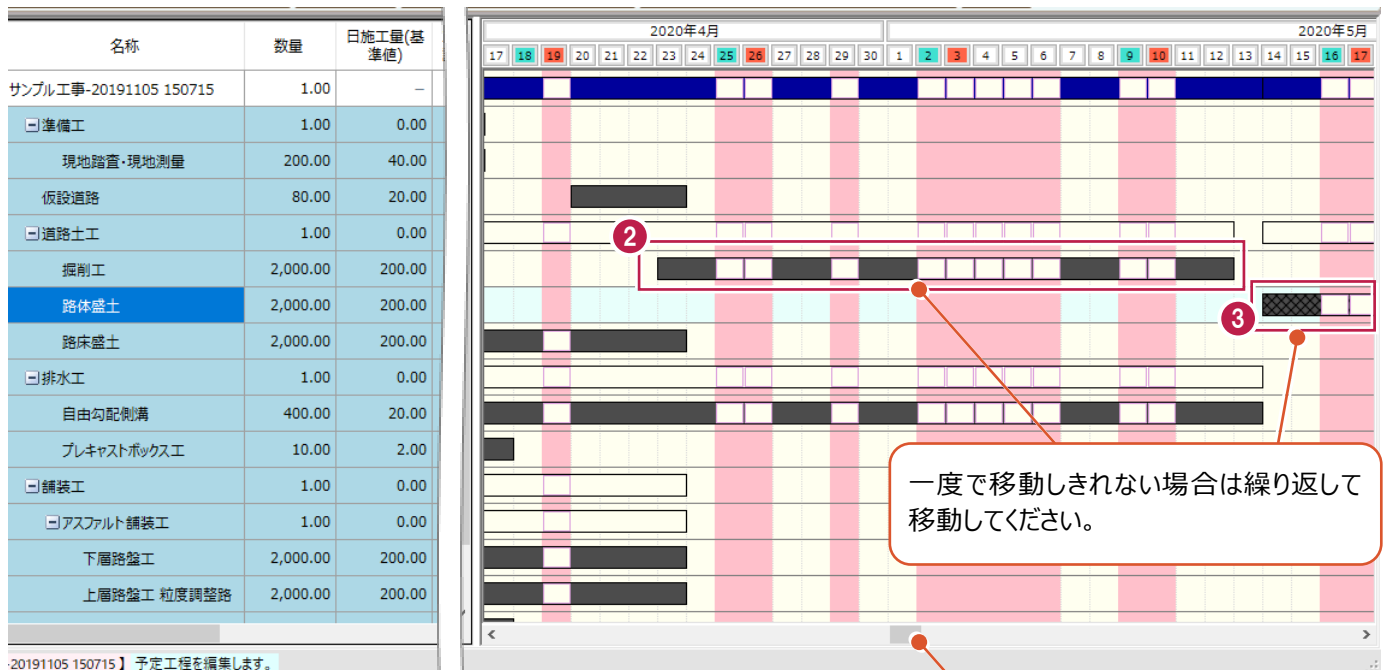
- 1 「仮設道路」のバーの中央付近にマウスカーソルを合わせドラッグでバーを移動します。

今回は 4 月 20 日からになるように移動します。



- 2 同様の手順で「道路土工」の「掘削工」を 4 月 23 日からに移動します。

- 3 「路体盛土」を 5 月 14 日からに移動します。



工程バーが途中までしか表示されていない場合は、チャートパネル下のスクロールバーをドラッグして確認してください。

5-2 前後関係の設定・工程の分割

編集した工程の前後関係を設定する手順を説明します。

■ 前後関係の設定①

「現地踏査・現地測量」と「仮設道路」の前後関係を設定します。

- ① [工程表] タブをクリックします。
- ② [計画] グループ [前後関係] をクリックします。

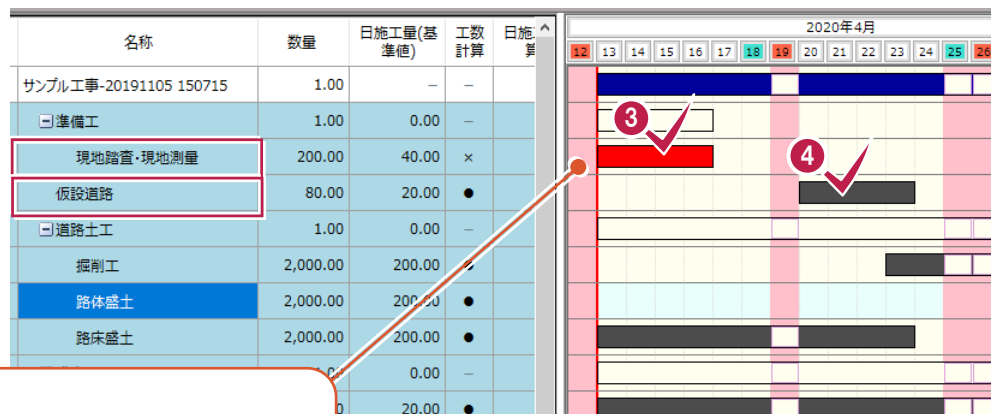


[前後関係の編集] ダイアログが表示されます。

メッセージバーに作業の指示が表示されます。

- ③ 先行する工程を指定します。
ここでは「現地踏査・現地測量」のバーをクリックします。

- ④ 後続する工程の「仮設道路」のバーをクリックします。



赤く表示されます。
先行工程を変更する場合には、キーボードの escキーを押し、バーをクリックし直してください



前後関係を解除する場合は、
「前後関係の編集」ダイアログの
「解除」を選択し、解除するカギ
線をクリックしてください。

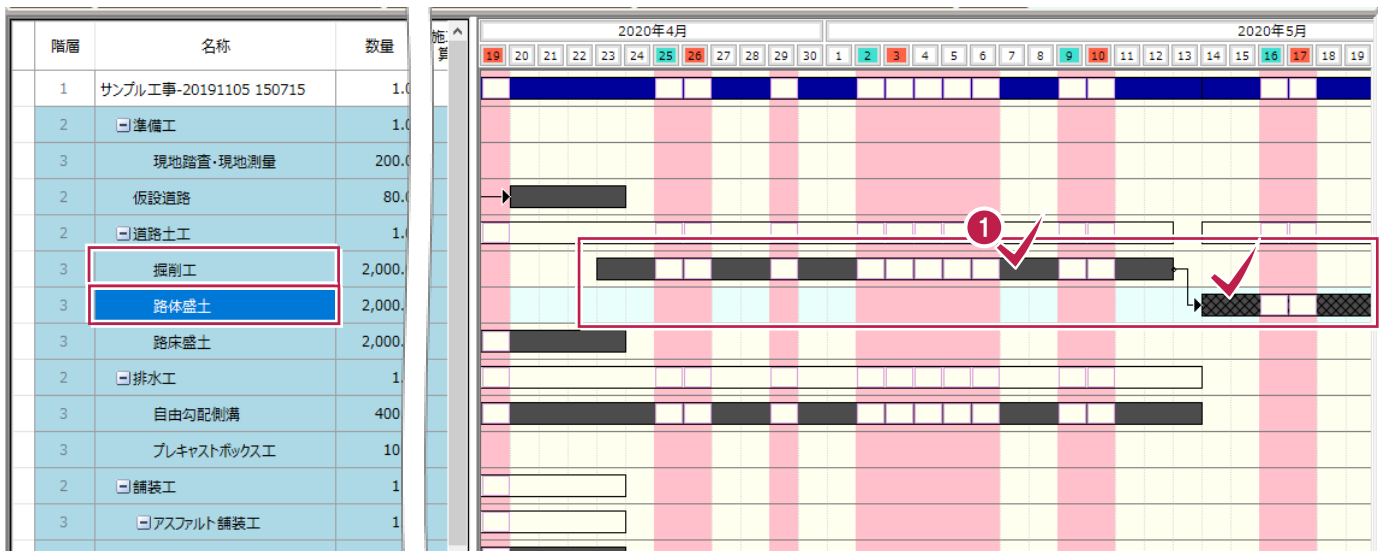


前後関係が設定され、カギ線が
表示されます。

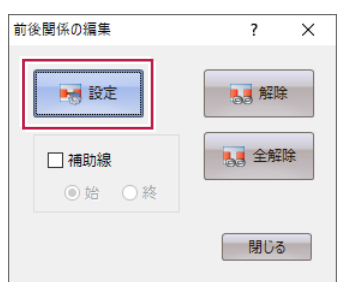
■ 前後関係の設定②

「掘削工」と「路体盛土」の前後関係を設定します。

- 1 「掘削工」「路体盛土」の順にバーをクリック
します。



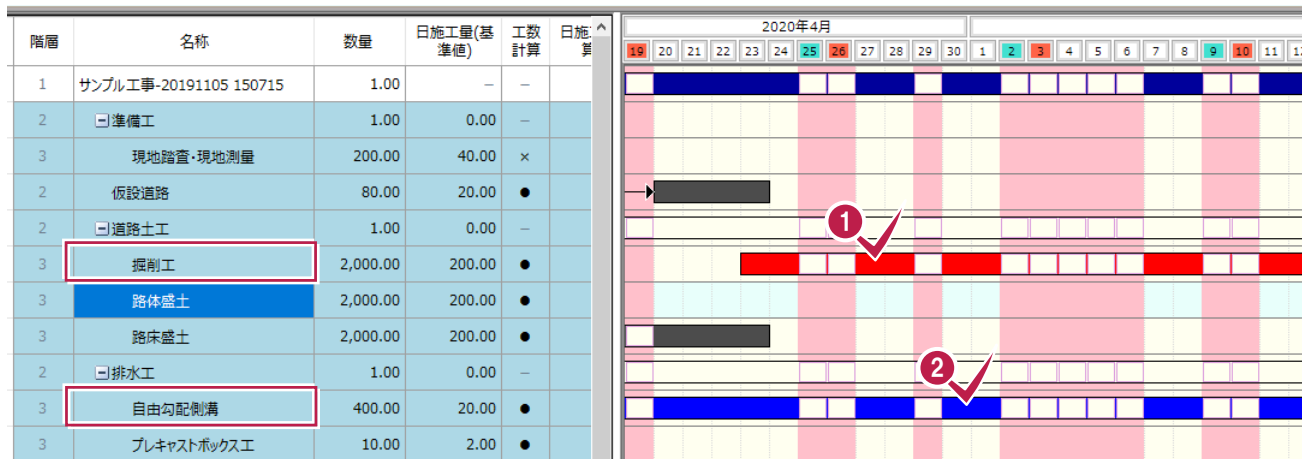
前後関係を設定するときは、
「設定」が選択されていることを
確認してください。



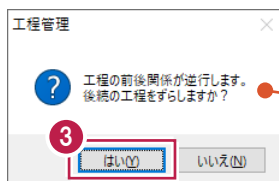
■ 前後関係の設定③

「掘削工」と「自由勾配側溝」の前後関係を設定します。

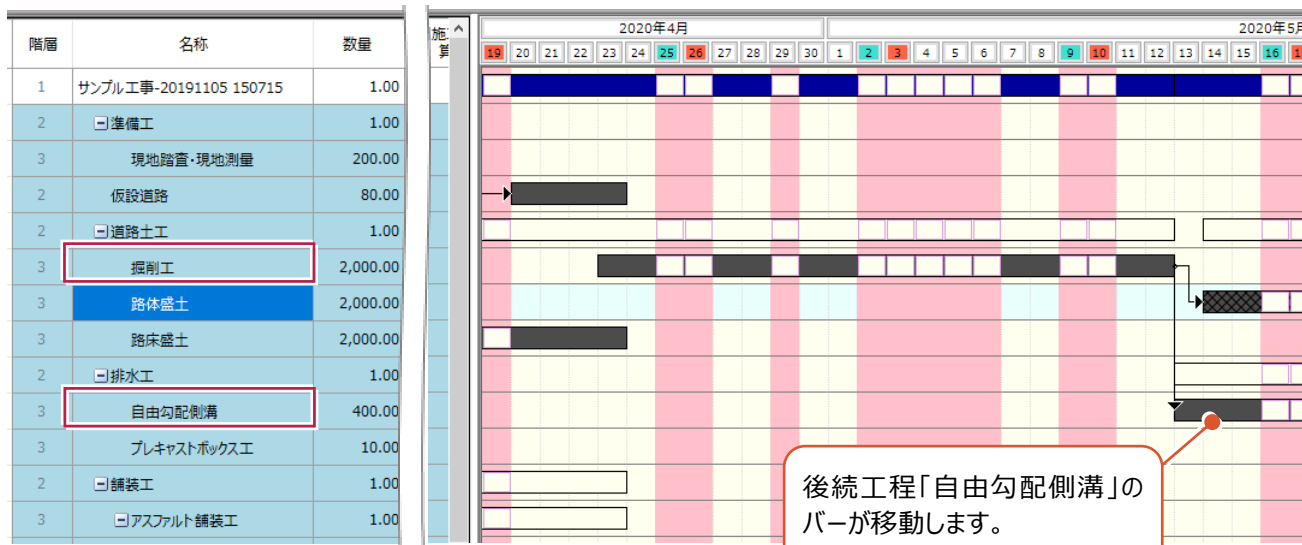
- ① 先行する工程「掘削工」のバーをクリックします。
- ② 後続する工程「自由勾配側溝」のバーをクリックします。



- ③ [はい] をクリックします。



前後の工程が重なる場合や、逆行する場合にはメッセージが表示されます。

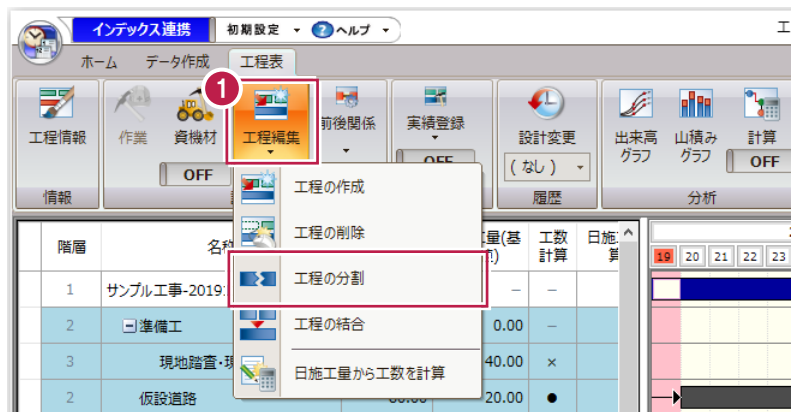


- ④ [閉じる] をクリックします。



■ 工程の分割

- 1 [工程表] タブ - [計画] グループ - [工程編集] - [工程の分割] をクリックします。



- 2 分割位置になる「仮設道路」の3日目、4月22日をクリックします。

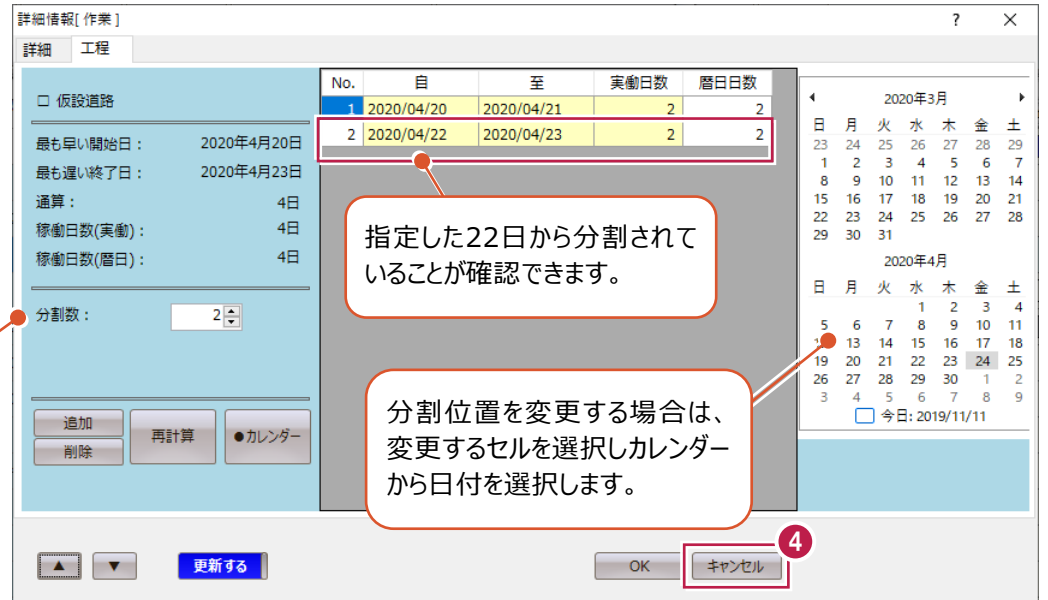
The screenshot shows the software interface with the '工程の分割' (Divide Work) button highlighted in yellow. A callout box contains the text: 'コマンド名が [工程分割] と表示されたことを確認します。' (Confirm that the command name is [Divide Work]). The main window displays a Gantt chart for April 2020. The '仮設道路' (Temporary Road) bar is highlighted, and a red circle with a '2' and a checkmark points to the date 2020年4月22日 (April 22, 2020) on the bar. A tooltip for this date shows: '仮設道路 [4/20 ~ 4/23] 予定 4日 80.00 m (4,000,000 円)' (Temporary Road [4/20 ~ 4/23] Estimated 4 days 80.00 m (4,000,000 yen)).

階層	名称	数量	日施工量(基準値)	工数計算	日施工量
1	サンプル工事-20191105 150715	1.00	-	-	
2	準備工	1.00	0.00	-	
3	現地踏査・現地測量	200.00	40.00	×	
2	仮設道路	80.00	20.00	●	
2	道路土工	1.00	0.00	-	
3	掘削工	2,000.00	200.00	●	
3	路体盛土	2,000.00	200.00	●	
3	路床盛土	2,000.00	200.00	●	
2	排水工	1.00	0.00	-	
3	自由勾配側溝	400.00	20.00	●	
3	プレキャストボックス工	10.00	2.00	●	

- 3 「仮設道路」が分割されたことを確認します。
「仮設道路」のバーをダブルクリックします。

The screenshot shows the software interface with the '仮設道路' (Temporary Road) bar in the Gantt chart double-clicked. A red circle with a '3' and a checkmark points to the bar. The bar is now divided into two segments, indicating the successful execution of the 'Divide Work' command.

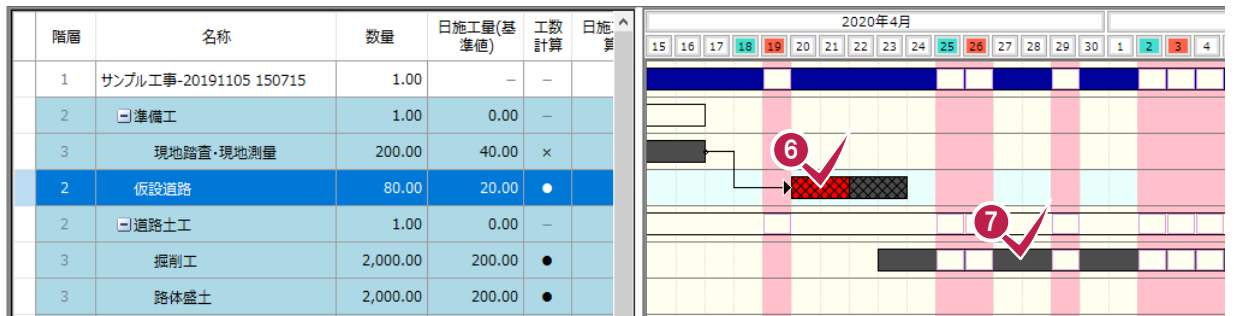
階層	数量	日施工量(基準値)	工数計算	日施工量
1.00	-	-		
1.00	0.00	-		
200.00	40.00	×		
80.00	20.00	●		
1.00	0.00	-		
000.00	200.00	●		
000.00	200.00	●		
000.00	200.00	●		



4 確認後 [キャンセル] をクリックします。

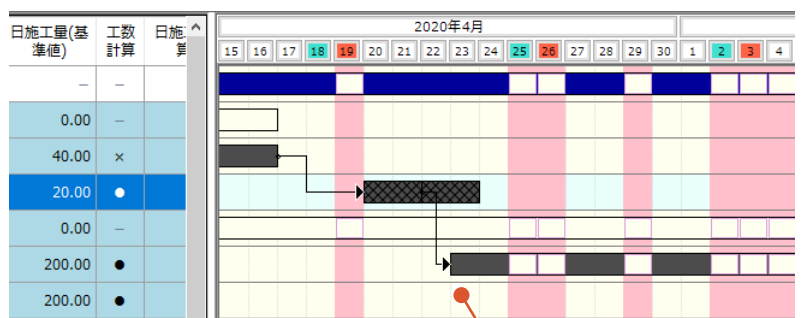
5 前後関係を設定します。

[計画] グループ [前後関係] をクリックします。



6 先行する工程「仮設道路」の前半をクリックします。

7 後続する工程「掘削工」をクリックします。



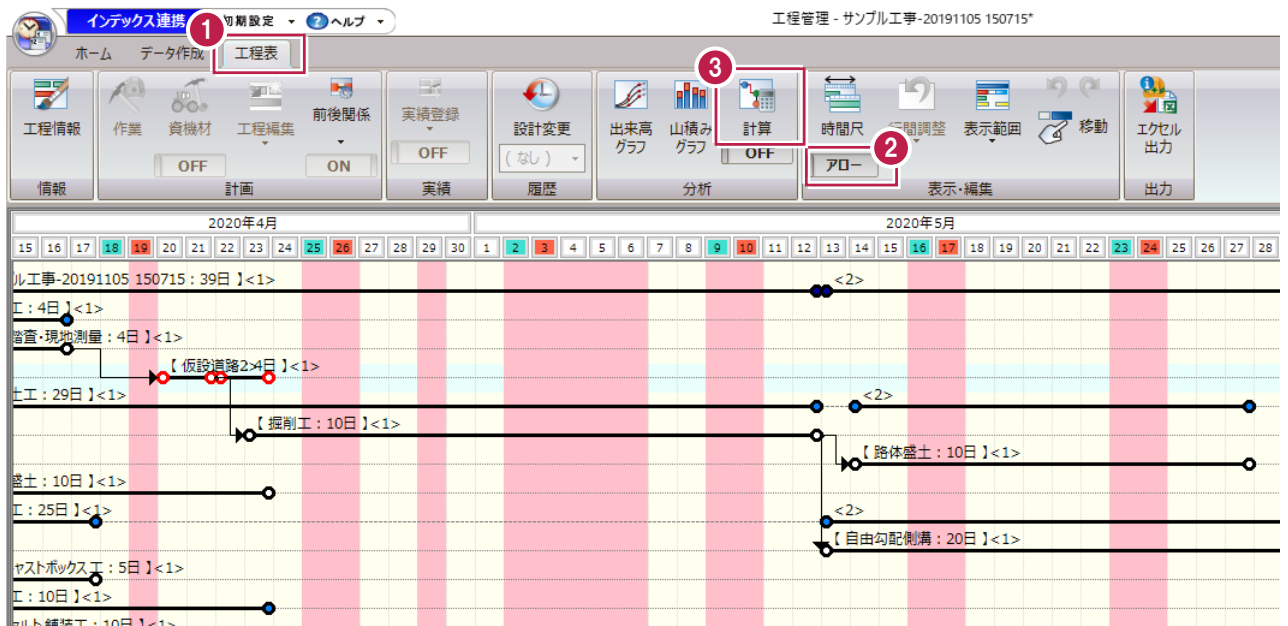
8 [閉じる] をクリックします。



5-3 クリティカルパスの計算

前後関係が設定されている工程のクリティカルパス計算をおこない全体の流れを確認します。

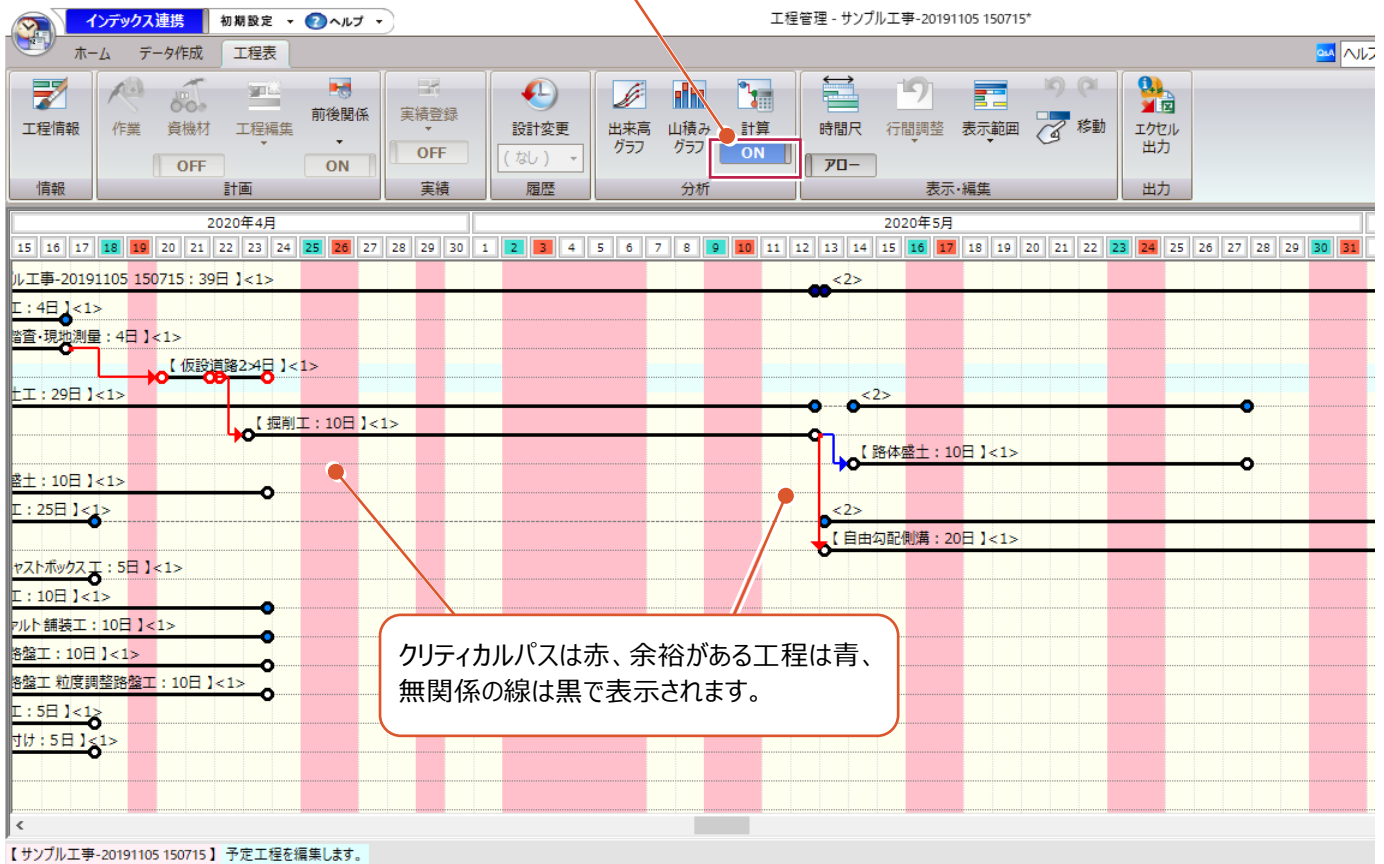
- 1 [工程表] タブをクリックします。
- 2 [表示・編集] グループー [時間尺] の下のボタンをクリックし「アローチャート」に切り替えます。
- 3 [分析] グループー [計算] をクリックします。



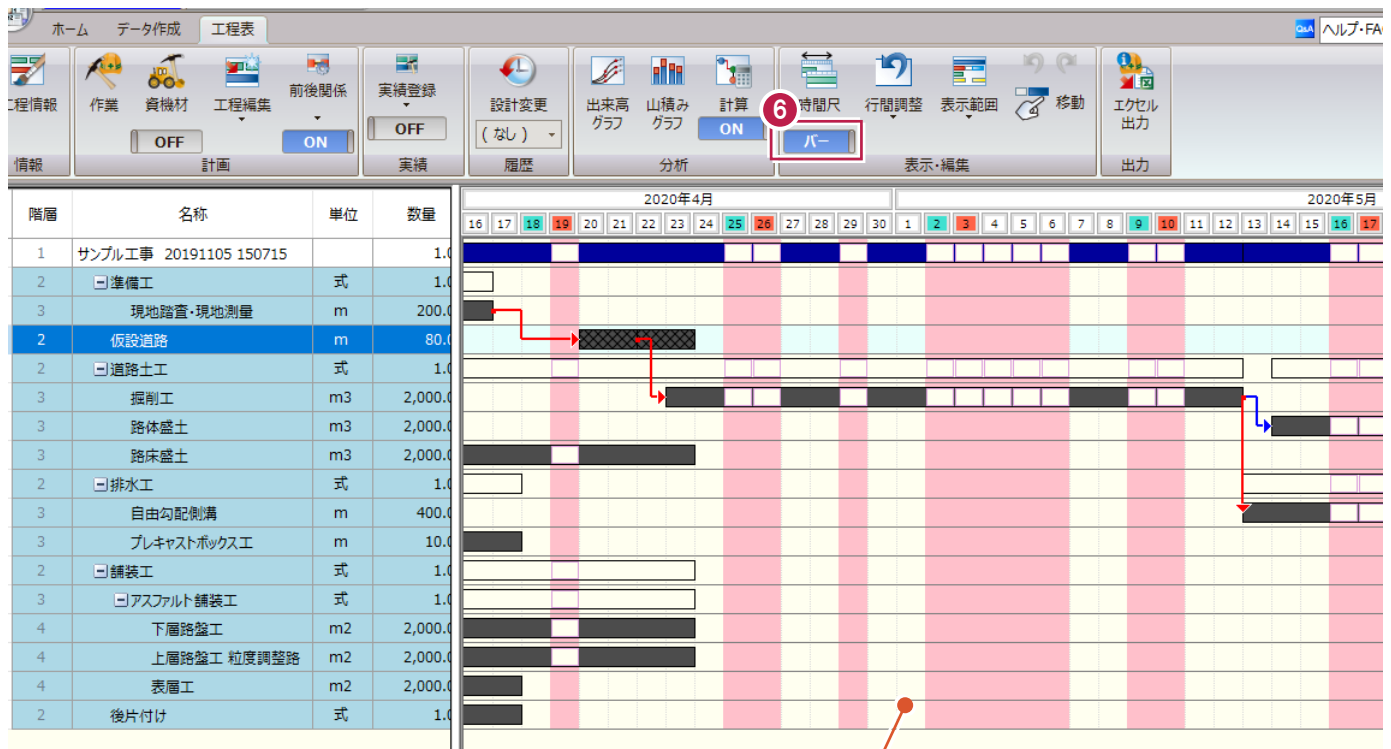
- 4 [全体で計算する] を選択します。
- 5 計算方法を確認後 [計算] をクリックします。

先頭と末尾の作業を指定する場合は「計算対象を指定する」を選択してください。

クリティカルパスは計算コマンドの下の [ON] [OFF] をクリックし、表示状態を切り替えることができます。



⑥ [時間尺] の下のボタンをクリックし「バー」に切り替えます。



《参照》 6章 帳票出力

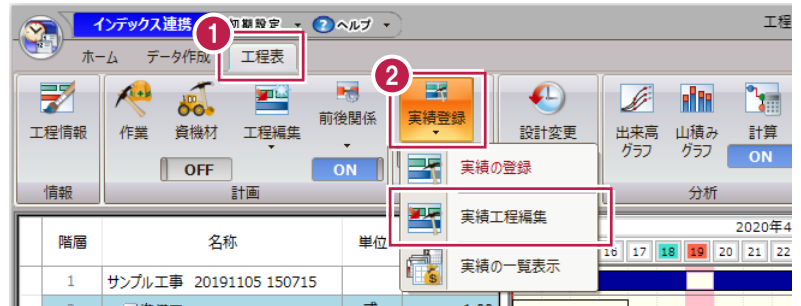
工程の編集後、計画工程表を出力する場合は、6章 [帳票出力] をご確認ください。

5-4 実績の入力

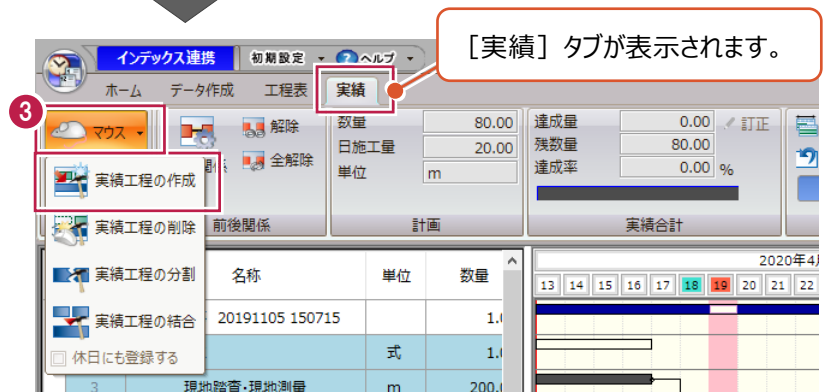
マウスで入力する方法と、日付・期間を指定して入力する方法をそれぞれ説明します。

実績のマウス入力

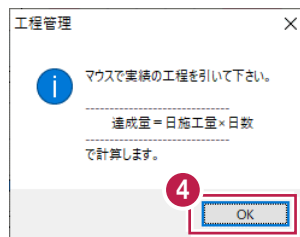
- 1 [工程表] タブをクリックします。
- 2 [実績登録] - [実績工程編集] をクリックします。



- 3 [実績登録] グループ - [マウス] - [実績工程の作成] をクリックします。



- 4 [OK] をクリックします。



- 5 [現地踏査・現地測量] の稼働日を入力します。チャートパネル上の4月13日から4月16日までドラッグします。

コマンド名が [マウス] から [作成] に変わります。

ドラッグ

マウスカーソルに表示される日になちを確認してください。

- ⑥ [実績] タブの計画・実績合計を確認します。
実際の達成量と計画の数量が異なっていることがわかります。
- ⑦ [実績合計] グループー [訂正] をクリックします。

入力を間違えた場合は「元に戻す」をクリックし、入力し直してください。

- ⑧ [達成数量] に「200」mと入力します。
- ⑨ [OK] をクリックします。

■ 達成量の入力

① [掘削工] を選択します。

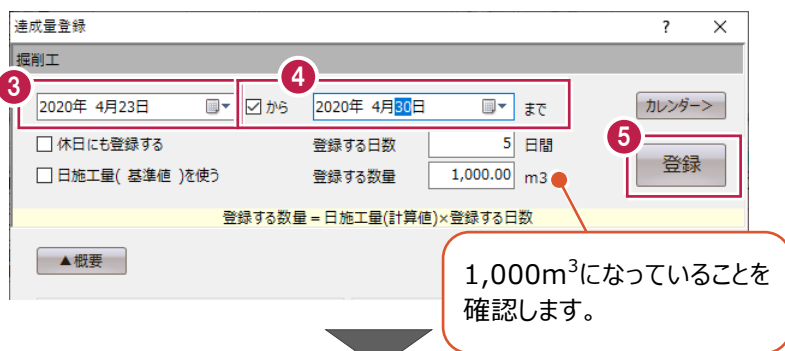
② [実績] タブー [実績登録] グループー [達成量] をクリックします。



③ 三角ボタンをクリックし、カレンダーから作業開始日を4月23日に指定します。

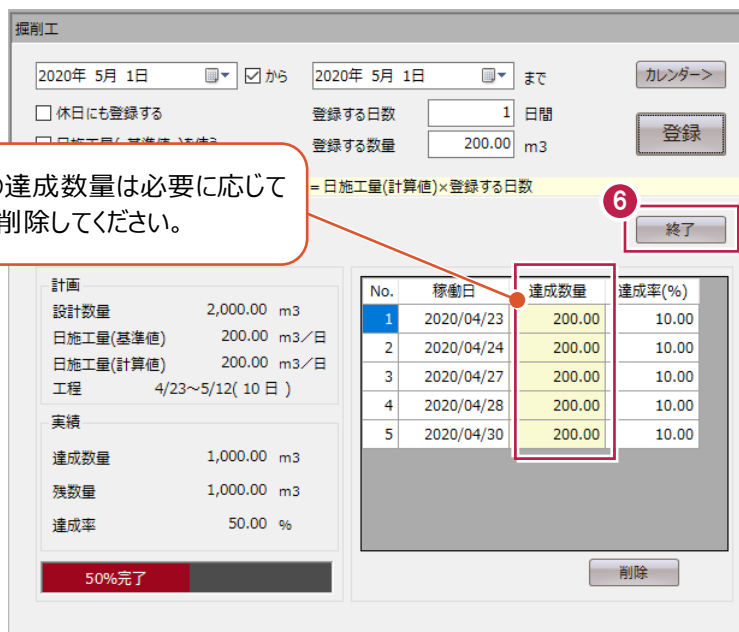
④ 「から」をオンにして、作業終了日は4月30日を指定します。

⑤ [登録] をクリックします。

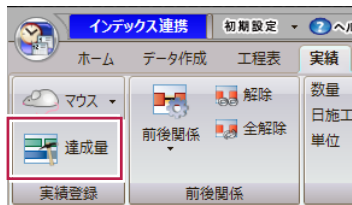


⑥ 確認後 [終了] をクリックします。

日毎の達成数量は必要に応じて訂正・削除してください。



入力した実績を訂正する場合は、再度 [達成量] をクリックしてください。



⑦ [終わる] グループー [実績編集を終わる] をクリックします。



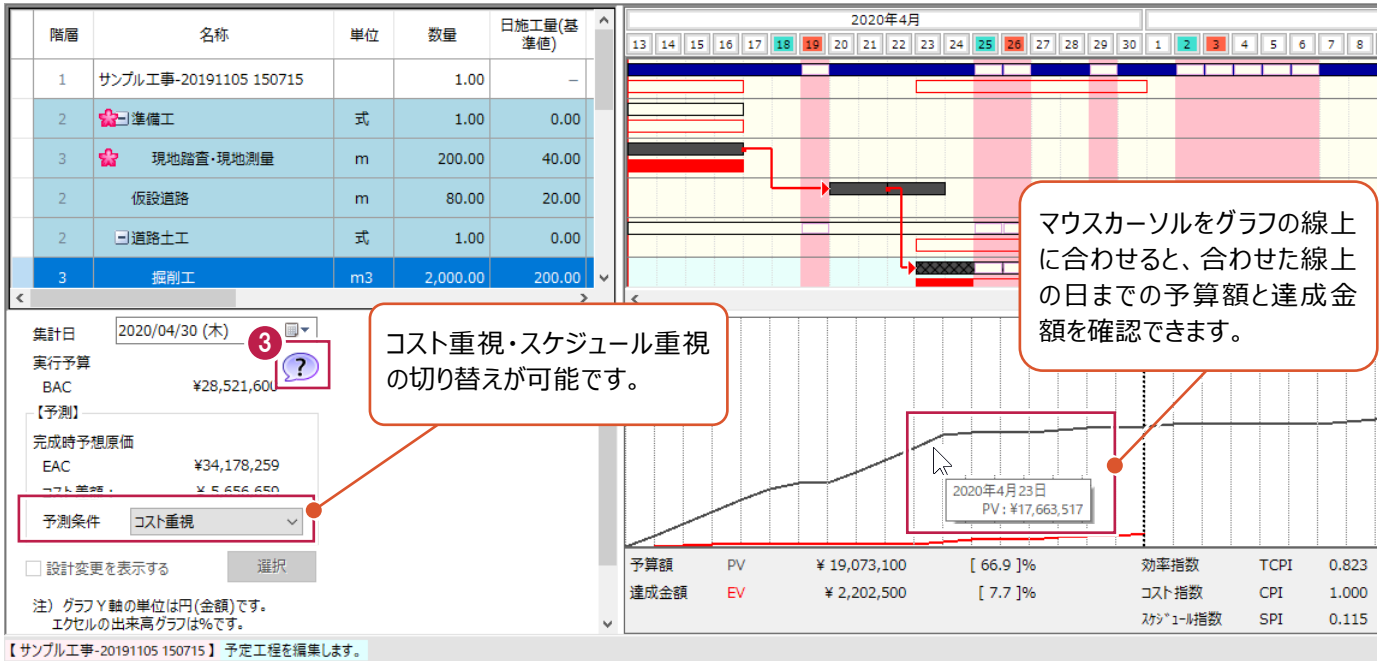
5-5 出来高グラフ・山積みグラフの確認

出来高グラフで計画と実績の対比を確認し、山積みグラフで日ごとの資機材を調整します。

出来形グラフの確認

① [工程表] タブをクリックします。

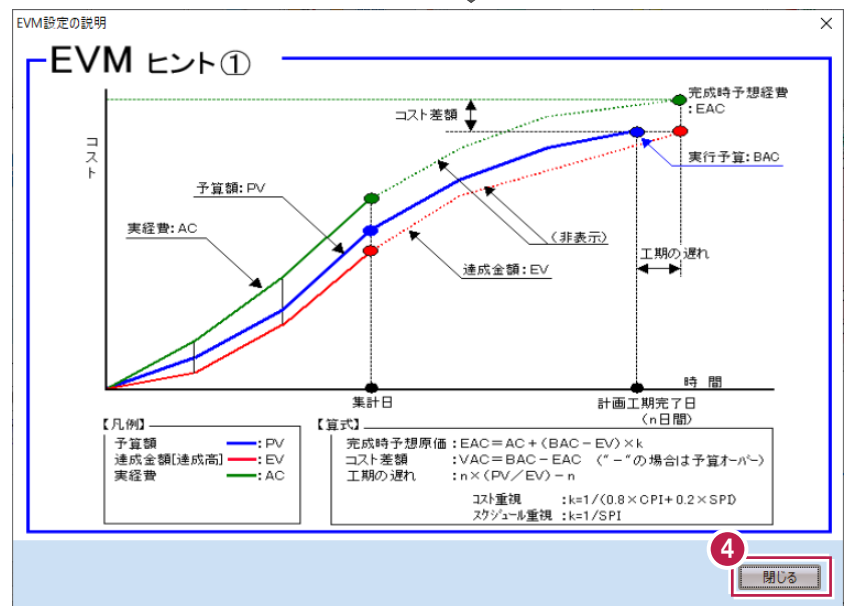
② [出来高グラフ] をクリックします。



③ [?] マークをクリックします。

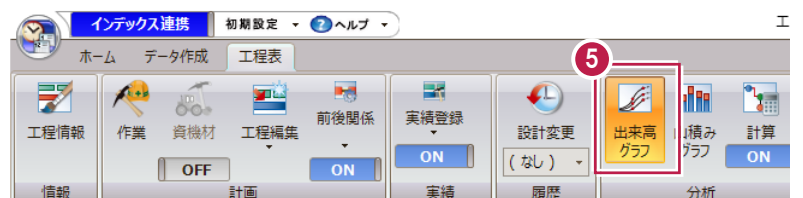
EVM 設定の説明が表示されます。

④ 確認後 [閉じる] をクリックします。



⑤ 再度 [出来形グラフ] をクリックします。

出来形グラフが非表示になります。



■ 山積みグラフの確認

- 1 [工程表] タブー [山積みグラフ] をクリックします。



- 2 [山積みグラフ設定] をクリックします。

階層	名称	単位	数量	日施工量(基準値)
1	サンプル工事-20191105 150715		1.00	-
2	準備工	式	1.00	0.00
3	現地踏査・現地測量	m	200.00	40.00
2	仮設道路	m	80.00	20.00
2	道路土工	式	1.00	0.00
3	掘削工	m3	2,000.00	200.00

マウスマウスカーソルをグラフ上に合わせると、合わせた箇所の資機材が表示されます。

2020年4月17日
【予定】運転手(一般) 11.00人
下層路盤工(4.00)
上層路盤工 粒度調整路盤工(3.00)
表層工(4.00)

- 3 ここでは確認のみとし [キャンセル] をクリックします。

表示する資機材一覧	資機材名称	規格・寸法	表示色
<input checked="" type="checkbox"/>	普通作業員		色指定
<input checked="" type="checkbox"/>	測量士		色指定
<input checked="" type="checkbox"/>	製図工		色指定
<input checked="" type="checkbox"/>	土木一般世話役		色指定
<input checked="" type="checkbox"/>	交通誘導員		色指定
<input checked="" type="checkbox"/>	運転手(特殊)		色指定
<input checked="" type="checkbox"/>	ポンプトラック(込)	10t	色指定
<input checked="" type="checkbox"/>	バックホウ	0.5m3	色指定
<input type="checkbox"/>	圧油		色指定
<input checked="" type="checkbox"/>	フルトザ	21t(排ガス対策型)	色指定
<input type="checkbox"/>	着入土		色指定
<input checked="" type="checkbox"/>	トラック(クレーン装置付)	4t(2.9t吊)	色指定
<input checked="" type="checkbox"/>	バックホウ	0.45m3	色指定

オンの資機材がグラフに表示されます。

両矢印ドラッグでサイズの調整が可能です。

■ 資機材の移動

- ① 4月13日の「現地踏査・現地測量」の「普通作業員」をクリックして選択します。

階層	名称	単位	数量	日施工量(基準値)
1	サンプル工事-20191105 150715		1.00	-
2	🌸 準備工	式	1.00	0.00
3	🌸 現地踏査・現地測量	m	200.00	40.00
2	仮設道路	m	80.00	20.00
2	📦 道路土工	式	1.00	0.00
3	振削工	m3	2,000.00	200.00

2020年4月

13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 1

70
35

①

資機材(労務費)を表示する

資機材(機械費)を表示する

山積みグラフ設定 集計

グラフの最大値を自動にする

グラフ最大値(1~100)

表示方法 予定数量

【サンプル工事-20191105 150715】 予定工程を編集します。

- ② 「現地踏査・現地測量」を選択します。

- ③ [OK] をクリックします。

作業の特定

[普通作業員] の
4月13日(1単位)分を
他の日に移動しようとしていますが
複数の「作業」に属しています。

移動する「資機材」が属する「作業」を
特定して下さい。

② 現地踏査・現地測量

準備工
* 現地踏査・現地測量

200.00 m (4.00 人)
4月13日~4月16日

③ OK キャンセル

選択した資機材が複数の作業に属している場合は、
「作業の特定」ダイアログが表示されます。

- ④ 移動先の4月14日の「普通作業員」をクリックします。

70
35

④

資機材(労務費)を表示する

資機材(機械費)を表示する

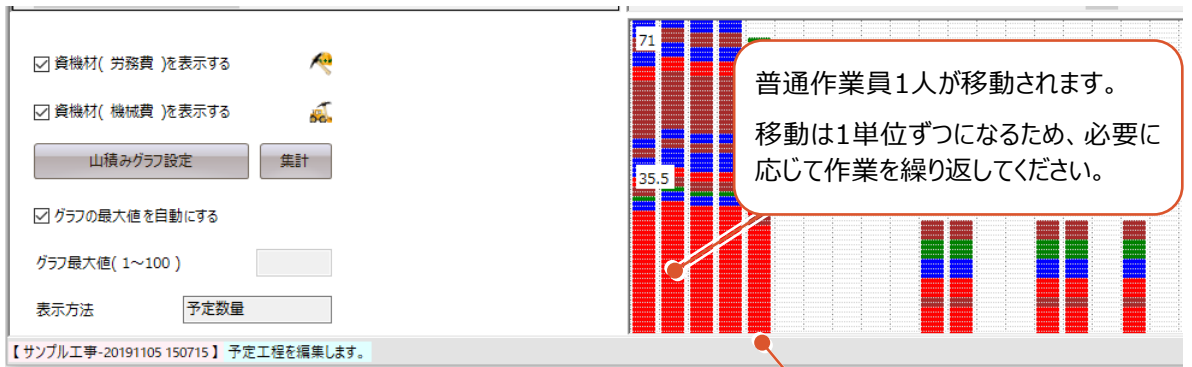
山積みグラフ設定 集計

グラフの最大値を自動にする

グラフ最大値(1~100)

表示方法 予定数量

【サンプル工事-20191105 150715】 予定工程を編集します。



山積みグラフのデータは「実施工程表」への出力が可能です。



- 5 再度「山積みグラフ」をクリックします。
山積みグラフが非表示になります



5-6 設計変更

当初の施工数量に変更が生じた場合の操作方法を説明します。

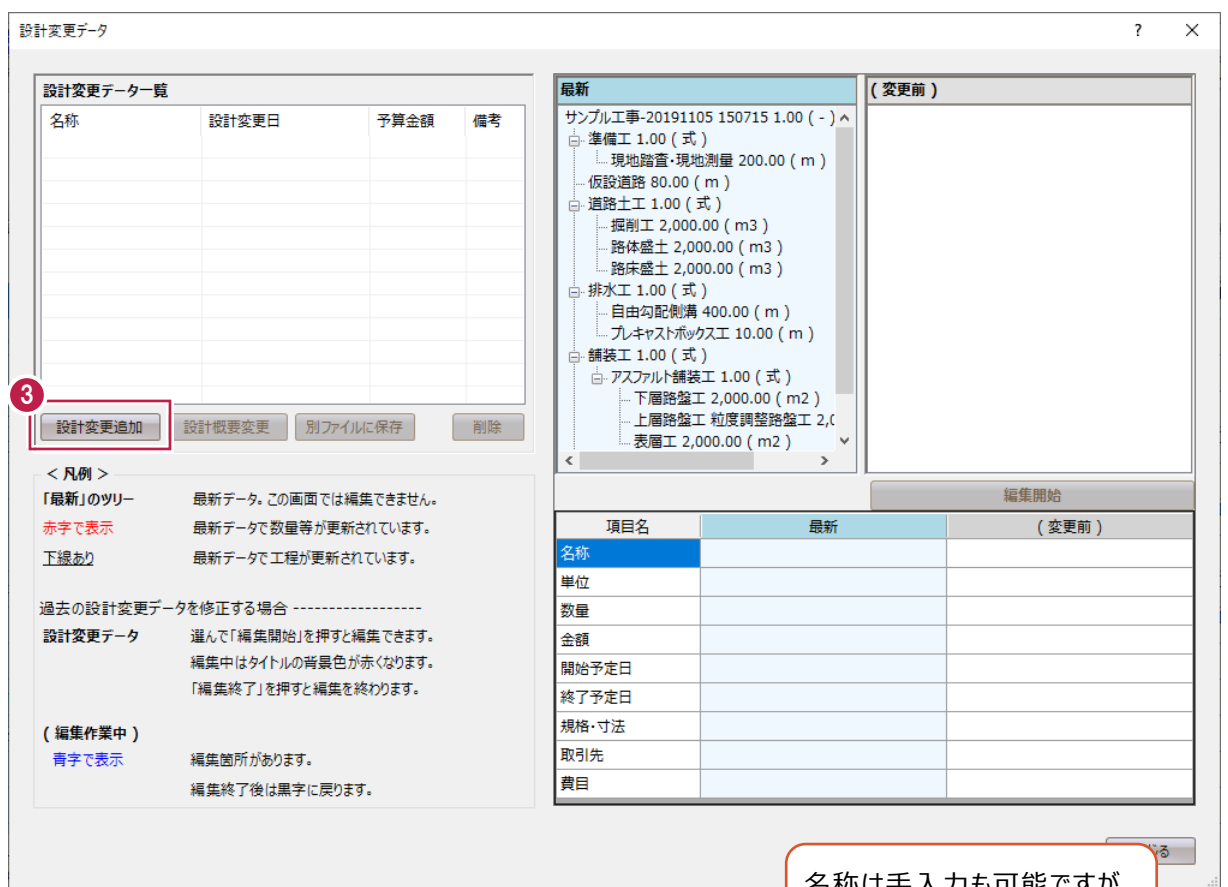
データの登録

① [工程表] タブをクリックします。

② [設計変更] をクリックします。



③ [設計変更追加] をクリックします。

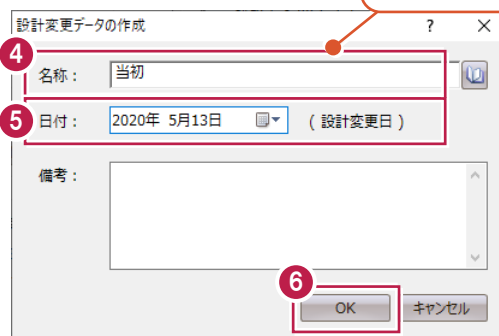


名称は手入力も可能ですが、ここでは「当初」と表示されていることを確認します。

④ 名称は「当初」と表示されていることを確認します。

⑤ 日付は「5月13日」を指定します。

⑥ [OK] をクリックします。



⑦ [閉じる] をクリックします。

設計変更データ

設計変更データ一覧

名称	設計変更日	予算金額	備考
当初	2020年5月13日	28,521,600	

最新

- サンプル工事-20191105 150715 1.00 (-)
 - 準備工 1.00 (式)
 - 現地踏査・現地測量 200.00 (m)
 - 仮設道路 80.00 (m)
 - 道路土工 1.00 (式)
 - 掘削工 2,000.00 (m3)
 - 路体盛土 2,000.00 (m3)
 - 路床盛土 2,000.00 (m3)
 - 排水工 1.00 (式)
 - 自由勾配側溝 400.00 (m)
 - プラスチックボックス工 10.00 (m)
 - 舗装工 1.00 (式)
 - アスファルト舗装工 1.00 (式)
 - 下層路盤工 2,000.00 (m2)
 - 上層路盤工 粒度調整路盤工 2,000.00 (m2)
 - 表層工 2,000.00 (m2)

(変更前)

編集開始

項目名	最新	(変更前)
名称		
単位		
数量		
金額		
開始予定日		
終了予定日		
規格・寸法		
取引先		
費目		

< 凡例 >

「最新」のツリー
最新データ。この画面では編集できません。
赤字で表示
最新データで数量等が更新されています。
下線あり
最新データで工程が更新されています。

過去の設計変更データを修正する場合 -----
設計変更データ
選んで「編集開始」を押すと編集できます。
編集中はタイトルの背景色が赤くなります。
「編集終了」を押すと編集を終わります。

(編集作業中)
青字で表示
編集箇所があります。
編集終了後は黒字に戻ります。

設計変更追加 設計概要変更 別ファイルに保存 削除

⑦ 閉じる

データが登録されました。
再度、設計の変更があった場合は
同様の手順で登録してください。

■ 設計数量の変更

① [工程表] タブー [履歴] グループの [設計変更] の下の三角ボタンをクリックして [当初] を選択します。

インテック連携 初期設定 ヘルプ

ホーム データ作成 工程表

工程情報 作業 資機材 工程編集 前後関係 実績登録 設計変更 出来高グラフ 山積みグラフ 計算

OFF ON ON (なし) ON ON

① 当初

階層	名称	単位	数量	準備(%)
1	サンプル工事-20191105 150715		1.00	-
2	☆ 準備工	式	1.00	0.00
3	☆ 現地踏査・現地測量	m	200.00	40.00
2	仮設道路	m	80.00	20.00
2	道路土工	式	1.00	0.00
3	掘削工	m3	2,000.00	200.00
3	路体盛土	m3	2,000.00	200.00
3	路床盛土	m3	2,000.00	200.00
2	排水工	式	1.00	0.00

② [表示・編集] グループー [表示範囲]

ー [比較画面] をクリックします。

画面が 2 分割されます。



③ [掘削工] の数量セルに「2400」と入力します。

掘削工が表示されていない場合はスクロールバーで調整してください。

The screenshot shows the software interface with the '掘削工' (Excavation) quantity cell highlighted and edited to 2,400.00. The interface includes a toolbar with icons for '工程情報' (Process Information), '作業' (Work), '資機材' (Equipment), '工程編集' (Process Editing), '前後関係' (Pre/Post Relationship), '実績登録' (Actual Registration), '設計変更' (Design Change), '出来高グラフ' (Output Graph), '山積みグラフ' (Stacking Graph), '計算' (Calculation), '時間尺' (Time Scale), '行間調整' (Row Adjustment), '表示範囲' (Display Range), '移動' (Move), and 'エクスセル出力' (Excel Output). The main area displays a Gantt chart for the month of April 2020.

階層	名称	単位	数量	日割
1	サンプル工事-20191105 150715		1.00	
2	準備工	式	1.00	
3	現地踏査・現地測量	m	200.00	
2	仮設道路	m	80.00	
2	道路土工	式	1.00	
3	掘削工	m3	2,400.00	

階層	名称	単位	数量	日割
1	【複写】サンプル工事-20191105 150715		1.00	
2	準備工	式	1.00	
3	現地踏査・現地測量	m	200.00	
2	仮設道路	m	80.00	
2	道路土工	式	1.00	
3	掘削工	m3	2,000.00	

下画面（当初のデータ）を参考にして、上画面で数量を変更します。

下には複写されたデータが表示されます。

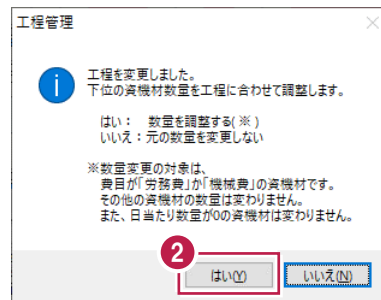
作業日数の変更

2020年4月 2020年5月

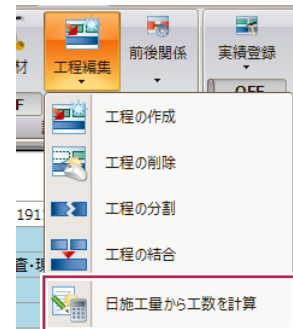
階層	名称	単位	数量
2	仮設道路	m	80.00
2	□道路土工	式	1.00
3	掘削工	m3	2,400.00
3	路体盛土	m3	2,000.00
3	路床盛土	m3	2,000.00
2	□排水工	式	1.00
3	自由勾配側溝	m	400.00

① バーの右側をドラッグし、作業日数を10日から12日へ変更します。

② [はい] をクリックします。



工数計算より変更することもできます。



2020年4月 2020年5月

階層	名称	単位	数量
2	仮設道路	m	80.00
2	□道路土工	式	1.00
3	掘削工	m3	2,400.00
3	路体盛土	m3	2,000.00
3	路床盛土	m3	2,000.00
2	□排水工	式	1.00
3	自由勾配側溝	m	400.00

後続工程の【路体盛土】と【自由勾配側溝】が連動し移動したことが確認できます。

【サンプル工事-20191105 150715】 予定工程を編集します。

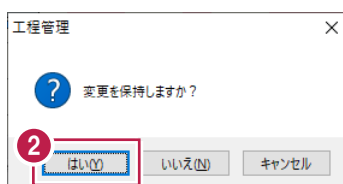
■ 変更内容の確認

① 通常の画面表示に戻します。

[工程表] タブー [表示・編集] グループー [表示範囲] - [比較断面] をクリックします。



② [はい] をクリックします。



③ [履歴] グループー [設計変更] をクリックします。

④ [当初] を選択します。



⑤ 確認後 [閉じる] をクリックします。

④

変更した作業は赤で表示されます。

最新または当初のツリーから作業を選択すると、作業の詳細情報が表示されます。

⑤

項目名	最新	当初
名称	サンプル工事-20191105 150715	サンプル工事-20191105 150715
単位		
数量	1.00	1.00
金額	28,521,600	28,521,600
開始予定日	2020年4月13日	2020年4月13日
終了予定日	2020年6月11日	2020年6月9日
規格・寸法		
取引先	(-)	(-)
費目	(-)	(-)

6

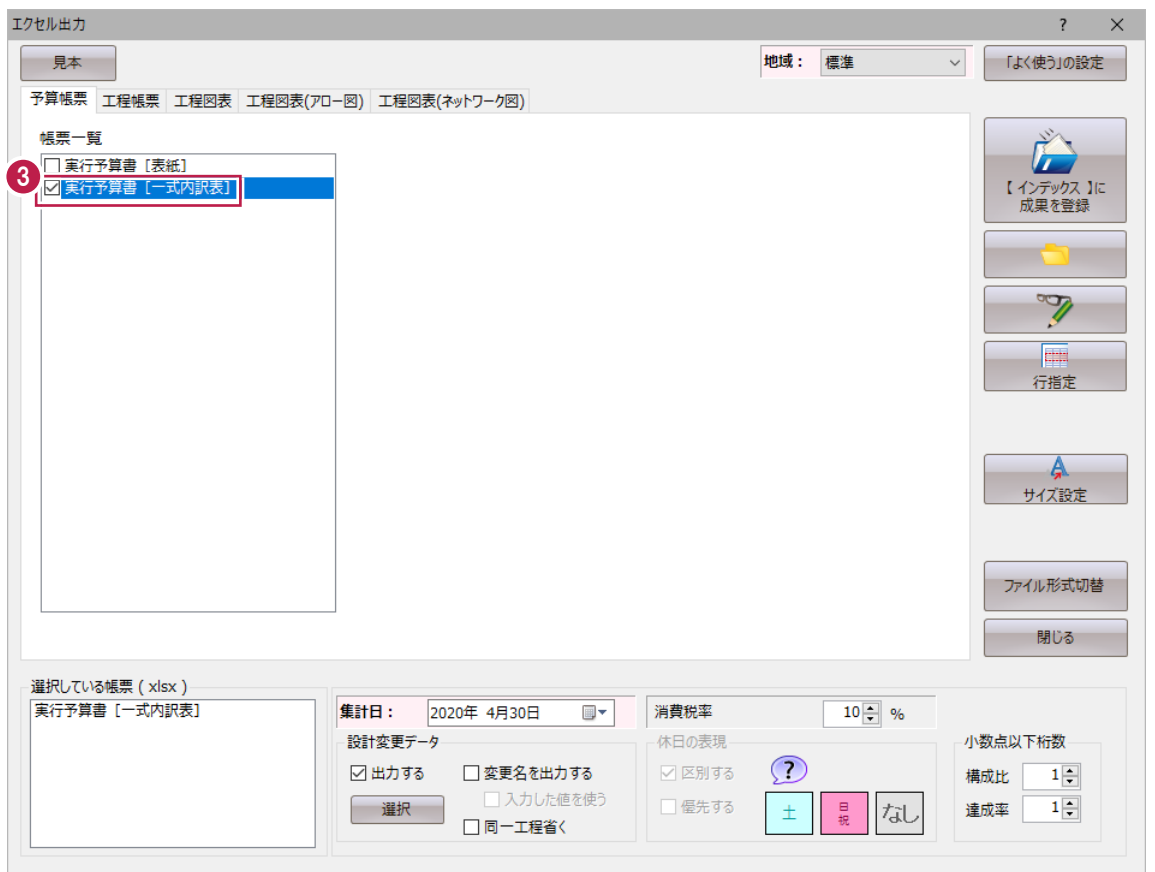
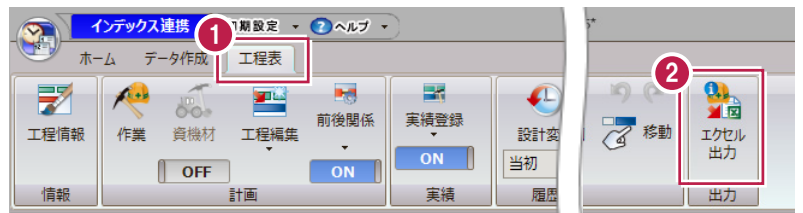
帳票出力

工程図表を例に出力設定をおこない、帳票を出力する手順を説明します。

6-1 帳票選択

「地域」で標準を指定し、帳票を選択します。

- 1 [工程表] タブをクリックします。
- 2 [出力] グループ – [エクセル出力] をクリックします。
- 3 [予算帳票] タブの [帳票一覧] の「実行予算書 [一式内訳表]」をオンにします。



4 [工程図表] タブをクリックします。

5 [地域] で「標準」を選択します。

6 [帳票一覧] の
「標準バーチャート1 (計画のみ) 」
「標準バーチャート2 (実施・工程曲線・
内) 」をオンにします。

Excel出力

見本

地域: 標準

「よく使う」の設定

予算帳票 工程帳票 工程図表 工程図表(アロー図) 工程図表(ネットワーク図)

帳票一覧

6

標準バーチャート1 (計画のみ)

標準バーチャート2 (実施・工程曲線・内)

標準バーチャート3 (実施・工程曲線・内)

標準バーチャート4 (実施)

標準バーチャート5 (実施・提出用)

標準バーチャート6 (実施・工程曲線・内・工程)

標準バーチャート7 (実施・労務及機械数量)

標準バーチャート1【 A1 】 (計画のみ)

標準バーチャート2【 A1 】 (実施)

標準バーチャート3【 A1 】 (実施)

標準バーチャート4【 A1 】 (実施)

標準バーチャート5【 A1 】 (実施)

標準バーチャート6【 A1 】 (実施)

標準バーチャート7【 A1 】 (実施)

バーチャートFC【A1】

★ 最大 4 つの設計変更データを出力できます。

ページ

出力単位: 1日

1ページの月数: 4か月

1枚で出力する

グラフ等

プロット単位: 月

限界線を出力

表現 (バー、グラフ、文字色)

予定: []

変更: []

実績: []

限界効率: []

日付 出来高

予定 予定/実績 予定進捗率

変更 変更/実績 変更進捗率

実績 オプション 実績進捗率

全て

出力範囲

工期全体 データ範囲 指定範囲

2020年 4月 1日 ~ 2020年 7月 31日

出力期間を「1日~月末」とする

選択している帳票 (xlsx)

実行予算書 [一式内訳表]

標準バーチャート1 (計画のみ)

標準バーチャート2 (実施・工程曲線・内)

集計日: 2020年 4月30日

消費税率 10%

設計変更データ

出力する 変更名を出力する

入力した値を使う

同一工程省く

休日の表現

区別する

優先する

± 目録 なし

小数点以下桁数

構成比 1

達成率 1

「よく使う」の設定

【インデックス】に
成果を登録

行指定

サイズ設定

ファイル形式切替

閉じる

各タブで選択している帳票が表示されます。

6-2 出力設定

出力に関する設定はタブ毎に内容が異なります。ここでは6-1の続きの「工程図表」タブで説明します。

- 1 「工程図表」タブが選択されていることを確認します。
- 2 ページの出力単位や1ページに出力する月数を選択します。
- 3 グラフの線の色や種類などを指定します。

- 4 出力する期間を設定します。
- 5 設計変更データが保存されている場合に有効になります。

ここでは以下のように設定します。

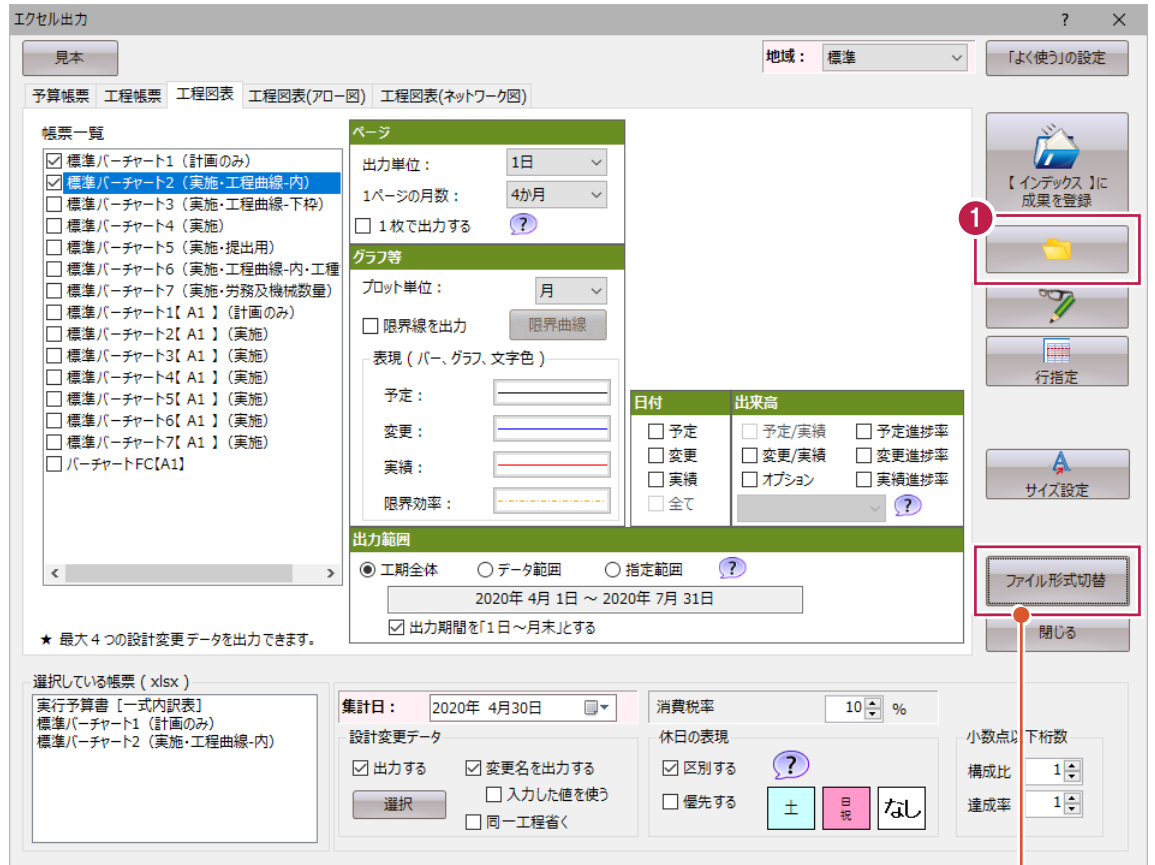
【出力する】：オン
【変更名を出力する】：オン

- 6 「選択」をクリックします。
- 7 「当初」をオンにします。
- 8 「OK」をクリックします。

6-3 帳票出力

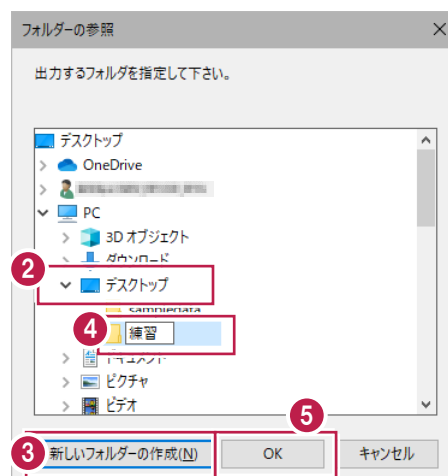
出力先を指定して帳票を出力する手順を設定します。

- 1 [フォルダー] をクリックします。

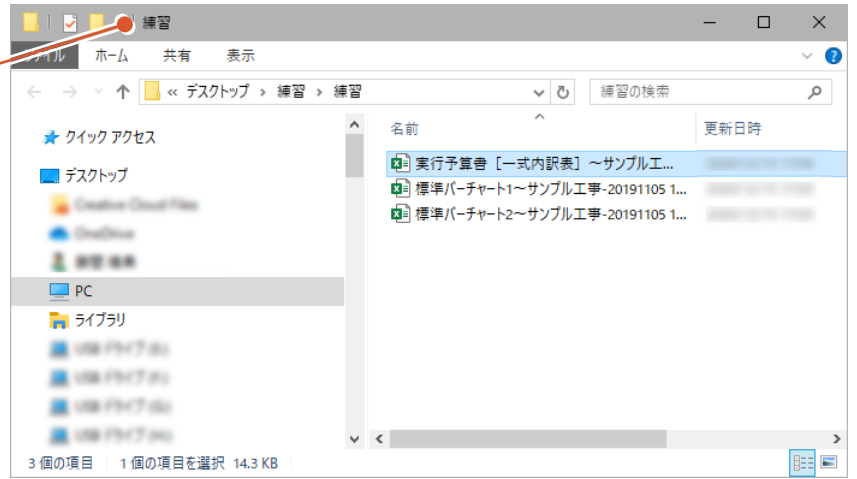


エクセルのバージョンによりファイル形式が異なるため、必要に応じて【ファイル形式切替】で変更してください。

- 2 まずデスクトップを指定します。
- 3 [新しいフォルダーの作成] をクリックします。
- 4 新しいフォルダーの名称を「練習」に変更します。
- 5 [OK] をクリックします。
エクセルが出力されます。



エクスプローラーで出力先の「練習」フォルダーが表示されます。



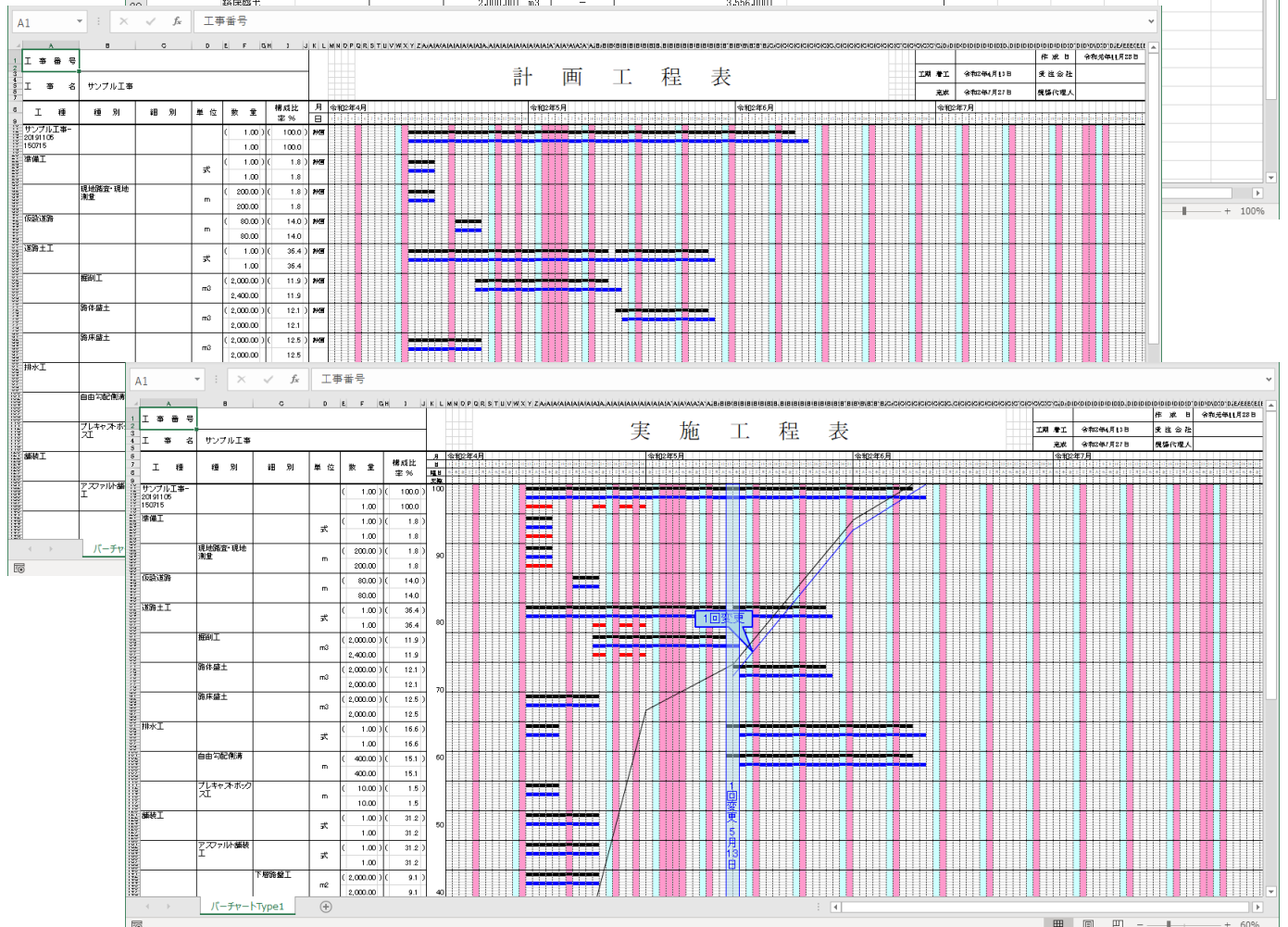
工事番号や工事名などの情報は、インデックスの工事情報で入力されている内容が反映されます。

工事内訳書

工事番号	サンプル工事	金額	42,000,000	当初予算	28,521,600
工事名	サンプル工事	工事請負	42,000,000	実行予算額	28,521,600
契約年月日	令和2年4月13日	消費税	4,200,000		
工期	令和2年4月13日～令和2年7月27日				
発注者					
工事担当					

工程 / 種別 / 細別	規格・寸法	数量	単位	単価	金額	備考
サンプル工事-20191105 150715		1.00	-	-	28,521,600	
準備工		1.00	式	-	511,000	
現地調査・現地測量	巾20m	200.00	m	-	511,000	
仮設道路		80.00	式	-	4,000,000	
道路土工		1.00	式	-	10,391,000	
掘削工	機械掘削	2,400.00	m3	-	3,383,000	
路床盛土		2,000.00	m3	-	3,452,000	
路床盛土		2,000.00	m3	-	3,556,000	

印刷時のバランスはエクセルで調整してください。



6 [閉じる] をクリックします。

エクセル出力

地域: 標準 [よく使う]の設定

予算帳票 工程帳票 工程図表 工程図表(アロー図) 工程図表(ネットワーク図)

帳票一覧

- 標準バーチャート1 (計画のみ)
- 標準バーチャート2 (実施・工程曲線-内)
- 標準バーチャート3 (実施・工程曲線-下枠)
- 標準バーチャート4 (実施)
- 標準バーチャート5 (実施・提出用)
- 標準バーチャート6 (実施・工程曲線-内・工程)
- 標準バーチャート7 (実施・労務及機械数量)
- 標準バーチャート1【 A1 】 (計画のみ)
- 標準バーチャート2【 A1 】 (実施)
- 標準バーチャート3【 A1 】 (実施)
- 標準バーチャート4【 A1 】 (実施)
- 標準バーチャート5【 A1 】 (実施)
- 標準バーチャート6【 A1 】 (実施)
- 標準バーチャート7【 A1 】 (実施)
- バーチャートFC【A1】

★ 最大4つの設計変更データを出力できます。

ページ

出力単位: 1日

1ページの月数: 4か月

1枚で出力する ?

グラフ等

プロット単位: 月

限界線を出す 限界曲線

表現 (バー、グラフ、文字色)

予定: _____

変更: _____

実績: _____

限界効率: _____

日付 出来高

予定 予定/実績 予定進捗率

変更 変更/実績 変更進捗率

実績 オプション 実績進捗率

全て ?

出力範囲

工期全体 データ範囲 指定範囲 ?

2020年 4月 1日 ~ 2020年 7月 31日

出力期間を「1日～月末」とする

6 [閉じる]

選択している帳票 (xlsx)

実行予算書 [一式内訳表]
標準バーチャート1 (計画のみ)
標準バーチャート2 (実施・工程曲線-内)

集計日: 2020年 4月30日

消費税率: 10 %

設計変更データ

出力する 変更名を出力する

入力した値を使う

同一工程省く

休日の表現

区別する ?

優先する

土 日 祝 なし

小数点以下桁数

構成比: 1

達成率: 1

エクセル出力は [工程管理] ボタン、 [データ作成] タブからもおこなえます。

インデックス連携 初期設定 ヘルプ

ホーム データ作成 工程表

新規データ作成 (N)

上書き保存 (S)

データ複製 (W)

データ削除 (D)

個別データ (E)

原価工程管理データ読込 (P)

エクセル出力 (R)

CSVファイル出力 (C)

工事マスタ編集 (M)

起動/パスワード設定 (B)

アプリケーションの終了 (X)

工程管理 - サンプル

ツリーの複製

データ連携

データ取込

取込 出力

Excel出力

	単位	数量	日施工量(基準値)	工数計算
		1.00	-	-
	式	1.00	0.00	-
	m	200.00	40.00	×
	人	16.00	4.00	-
	人	8.00	2.00	-
	人	4.00	1.00	-
	m	80.00	20.00	●
	式	1.00	0.00	-
	m3	2,400.00	200.00	●
	人	30.00	0.00	-
	人	10.00	0.00	-

7

インデックスとの連携

インデックスから工程管理を起動すると画面左上に「インデックス連携」と表示されインデックスと連携状態になります。この章ではインデックスで日報を作成し工程管理に反映させる操作方法を説明します。

7-1 イベントの確認

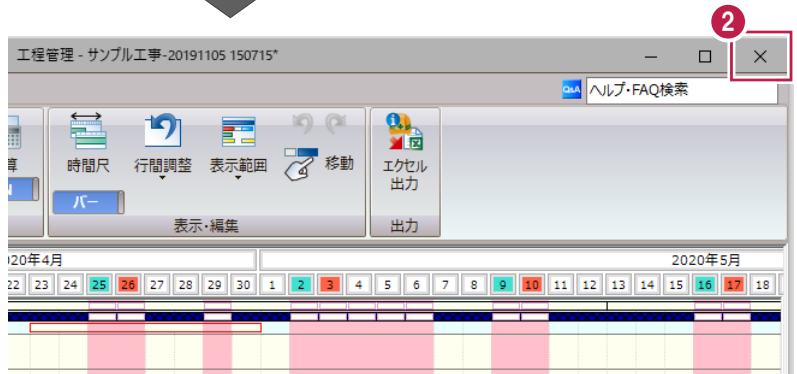
【工程管理】で登録したイベントを【インデックス】で確認します。

- 1 【インデックス連携】になっていることを確認します。

「連携なし」となっている場合はクリックして「インデックス連携」に切り替えてください。



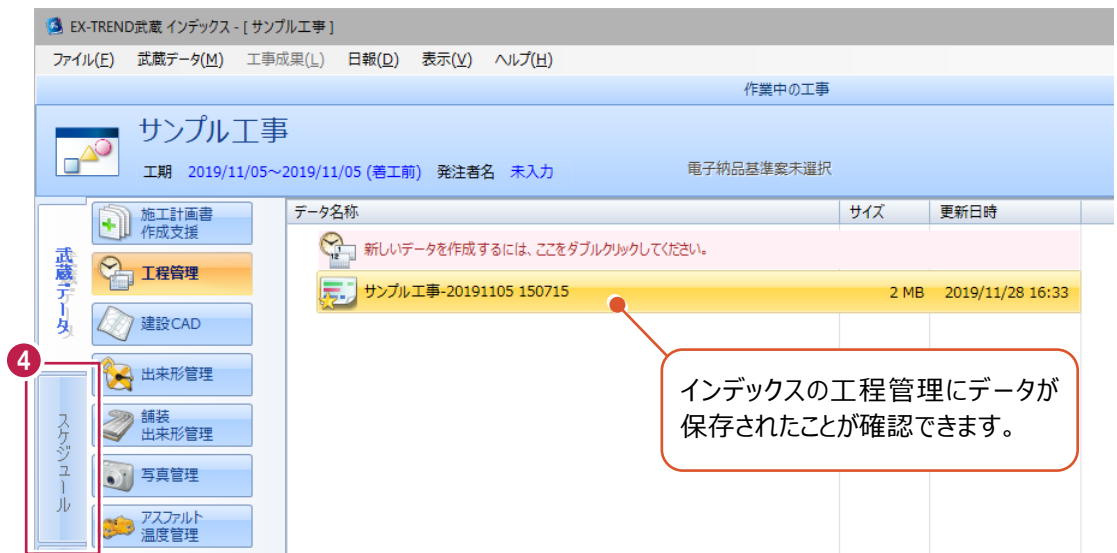
- 2 【閉じる】をクリックします。



- 3 【はい】をクリックします。



- 4 【スケジュール】タブをクリックします。



5 左右の矢印をクリックし 2020 年 4 月を表示します。

6 カレンダーで「15 日」を選択します。

EX-TREND武蔵 インデックス - [サンプル工事]

ファイル(E) 武蔵データ(M) 工事成果(L) 日報(D) 表示(V) ヘルプ(H)

作業中の工事

サンプル工事

工期 2019/11/05~2019/11/05 (善工前) 発注者名 未入力 電子納品基準案未選択

139日後の予定 << 月 タイムライン 表示設定...

5 2020年 4月

月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
30	31	4月1日	2	3	4
6	7	8	9	10	11
13	14	15 打合せ	16	17	18
20	21	22	23	24	25
27	28	29	30	5月1日	2

15日に「打合せ」が登録されていることが確認できます。

6

名称	数量	単位	開始日	終了日	04/01	2020年	04/30
工 準備工	1.00	式	04/13	04/16		■	
種 現地踏査...	200.00	m	04/13	04/16		■	
工 仮設道路	80.00	m	04/20	04/23			■
工 道路土工	1.00	式	04/13	05/28		■	■
種 掘削工	2400.00	m3	04/23	05/14			■
種 路体盛土	2000.00	m3	05/15	05/28			■

C:*FcApp*EX-TREND 武蔵 工事データ*サンプル工事-3

カレンダーで選択している日のイベントや工程などが表示されます。

7-2 日報作成

インデックスで日報を作成し工程管理に反映させます。

■ テンプレートの選択

- 1 カレンダーから日報を登録する日を選択します。

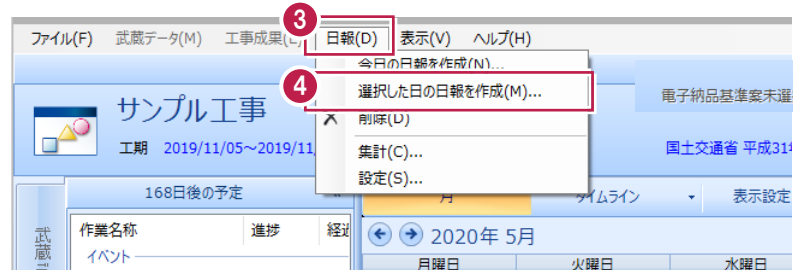
ここでは 2020 年 5 月を表示します。

- 2 15 日を選択します。

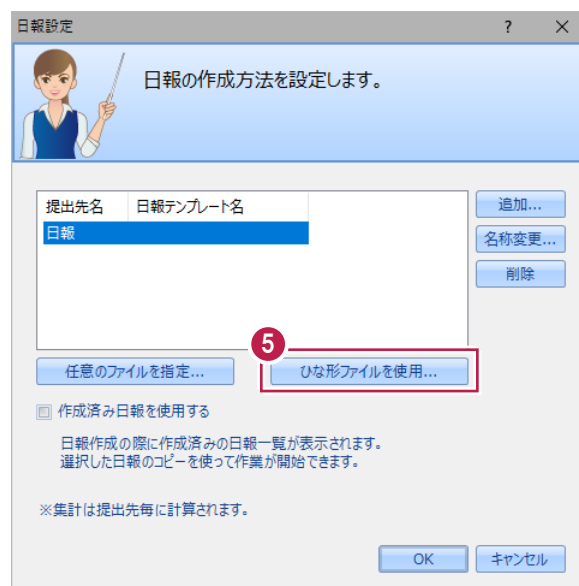


- 3 メニューバーの [日報] をクリックします。

- 4 [選択した日の日報を作成] をクリックします。



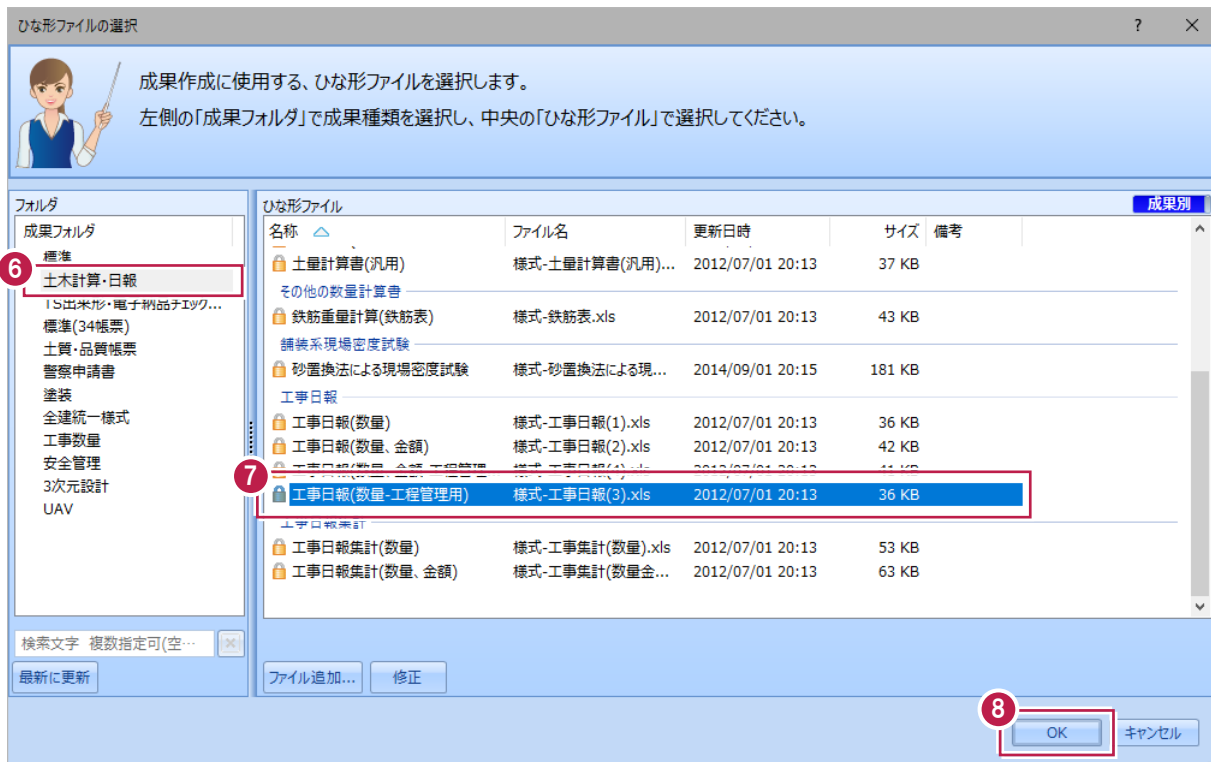
- 5 [ひな形ファイルを使用] をクリックします。



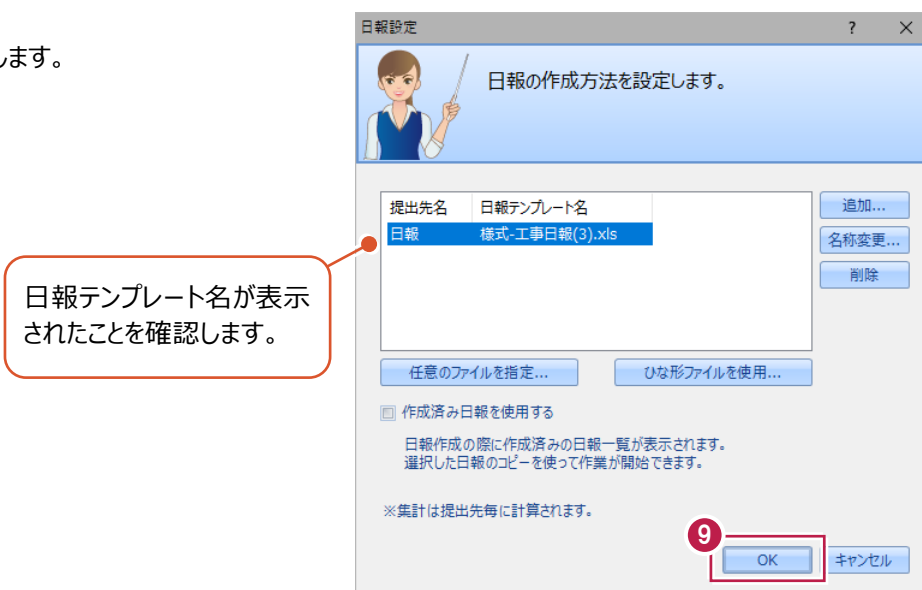
6 [フォルダ] から「土木計算・日報」を選択します。

7 [ひな形ファイル] から「工事日報（数量－工程管理用）」を選択します。

8 [OK] をクリックします。

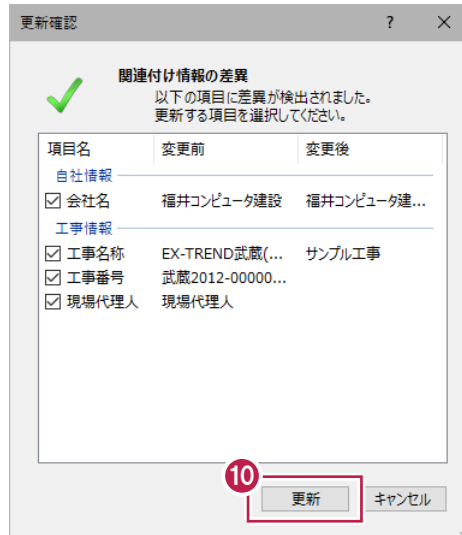


9 [OK] をクリックします。

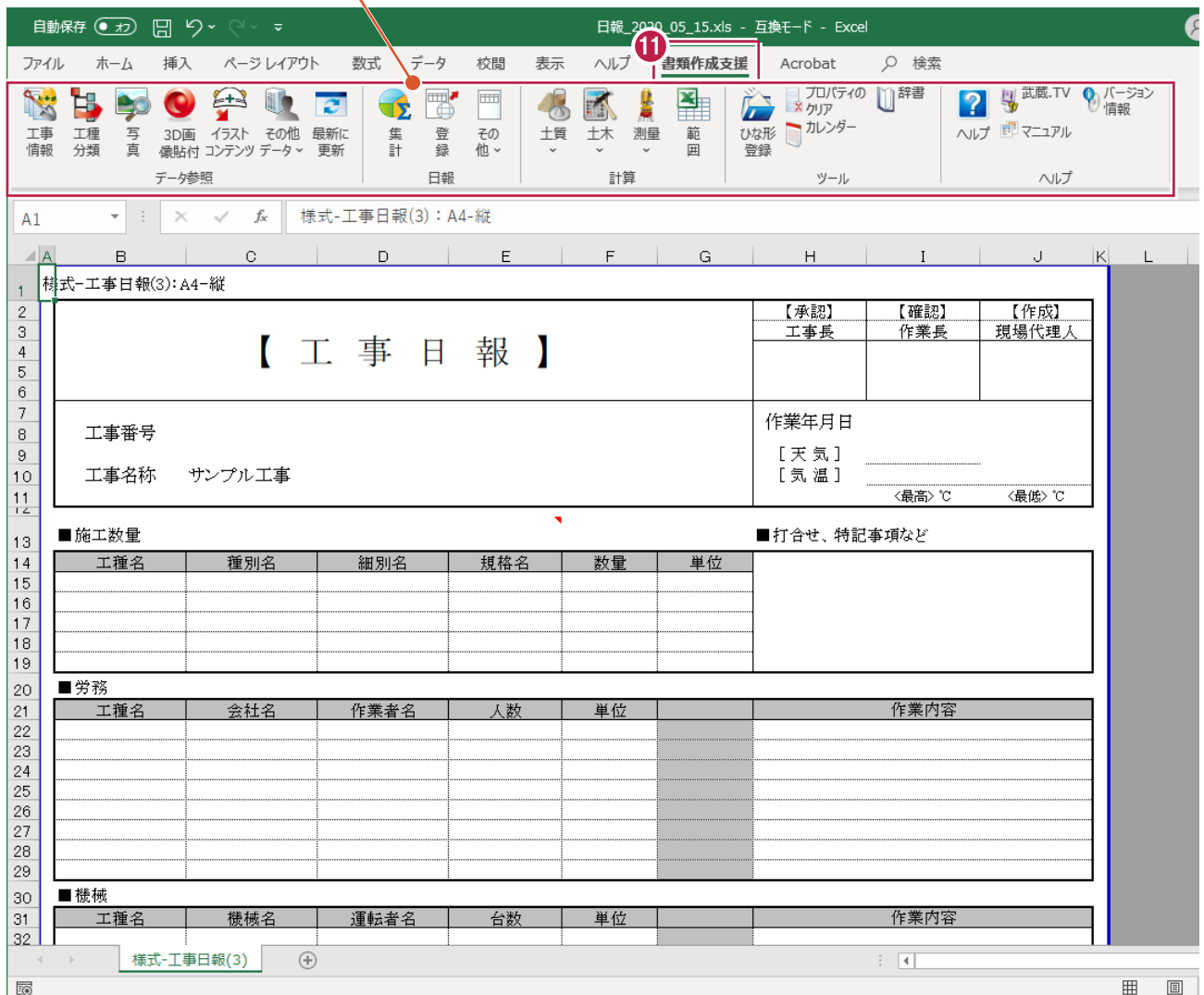


⑩ [更新確認] が表示されるので [更新] をクリックします。

⑪ [書類作成支援] タブをクリックします。



専用コマンドが表示され、工事情報や各種計算結果を簡単に入力することができます。



■ 日報の情報入力

- 1 [天気] の入力セルをクリックし「快晴」を選択します。
- 2 [気温] の最高に「12」℃、最低に「3」℃と入力します。

【工事日報】		【承認】 工事長	【確認】 作業長	【作成】 現場代理人
工事番号	作業年日			
工事名称 サンプル工事	1	「天気」	快晴	
	2	「気温」	12	3
			<最高>℃	<最低>℃

- 3 [書類作成支援] タブー [データ参照] グループー [工種分類] をクリックします。



- 4 ■施工数量 [工種名] セルを選択します。

- 5 [共通工種分類] で [道路土工] を選択します。

- 6 [貼り付け] をクリックします。

「道路土工」が貼り付きます。

工種名	種別名	細別名	規格名	数量	単位
道路土工					

7 今度はドラッグ&ドロップで入力します。

【路体盛土】をドラッグし【種別名】セルでドロップします。

8 今度は直接入力します。

【数量】に「200」と入力します。

9 【単位】セルをクリックし「m3」を選択します。

7の操作によって【路体盛土】が入力されています。

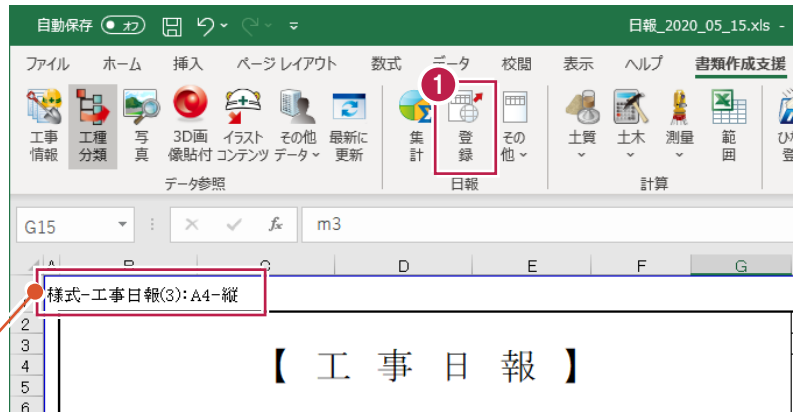
規格名や数量・単位は工種分類同様、【貼付】やドラッグ&ドロップで貼り付けることも可能です。

工程管理に連携する内容は、稼働日や天気、施工数量のみです。
必要に応じて資機材などを入力してください。

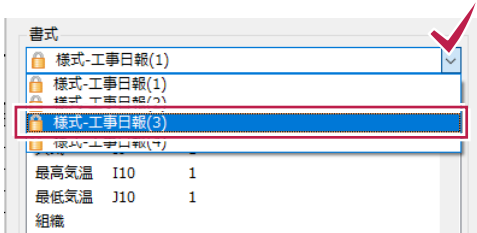
10 【上書き保存】をクリックします。

■ 日報の登録・確認

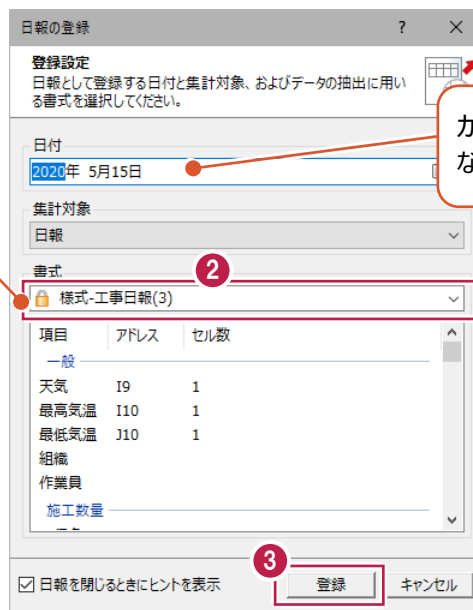
- 1 [書類作成支援] タブ - [日報] グループ - [登録] をクリックします。



書式に、選択した日報が表示されていない場合は三角マークをクリックして選択してください。



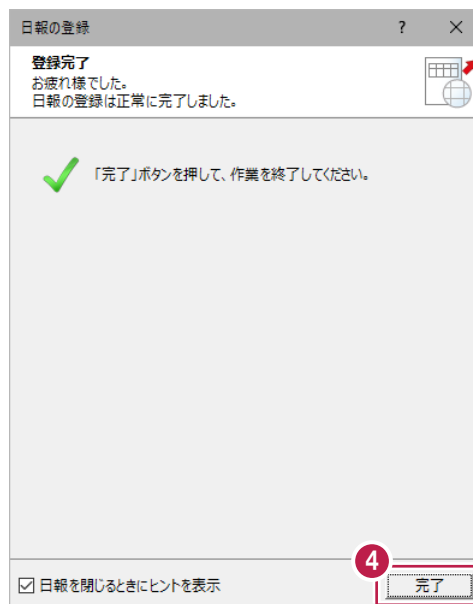
- 2 [書式] で「様式-工事日報 (3)」を選択します。



カレンダーで指定した日付になっていることを確認します。

- 3 [登録] をクリックします。

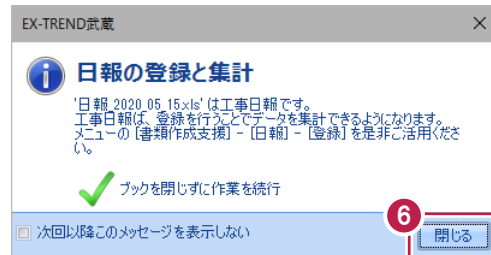
- 4 [完了] をクリックします。



5 [閉じる] をクリックします。



6 [閉じる] をクリックします。



EX-TREND武蔵 インデックス - [サンプル工事]

ファイル(E) 武蔵データ(M) 工事成果(L) 日報(D) 表示(V) ヘルプ(H)

作業中の工事

サンプル工事

工期 2019/11/05~2019/11/05 (善工前) 発注者名 未入力

168日後の予定

武蔵データ

作業名称 イベント

打合せ 未作業 期日

日報

05/15 (日報)

工程

種 道路土工 - 路体盛土

種 排水構造物工 - 排...

スケジュール

工事成果

今日に移動 編集

2020年 5月

月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
27	28	29	30	5月1日	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15 12℃ 3℃ 日報	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

名称 数量 単位 開始日 終了日 05/01 2020年 05/31

工 準備工	1.00	式	04/13	04/16			
種 現地踏査...	200.00	m	04/13	04/16			
工 仮設道路	80.00	m	04/20	04/23			
工 道路土工	1.00	式	04/13	05/28			
種 掘削工	2400.00	m3	04/23	05/14			
種 路体盛土	2000.00	m3	05/15	05/28			

C:\%FcApp%EX-TREND 武蔵#工事データ#サンプル工事-2

日報が作成され、カレンダーに表示されます。
ダブルクリックするとエクセルが起動し、作成した日報の確認・編集がおこなえます。

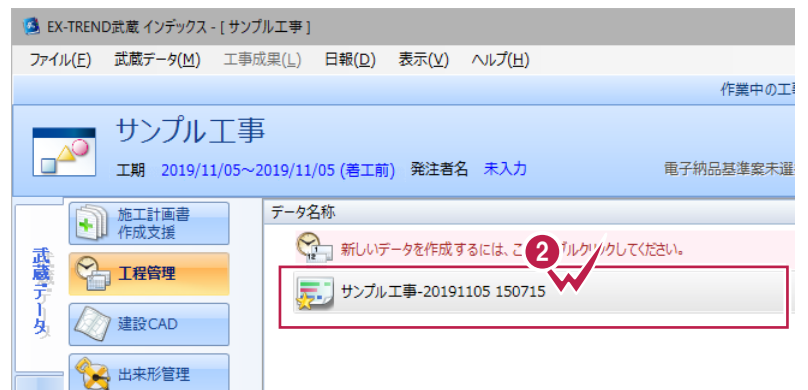
7-3 連携データの確認

登録した日報データを工程管理で取り込みます。

- 1 [武蔵データ] タブをクリックします。



- 2 作成済みの「サンプル工事-20191105 150715」をダブルクリックします。



- 3 ここでは [キャンセル] をクリックします。

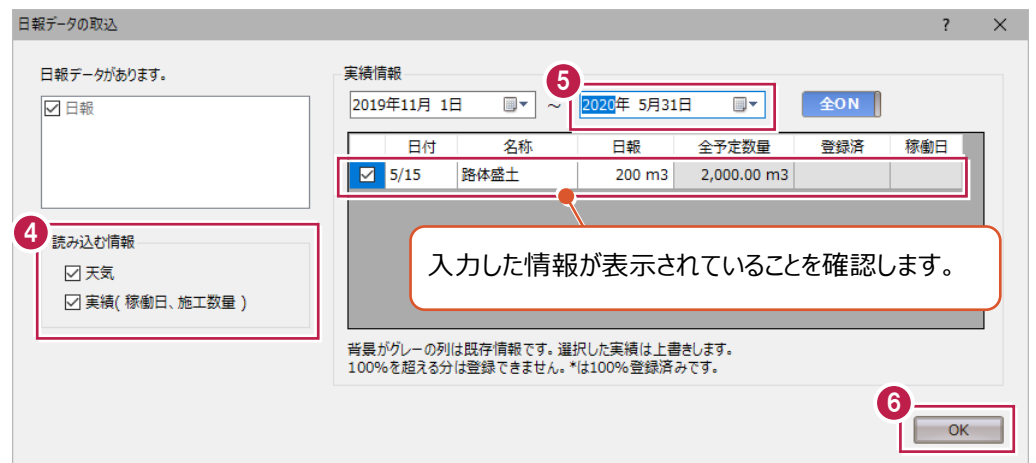
起動時に分類に差異がある場合は、
【インデックス】の分類情報 ダイア
ログが表示され取り込みが可能です。



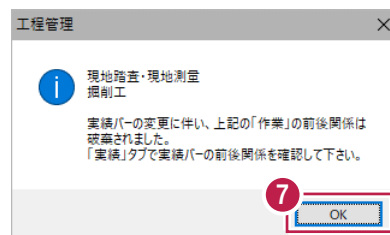
④ [読み込む情報] の [天気] [実績 (稼働日、施工数量)] をオンにします。

⑤ [実績情報] の終了日を「2020年5月31日」に設定します。

⑥ [OK] をクリックします。



⑦ [OK] をクリックします。



⑧ [ホーム] タブ - [カレンダー] グループ - [天気の登録] をクリックします。



9 「2020年5月」を指定します。

5月15日に、日報で入力した天気が登録されています。

10 確認後 [閉じる] をクリックします。

天気設定

2020年 5月

2020年5月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

2020年4月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

2020年6月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				

No. 日付 名称

001	2020/5/15	快晴
-----	-----------	----

5月15日に天気が登録されています。

登録 閉じる

11 [工程表] タブをクリックします。

12 [実績] グループの [ON・OFF] を切り替えて [ON] にします。

インデックス連携 初期設定 ヘルプ

工程管理 - サンプル工事-20191105 150715*

ホーム データ作成 工程表

工程情報 作業 資機材 工程編集 前後開

OFF 計画 OFF 実績 ON

設計変更 (なし) 出来高グラフ 山積みグラフ 計算 OFF

時間尺 行間調整 表示範囲 移動

出力

階層	名称	単位
1	サンプル工事-2019110	
2	準備工	式
3	現地踏査・現地	m
2	仮設道路	m
2	道路土工	式
3	掘削工	m ³
3	路体盛土	m ³
3	路床盛土	m ³
2	排水工	式
3	自由勾配側溝	m
3	プレキャストボックス	m

2020年4月 2020年5月

日報で入力した [路体盛土] の施工数量が登録されています。

13 確認後 [閉じる] をクリックします。

階層	名称	単位
1	サンプル工事-2019110	
2	準備工	式
3	現地踏査・現地	m
2	仮設道路	m
2	道路土工	式
3	掘削工	m3
3	路体盛土	m3
3	路床盛土	m3
2	排水工	式
3	自由勾配削溝	m
3	プレキャストブロック	m
2	舗装工	式

14 [はい] をクリックします。

工程管理

「サンプル工事-20191105 150715」への変更を保存しますか？

はい(Y) いいえ(N) キャンセル